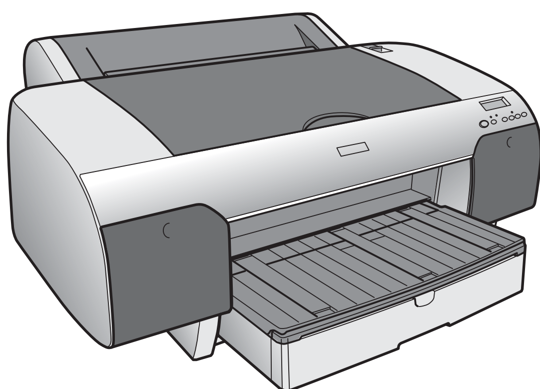
MAXART マックスアート

PX-6250S/PX-6550

EPSON
EXCEED YOUR VISION

使い方ガイド

- 本製品の基本的な操作方法と日常お使いいただく上で必要な事項について説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。



取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

開梱と設置作業を行われる方へ	本製品の搬入後、梱包箱から取り出して設置するまでの作業について記載しています。 作業を安全に行うために、必ずこの手順に従ってください。
セットアップガイド	プリンタ本体の準備、プリンタドライバのインストールなど、本製品をご使用になる前までの作業について記載しています。
使い方ガイド（本書）	本製品の基本的な使い方、日常のメンテナンス、各種トラブルの解決方法などについて記載しています。本製品の近くに置いてご活用ください。
用紙ガイド	本製品に対応した、さまざまなエプソン製の専用紙について記載しています。
ユーザーズガイド（電子マニュアル）	本製品の機能、操作方法など本製品を使用していく上で必要となる情報を詳しく記載している説明書です。各種アプリケーションソフトで本製品の機能を使用するための情報を記載しています。ご使用の目的に応じて、必要な章をお読みください。 ユーザーズガイドは、本製品添付のソフトウェアCD-ROMからプリンタソフトウェアと共に自動的にコンピュータにインストールされます。このマニュアルをお読みいただくには、Adobe 社の Acrobat Reader 4.0 以上または Adobe Reader が必要です。
取扱説明書ネットワーク編（電子マニュアル）	ネットワークプリンタとして使用するための情報を記載しています。

マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
!重要	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
用語 *1	用語の説明を記載していることを示しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する画面は、特に指定がない限りPX-6550の画面を使用しています。また、［現在の設定一覧］画面を閉じた状態で説明しています。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

機種名について

本書および本製品付属の取扱説明書では、PX-6250S/PX-6550 を併記しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.2.8、v10.3、v10.4
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Apple、Mac、Macintosh、Mac OS、ColorSync、Bonjour、QuickTimeは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

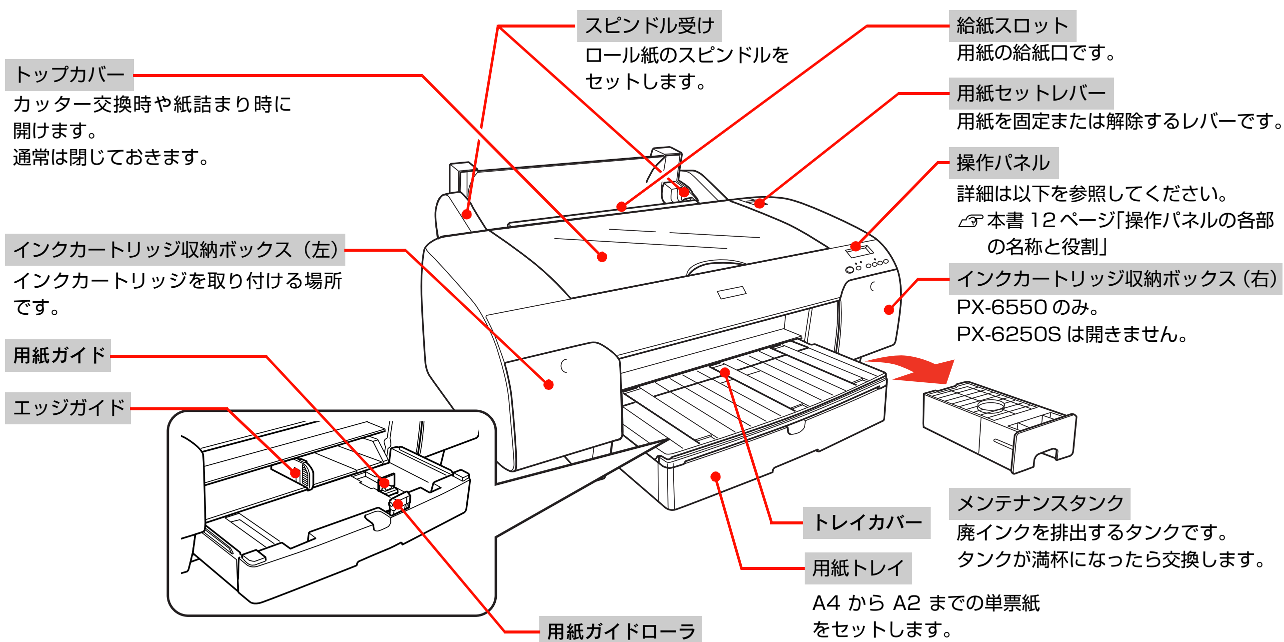
ユーザーズガイド（電子マニュアル）の内容

1 ご使用の前に

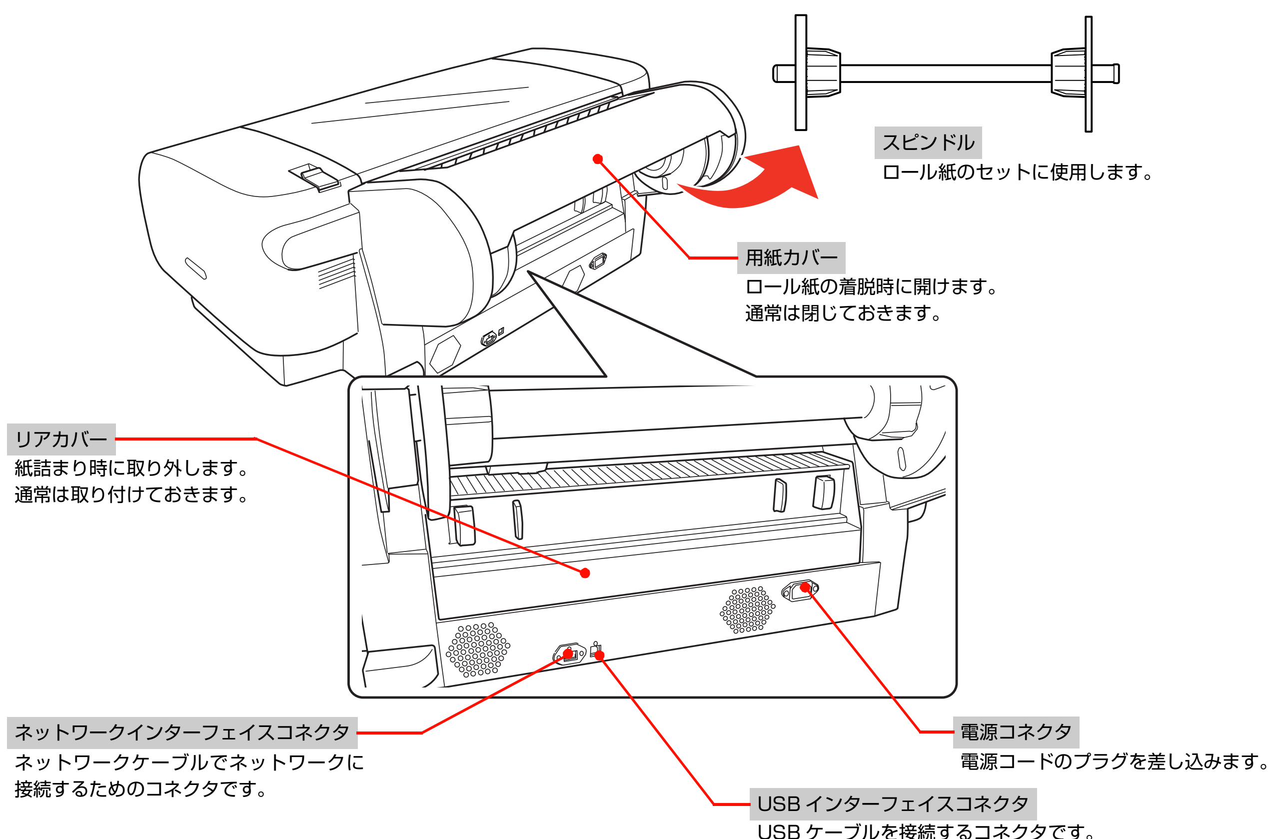
ここでは、本製品の特長や、各部の名称と働きおよび使用上の注意事項について説明します。

各部の名称と働き

正面



背面



本製品の特長

PX-6250S/PX-6550 は A2 幅サイズの用紙に対応した、大判インクジェットカラープリンタです。
本製品の主な特長は以下の通りです。

新開発　PX-P/K3(VM)インクの搭載で、さらに広い色再現を実現(PX-6550)

マゼンタとライトマゼンタインクに新開発の高濃度顔料インク（ビビッドマゼンタ、ビビッドライトマゼンタ）を採用しました。この PX-P/K3(VM) インクは、従来の PX-P/K3 インクの特長をそのままに、これまで色再現が難しかった、深い海の青や彩度の高いピンクに代表される青やマゼンタの色域拡大を実現してします。

モノクロ写真印刷(PX-6550)

３種類の濃度のブラックインクをメインに淡いカラーインクの調節をし、モノクロの微妙な色調表現を可能にしました。また、アプリケーションソフトで加工することなく、プリンタドライバの機能だけで、カラー写真データから階調豊かなモノクロ写真が印刷できます。

☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「モノクロ写真印刷の詳細設定」

さまざまな用紙の種類に対応

高画質印刷を実現するために、さまざまなエプソン製の専用紙を用意しています。屋内使用、屋外使用（ラミネート加工を推奨）など用途に応じた用紙を選んで新しいアートの世界を表現できます。単票紙は 1.5mm 厚までの厚紙に対応しており、ボード紙への印刷も可能です。

☞ 用紙ガイド（別冊）「エプソン純正専用紙の特長」

独自に開発した顔料インクにより、色あせしにくい高画質印刷を実現

エプソン製専用紙との組み合わせによって、優れた耐光性、耐オゾン性を発揮します。写真の印刷はもちろん、店舗のディスプレイ・バナー（長尺紙）・ポスターなど、活用の場を広げます。また、出力後は短時間で色が安定するため、プリプレスワークフローや色校正用途としても活用できます。

光源環境による色の違い(メタメリズム)の低減(PX-6550)

これまで微妙な階調を表現するために多用していた淡い色のカラーインクを最小限に抑え、ライトグレーインクを活用することで、光源環境による色の違い（メタメリズム）を低減しています。異なった光源下でも安定した色を保ち、常に高品位な出力ができます。

フチなし印刷

四辺フチなし印刷により、白フチをカットする手間が省けます（単票紙は左右フチなし印刷のみ対応）。自動拡大による四辺フチなし印刷、原寸維持四辺フチなし印刷などができます。

☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「フチなし印刷」

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本製品の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。	してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。	分解禁止を示しています。
アース接続して使用することを示しています。	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	

設置上のご注意

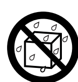
⚠ 警告	
	**本製品の通風口をふさがないでください。** 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。 また、取扱説明書で指示された設置スペースを確保してください。 ☞ 本書 127 ページ「設置スペース」

⚠ 注意

	**不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。** 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。		**油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
	**本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。** 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。		**本製品は重いので、1 人で運ばないでください。** 開梱や移動の際は 2 人以上で運んでください。 本製品の質量は以下を参照してください。 ☞ 本書 126 ページ「総合仕様」
	**本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。** 他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下により、けがをするおそれがあります。 本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。 ☞ 開梱と設置作業を行われる方へ「2. プリンタの取り出し」		**本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。** 転倒などによる事故のおそれがあります。
	**本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。** 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。		

取り扱い上のご注意

⚠ 警告

	**アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。		**煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	**異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。		**取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。**

⚠警告	
お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。	**可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。** 引火による火災のおそれがあります。
各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。	**製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。** 感電や火傷のおそれがあります。
開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**操作パネルのディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。** 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。 • 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 • 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

⚠注意	
本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。	**各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。** 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。
本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。	**電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。** 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。
詰まった用紙を取り除く際は、用紙を無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。 急に用紙が引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。	**本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。** インクが漏れるおそれがあります。
カッターは子供の手の届く場所に保管しないでください。 カッターの刃でけがをするおそれがあります。カッターを交換するときは、取り扱いに注意してください。	

電源に関するご注意

⚠警告	
AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。	**付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電のおそれがあります。
電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。	**電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。	**漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。** アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電･火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。 • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの • 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子 アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。
次のような場所にアース線を接続しないでください。 • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）	

⚠注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品に関するご注意

⚠注意	
インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。	**インクカートリッジを分解しないでください。** 分解したカートリッジは使用できません。また、分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。	**印刷用紙の端を手でこすらないでください。** 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。
インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。	

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収

  使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

  エプソンは、使用済みカートリッジの回収率を高め、環境活動をより強く推進すべく、プリンタの使用済みカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。詳しくはエプソンのホームページをご覧ください。

  (http://www.epson.jp/bellmark/)

  また、エプソン製品取扱販売店にインクカートリッジの回収ポストを設置しています。

  (http://www.epson.jp/products/supply/cartridge)

- 廃棄

  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

使用済みメンテナンスタンクの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収

  使用済みのメンテナンスタンクは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

- 廃棄

  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

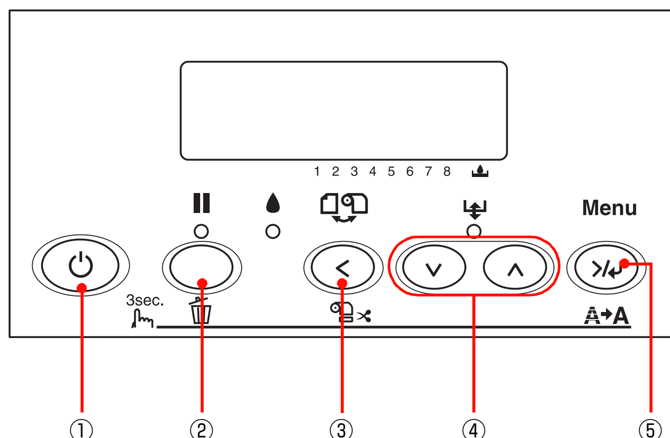
2 操作パネルの使い方

ここでは、操作パネルの使い方や設定項目の詳細を説明します。

操作パネルの各部の名称と役割

操作パネルでインク残量やプリンタの状態の確認などができます。

ボタン



①【電源】ボタン（⏻）
プリンタの電源を入れたり切ったりします。

②【ポーズ】ボタン・【リセット】ボタン（⏸）
印刷可 / 不可状態を切り替えます。

- 3 秒以上押すと【リセット】ボタンとして機能します。印刷を中止し、受信した印刷データを消去（リセット）します。リセット後、印刷可能になるまで時間がかかることがあります。
- パネル設定モード中に押すと、パネル設定を終了し、印刷可能状態にします。

③【用紙選択】ボタン（<）
印刷する用紙の種類を選択します。押すたびに表示されるアイコンが切り替わります。

アイコン	説明	
	ロール紙自動カット	ロール紙に印刷します。1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	ロール紙カッターオフ	ロール紙に印刷します。ロール紙をカットせずに印刷します。市販のカッターなどを使って切り離してください。
	単票紙	単票紙に印刷します。

参考
ロール紙の種類によっては、内蔵カッターでカットできないものがあります。ロール紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。内蔵カッターでカットできない用紙は［ロール紙カッターオフ］の設定で印刷してください。印刷終了後、市販のカッターでカットしてください。
本書 58 ページ「オプションと消耗品の紹介」

- パネル設定モード中に押すと、現在の階層から上位階層に戻ります。
- ディスプレイにロール紙のアイコンが表示されているときに 3 秒以上押すと、以下の機能が実行されます。

アイコン	説明	
	ロール紙自動カット	ロール紙を紙送りしてカットします。
	ロール紙カッターオフ	ロール紙を手動でカットできる位置まで紙送りします。ディスプレイにポーズが表示されたら、市販のカッターなどを使い、切り取り線に沿って用紙を切り離してください。その後【ポーズ】ボタンを押すと、用紙が戻り、印刷可能状態になります。

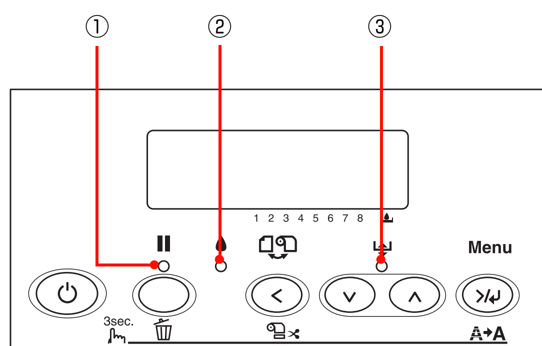
④【用紙送り】ボタン（∨/∧）
ロール紙を正方向（▼）または逆方向（▲）に送ります。3 秒以上押すと速く送ります。1 回の操作で戻すことができるのは、最大 20cm です。

- ロール紙が検出され、用紙セットレバーが解除位置にある状態で操作すると、ロール紙を吸着する力を 3 段階に調整できます。
  本書 39 ページ「ロール紙のセット」
- パネル設定モード中に押すと、各階層での次の選択肢（▼）または前の選択肢（▲）に切り替えます。

⑤【パネル設定】ボタン（）

- パネル設定モード中に設定値の階層で押すと、選択した設定値をプリンタに登録したり、選択した機能を実行します。
- 印刷可能状態または用紙なし状態で押すと、パネル設定モードに入ります。
  本書 15 ページ「設定メニュー」
- 印刷中に押すと、パネル設定モードの［プリンタステータス］メニューに直接入ります。
  本書 20 ページ「［プリンタステータス］メニュー」
- パネル設定モード中に押すと、現在の階層から下位階層へ進みます。
- 3 秒以上押すとプリントヘッド（全色）のクリーニングを行います。印刷品質が悪くなったときなどに行います。

ランプ



①ポーズランプ

点灯	パネル設定モード中 / ポーズ中 / エラー発生中です。
点滅	インク乾燥中 / ヘッドクリーニング中 / インクエンド警告時 / データ受信中です。
消灯	印刷可能です。

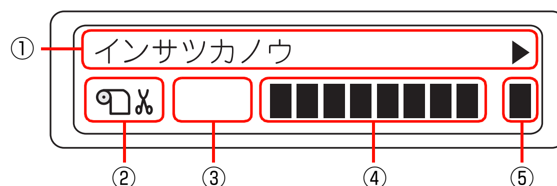
②インクチェックランプ

点灯	インクエンド / カートリッジ未装着 / カートリッジ違いです。
点滅	インク残量が少なくなっています。
消灯	インク関連のエラーが発生していない状態です。

③用紙チェックランプ

点灯	用紙なしエラー/ 用紙セットレバー解除中 / 用紙設定エラーです。
点滅	用紙詰まりエラー / 用紙斜行エラーです。
消灯	用紙関連のエラーが発生していない状態です。

ディスプレイ



①メッセージ

プリンタの状態や、操作・エラーメッセージを表示します。
本書 98 ページ「ディスプレイにメッセージが表示される」

②用紙種類とロール紙カット設定

【用紙選択】ボタン（）で選択した、印刷する用紙の種類を表示します。
本書 12 ページ「ボタン」

アイコン	説明
	ロール紙に印刷します。1 ページ印刷するごとに自動カットします。
	ロール紙に印刷します。自動カットをせずに印刷します。
	単票紙に印刷します。

③［プラテンギャップ］の設定状態 /［ユーザーヨウシ］メニューの設定状態

［プラテンギャップ］の設定値 /［ユーザーヨウシ］メニューの設定状態を表示します。

プラテンギャップは以下の 2 つから設定できます。

- ［プリンタセッテイ］メニュー内の［プラテンギャップ］
- ［ユーザーヨウシ］メニュー内の［プラテンギャップ］

アイコン	説明
表示なし	［ヒョウジュン］を選択しています。
S	［セマイ］を選択しています。
H	［ヒロメ］/［ヨリヒロメ］/［サイダイ］を選択しています。

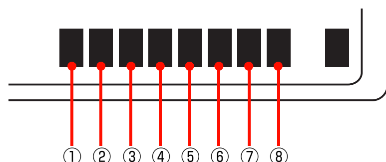
［ユーザーヨウシ］メニューの［ヨウシバンゴウ］で「1」～「10」のいずれかを選択すると、選択した番号が表示されます。

☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「プリンタでのユーザー用紙設定」

［ユーザーヨウシ］メニューで選択した登録番号が表示されている場合は、［プラテンギャップ］の設定状態は表示されません。

④各色インク残量の目安

各色のインクカートリッジ残量を示します。



インクカートリッジ（PX-6250S）

①	②	③	④
表示されません	表示されません	表示されません	表示されません
⑤	⑥	⑦	⑧
マット ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー

インクカートリッジ（PX-6550）

①	②	③	④
フォト ブラック / マット ブラック	シアン	ビビッド マゼンタ	イエロー
⑤	⑥	⑦	⑧
グレー	ライト シアン	ビビッド ライト マゼンタ	ライト グレー

アイコン	インクカートリッジ残量
	十分なインク残量があります。
	新しいインクカートリッジを準備することをお勧めします。
	新しいインクカートリッジを準備してください。（点滅表示）
	インクが少ないため、印刷できない状態です。新しいインクカートリッジと交換してください。（点滅表示）

⑤メンテナンスタンクの空き容量の目安

メンテナンスタンク空き容量を示します。

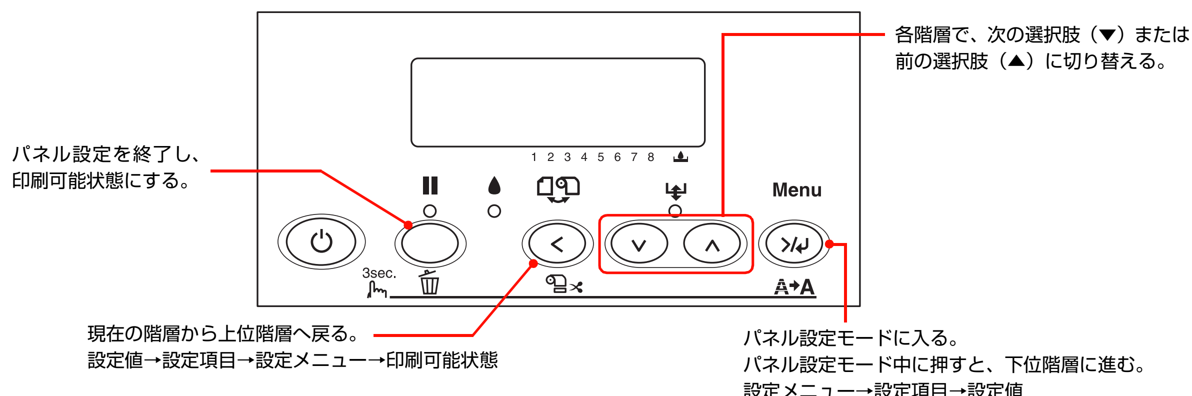


アイコン	メンテナンスタンク空き容量
	十分な空き容量があります。
	新しいメンテナンスタンクを準備することをお勧めします。
	新しいメンテナンスタンクを準備してください。（点滅表示）
	メンテナンスタンクの空き容量がなくなりました。新しいメンテナンスタンクと交換してください。（点滅表示）

設定メニュー

通常の印刷に必要なプリンタの設定は、プリンタドライバまたはアプリケーションソフト上で行いますが、プラテンギャップやユーザー用紙などの設定は操作パネル上（パネル設定モード）から行います。また、プリンタに関する情報を表示したり、ノズルチェックパターン印刷などの機能が実行できます。

設定メニューの使い方



パネル設定モードには、以下の設定メニューがあります。

プリンタセッテイ　☞ 18 ページ
↓
テストインサツメニュー　☞ 20 ページ
↓
プリンタステータスメニュー　☞ 20 ページ
↓
ユーザーヨウシメニュー　☞ 22 ページ
↓
メンテナンスメニュー　☞ 23 ページ
↓
ギャップチョウセイ　☞ 24 ページ
↓
ネットワークセッテイ　☞ 25 ページ
↓
カッターコウカン　☞ 25 ページ

参考

- 【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を押すと、パネル設定モードから抜けて印刷可能状態に戻ります。
- 各階層で【用紙選択】ボタン（◁）を押すと、1 つ上の階層に戻ります。

操作方法の概略は、次の通りです。

1　【パネル設定】ボタン（▷）を押してパネル設定モードに入り、設定メニューを選択します。

プリンタセッテイ	最初の設定メニューが表示されます

↓【用紙送り】ボタン（▽/△）を数回押します

ユーザーヨウシメニュー

↓【パネル設定】ボタン（▷）を押します

2　設定項目を選択します。

ユーザーヨウシセッテイ ヨウシバンゴウ	最初の設定項目が表示されます

↓【パネル設定】ボタン（▷）を押します

ヨウシバンゴウ ＊ヒョウジュン

↓【用紙送り】ボタン（▽/△）を数回押します

ヨウシバンゴウ No.1

↓【パネル設定】ボタン（▷）を押します

3 この後の操作は、設定項目により、次のＡ～Ｃの３つの場合があります。

A. 設定値が選択できる場合

プラテンギャップ ＊ヒョウジュン	［ユーザーヨウシ］メニューの場合 現在の設定値（＊）が表示されます

↓【用紙送り】ボタン（ ⌄ / ⌃ ）を数回押します

プラテンギャップ ヒロメ

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

プラテンギャップ ＊ヒロメ	選択した設定値がプリンタに登録されます

↓【用紙選択】ボタン（ ＜ ）を押して、１つ上の階層（設定項目の階層）へ戻るか、【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を押してパネル設定モードから抜けます。

B. 機能を実行する場合

ノズルチェックパターン インサツ	［テストインサツ］メニューで ノズルチェックパターンの印刷を行う場合

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

機能の実行が終了すると、自動的にパネル設定モードから抜けます。ここで操作は終了ですので、再度パネル設定モードに入る場合は、1 へ戻ります。

C. プリンタの各種情報を表示する場合

インクザンリョウ BK　E＊＊＊＊＊F	［プリンタステータス］メニューで 左端スロット#1のインク残量を表示する場合

↓【用紙送り】ボタン（ ⌄ / ⌃ ）を数回押します

インクザンリョウ C　E＊＊＊＊＊F	左スロット#2のインク残量を表示する場合

↓【用紙選択】ボタン（ ＜ ）を押して、１つ上の階層（設定項目の階層）へ戻るか、【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を押してパネル設定モードから抜けます。

設定メニュー一覧

【パネル設定】ボタン

上下ボタンで項目間の移動、左右ボタンで階層の移動を行います。

- プリンタセッテイ
  - XXカウンタヒョウジ *1
  - Xカウンタヒョウジ *2
  - プラテンギャップ
  - キリトリセン
  - インターフェイス
  - コードページ
  - ロールシヨハク
  - ヨウシハバケンシュツ
  - シャコウエラーケンシュツ
  - タイムアウト
  - カッターイチチョウセイ
  - マージンリフレッシュ
  - ヨウシサイズチェック
  - オートノズルチェック
  - オートクリーニング
  - サイレントカットモード
  - セッテイショキカ
- テストインサツメニュー
  - ノズルチェックパターン
  - ステータスシート
  - ネットワーク
  - ジョブジョウホウ
  - ユーザーヨウシセッテイ
- プリンタステータスメニュー
  - バージョン
  - インサツカノウマイスウ
  - インクザンリョウ
  - メンテナンスタンク
  - ショウヒカウンタ
  - ショウヒカウンタクリア
  - ジョブリレキ
  - ジョブリレキクリア
  - インサツマイスウ
  - ショウモウヒンジュミョウ
  - EDMステータス
- ユーザヨウシメニュー
  - ヨウシバンゴウ
  - プラテンギャップ
  - ヨウシアツパターン
  - ヨウシアツバンゴウ
  - カットホウホウ
  - ヨウシオクリホセイ
  - ハイシローラーセンタク
  - カンソウジカン
  - キュウチャクリョク
  - M/Wインジチョウセイ
- メンテナンスメニュー
  - カッターコウカン
  - Bkインクシュルイコウカン *3
  - パワークリーニング
  - ニチジセッテイ
- ギャップチョウセイ
  - ヨウシアツ
  - チョウセイ
- ネットワークセッテイ
  - ネットワークI/F
  - IPアドレスセッテイ
  - IP
  - SM
  - GW
  - BONJOUR
  - ネットワークショキカ
- カッターコウカン

*1 メンテナンスモードで［ヨウシカウンタヒョウジ］を［ロールシ］に設定しているときに表示されます。
☞ 本書 26 ページ「メンテナンスモード」

*2 メンテナンスモードで［ヨウシカウンタヒョウジ］を［カットシ］に設定しているときに表示されます。
☞ 本書 26 ページ「メンテナンスモード」

*3 PX-6550 のみ表示されます。

[プリンタセッテイ]メニュー

（網掛け）は初期値です。

設定項目	設定値	説明
XX カウンタ ヒョウジ ※メンテナンスモードで［ヨウシカウンタヒョウジ］が［ロールシ］のときに表示されます。 ☞ 本書 26 ページ「メンテナンスモード」	XX ナガサセッテイ XX ケイコクセッテイ	セットしたロール紙の残り長さが設定した数値になると、警告を表示します。 • ［XXナガサセッテイ］:セットしたロール紙の長さを5.0m～99.5mの間で設定します。 • ［XX ケイコクセッテイ］:警告を表示するロール紙の残り長さを 1m～15m の間で設定します。
X カウンタ ヒョウジ ※メンテナンスモードで［ヨウシカウンタヒョウジ］が［カットシ］のときに表示されます。 ☞ 本書 26 ページ「メンテナンスモード」	X マイスウセッテイ X ケイコクセッテイ	セットした単票紙の残りの枚数が設定した数値になると、警告を表示します。 • ［X マイスウセッテイ］:セットした単票紙の枚数を 10 枚～250 枚の間で設定します。 • ［X ケイコクセッテイ］:警告を表示する単票紙の残りの枚数を 5 枚 ～50 枚の間で設定します。
プラテンギャップ	セマイ ヒョウジュン ヒロメ ヨリヒロメ サイダイ	プラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）の広さを選択します。 • ［ヒョウジュン］：通常はこのまま使用します。 • ［ヒョウジュン］以外を選択すると操作パネルに以下の文字が表示されます。 ［セマイ］：S ［ヒロメ］、［ヨリヒロメ］、［サイダイ］：H 間隔を標準から変更します。
キリトリセン	ON OFF	［ロール紙カッターオフ］選択時の切り取り線の印刷の有無を選択します。 • ［ON］：用紙サイズに合わせた切り取り線（実線）を印刷します。 〈例〉 ロール紙 左端 / ロール紙 右端 / 切り取り線 / 用紙 サイズ / 排紙方向 • ［OFF］：切り取り線を印刷しません。
インターフェイス	ジドウ USB ネットワーク I/F	印刷データを受信するインターフェイスを選択します。 • ［ジドウ］：印刷データを受信したインターフェイスに自動的に切り替えます。 • ［USB］、［ネットワーク I/F］：指定したインターフェイス（USB インターフェイス、ネットワークインターフェイス）からのみ印刷データを受信します。
コードページ	PC437 PC850	コードページ（文字コード）を切り替えます。 • ［PC437］：拡張グラフィックス • ［PC850］：マルチリンガル
ロールシヨハク	デフォルト タテ 15mm タテ 25mm 15mm 3mm	ロール紙の余白を選択します。 • ［デフォルト］:用紙サイズの上下に 15mm、左右に 3mm の余白を確保します。使用する用紙の種類によっては、上下の余白がその用紙に適した幅に変更されるものがあります。 • ［タテ 15mm］：用紙サイズの上下に 15mm、左右に 3mm の余白を確保します。 • ［タテ 25mm］：用紙サイズの上下に 25mm、左右に 3mm の余白を確保します。 • ［15mm］：用紙サイズの上下左右に 15mm の余白を確保します。 • ［3mm］：用紙サイズの上下左右に 3mm の余白を確保します。

設定項目	設定値	説明
ヨウシハバケンシュツ	ON OFF	用紙幅を検出するかどうかを選択します。 • ［ON］：用紙幅と用紙先端を検出します。 • ［OFF］：用紙幅と用紙先端を検出しません。セットされた用紙より大きな画像を印刷すると用紙外に印刷します。用紙外への印刷はプリンタ内部を汚すため、通常は［ON］で使用することをお勧めします。 また、用紙サイズの上側の余白が大きくなることがあります。
シャコウエラーケンシュツ	ON OFF	用紙の斜行を検出するかどうかを選択します。 • ［ON］：斜行を検出します。 • ［OFF］：斜行を検出せず「ヨウシガシャコウシテイマス」エラーが発生しなくなります。用紙が斜行した状態で印刷すると用紙外に印刷します。用紙外への印刷はプリンタ内部を汚すため、通常は［ON］で使用することをお勧めします。
タイムアウト	OFF 30 ビョウ 60 ビョウ 180 ビョウ 300 ビョウ	印刷データの受信が途切れた場合、その印刷ジョブを終了とみなして排紙するまでの時間を選択します。 • ［OFF］：印刷データを受信するまで待ちます。 • ［30 ビョウ］～［300 ビョウ］：時間を選択します。
カッターイチチョウセイ	ジッコウ	カッター位置を調整します。 実行するとカッター位置調整パターンが印刷されます。位置の最もズレが少ないパターン番号を【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して入力し【パネル設定】ボタン（OK）を押して決定します。
マージンリフレッシュ	ON OFF	ロール紙へのフチなし印刷時に、プリンタドライバの［オートカット］の設定を［四辺フチなし 1 カット］/［四辺フチなし 2 カット］から［左右フチなし］に切り替えると、用紙の先端部分に前の印刷ジョブの画像が印刷汚れとして残ることがあります。［ON］を選択すると、紙送りしてカット（マージンリフレッシュ）するため、この印刷汚れをなくすことができます。
ヨウシサイズチェック	ON OFF	単票紙の用紙サイズを検出するかどうかを設定します。 • ［ON］：用紙サイズを検出します。検出された用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なる場合、エラーとなり印刷できません。 • ［OFF］：用紙サイズを検出しません。検出された用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なる場合でも印刷します。ただし、印刷データの用紙サイズの方が大きい場合は、用紙からはみ出す部分は印刷されません。
オートノズルチェック	OFF ON	印刷開始前に毎回自動的にノズルチェックパターンを印刷するかどうかを選択します。[オートクリーニング] が [ON] に設定されているときのみ有効です。 • ［ON］：自動的にノズルチェックパターンを印刷します。 • ［OFF］：ノズルチェックパターンを印刷しません。
オートクリーニング	ON OFF	［ノズルチェックパターン］または［オートノズルチェック］の結果、ノズルが目詰まりしていると判断したときにヘッドクリーニングの実行を選択します。 • ［ON］：自動的にクリーニングします。 • ［OFF］：ヘッドクリーニングしません。
サイレントカットモード	OFF ON	ロール紙をサイレントカットでカットするかを設定します。プリンタドライバの［オートカット］を［四辺フチなし 2 カット］に設定した場合の、ページ終端のカット時のみ、このモードが適用されます。サイレントカットモードは、静かできれいにカットできるため紙紛の発生を抑えることができますが、カット時の動作は遅くなります。 • ［ON］：サイレントカットモードでロール紙をカットします。 • ［OFF］：通常のカット動作でロール紙をカットします。
セッテイショキカ	ジッコウ	パネル設定された項目の内容を初期値に戻します。

[テストインサツ] メニュー

設定項目	設定値	内容
ノズルチェックパターン	インサツ	ノズルチェックパターンを印刷します。ノズルチェックパターンは［プリンタセッテイ］メニューの［オートクリーニング］の設定によって異なります。また、ノズルチェックパターンのほかに、ファームウェアバージョン、用紙 / インク使用量、メンテナンスタンクの空き容量も印刷します。 本書 82 ページ「ノズルチェック」
ステータスシート	インサツ	現在のパネル設定の内容（ステータス）を印刷します。
ジョブジョウホウ	インサツ	プリンタ内に保存されている印刷ジョブ（最大 10 ジョブ）に関する情報を印刷します。
ユーザーヨウシセッテイ	インサツ	［ユーザーヨウシセッテイ］メニューに登録されている情報を印刷します。

[プリンタステータス] メニュー

プリンタの状態を操作パネルのディスプレイに表示します。

設定項目	設定値	内容
バージョン	A0xxxx　または　B0xxxx	プリンタのファームウェアバージョンを表示します。
インサツカノウマイスウ	（インクの色）xxxxxxx マイ	直前に印刷したページでのインクの消費量を基に、このインクの色であと何枚印刷可能かを表示します。
インクザンリョウ	（インクの色）E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	各インクの残量を表示します。
メンテナンスタンク	E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	メンテナンスタンクの空き容量を表示します。
ショウヒカウンタ	インク xxxxx.x ml	インクの使用量（フラッシングおよびクリーニング実行時のインク使用量を含む）をミリリットル（ml）で表示します。
	ヨウシ xxxxx.x cm	使用した用紙の長さをセンチメートル（cm）で表示します。ただし、手動で用紙送りした分の用紙長は含みません。
ショウヒカウンタクリア	インク　ジッコウ	［ショウヒカウンタ］-［インク］の表示で使用するインク消費量を 0 に初期化します。初期化後の任意の印刷物でのインク消費量を計測できます。
	ヨウシ　ジッコウ	［ショウヒカウンタ］-［ヨウシ］の表示で使用する用紙消費量を 0 に初期化します。初期化後の任意の印刷物での用紙の使用量を計測できます。
ジョブリレキ	No.0 ～ No.9	プリンタ内に保存されている印刷ジョブが消費したインク量「I」（ミリリットル）と用紙面積「P」（縦×横平方センチメートル）を表示します。表示できるのは最大 10 ジョブ分で、最新ジョブ番号は No. 0 です。
ジョブリレキクリア	ジッコウ	［ジョブリレキ］で表示するジョブの履歴情報をすべて消去します。
インサツマイスウ	nnnnnn マイ	総印刷枚数（6 桁まで）を表示します。

設定項目	設定値	内容
ショウモウヒンジュミョウ	カッター * E ＊＊＊＊＊ F	カッターの寿命を表示します（実際の使用状況によってカッターの摩耗度は異なりますので、あくまでも目安とお考えください）。
	CR モーター E ＊＊＊＊＊ F	これらの情報はサービスエンジニアがプリンタの保守を行う際に必要となるメンテナンス情報です。プリンタを通常お使いいただく上では必要ありません。
	PF モーター E ＊＊＊＊＊ F	
	H ユニット E ＊＊＊＊＊ F	
	CL ユニット E ＊＊＊＊＊ F	
EDM ステータス	ユウコウ　ムコウ　ミカイシ	EDM が有効か無効かを確認できます。もし、EDM が有効な場合、最終送信時刻を確認できます。
	サイシュウソウシンジコク YY/MM/DD HH:MM GMT (ミソウシン)	

*　インクの残量、メンテナンスタンクの空き容量、カッターの寿命は、次の表示の通りです。

パネル表示	インク残量	メンテナンスタンクの空き容量	カッターの寿命（目安）
E ＊＊＊＊＊ F	100 ～ 81% インク満杯状態（フル）	100 ～ 81% 十分な空き容量	100 ～ 81%
E ＊＊＊＊　F	80 ～ 61%	80 ～ 61%	80 ～ 61%
E ＊＊＊　　F	60 ～ 41%	60 ～ 41%	60 ～ 41%
E ＊＊　　　F	40 ～ 21%	40 ～ 21%	40 ～ 21%
E ＊　　　　F	20 ～ニアエンド直前	20 ～ 10%	20 ～ 1%
E　　　　　F	−	−	1% 未満
nn%	ニアエンド（残量わずか / インクチェックランプ点滅）	10% 未満 空き容量が少ない（10% 未満で廃インクランプ点滅）	−
0%	0% インクエンド（インクチェックランプ点灯）	0% 空き容量なし（廃インクランプ点灯）	−

参考

- インクチェックランプが点滅または点灯したら、新しいインクカートリッジと交換してください。正しく交換を行うと、カウンタは自動的にリセットされます。
  ☞ 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
- ディスプレイに「メンテナンスタンクケイコク」または「メンテナンスタンクコウカン」と表示されたら、新しいメンテナンスタンクと交換してください。正しく交換すると、カウンタは自動的にリセットされます。交換方法は以下をご覧ください。
  ☞ 本書 76 ページ「メンテナンスタンクの交換」
- カッターの切れが悪くなったり、カッターの寿命（目安）表示が少なくなったら、新しいカッターと交換してください。正しく交換すると、カウンタは自動的にリセットされます。
  ☞ 本書 78 ページ「カッターの交換」

[ユーザーヨウシ]メニュー

エプソン製以外の用紙を使用するときは、用紙の特性に合わせた設定が必要です。　　　　　は初期値です。

設定項目	設定値	内容
ヨウシバンゴウ	ヒョウジュン（STD）	エプソン製の専用紙は［ヒョウジュン（STD）］の設定で使用します。プリンタドライバで選択した用紙種類に応じて、最適な印刷を行います。 任意の用紙に合わせた設定値（プラテンギャップ、用紙厚、カット方法、用紙送り補正、排紙ローラ選択、乾燥時間、吸着力、マイクロウィーブ印字調整）を登録する際に番号（1 ～ 10）を選択したり、印刷時に登録番号で設定値を呼び出して印刷を行います。 ここで選択した登録番号は、プリンタ使用時に操作パネルのディスプレイの下段に表示されます。
	1 ～ 10	

用紙番号選択の 1 から 10 を選んで実行したあと、プラテンギャップ、用紙厚、カット方法、用紙送り補正、排紙ローラ選択、乾燥時間、吸着力、マイクロウィーブ印字調整を設定します。

設定項目	設定値	内容
プラテンギャップ	セマイ	用紙の厚さに合わせて、プラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）の広さを調整します。 ［ヒョウジュン］：通常はこのまま使用します。 ［セマイ］：［ヒョウジュン］より狭くなります。 ［ヒロメ］：［ヒョウジュン］より広くなります。 ［ヨリヒロメ］：［ヒロメ］より広くなります。
	ヒョウジュン	
	ヒロメ	
	ヨリヒロメ	
ヨウシアツパターン	インサツ	セットした用紙の厚みを検出するためのパターンを印刷します。 この項目は、用紙番号で［ヒョウジュン］を選択しているときは表示されません。
ヨウシアツバンゴウ	1 ～ 15	［ヨウシアツパターン］で印刷されたパターンを見て、最も線のズレが少ないパターン番号を選択します。［ヨウシアツパターン］実行時のみ表示されます。 ［ギャップチョウセイ］メニューの［ヨウシアツ］で設定した用紙の厚さを初期値として番号で表示します。厚さと番号は下表のように対応しています。 用紙厚：0.1mm ～ 1.5mm／番号：1 ～ 15 この項目は、［ヨウシバンゴウ］で［ヒョウジュン］を選択しているときは表示されません。
カットホウホウ	ヒョウジュン	用紙の厚さに合わせて、用紙カット時のカット方法を選択します。 薄くて腰のない用紙の場合は、［ウスガミ］を選択します。 用紙が厚くなるに従って、［ヒョウジュン］、［アツガミ＋カットコウソク］、［アツガミ＋カットテイソク］の順に選択します。
	アツガミ＋カットテイソク	
	アツガミ＋カットコウソク	
	ウスガミ	
ヨウシオクリホセイ	0.00%	用紙送りの補正値を設定します。補正値は、1m に対する割合で設定します。
	-0.70 ～ 0.70%	
ハイシローラセンタク	ジドウ	排紙ローラを設定します。 • ［タンピョウ］：単票紙の場合に選択します。 • ［ロールシ カール ツヨイ］：カールしやすいロール紙の場合に選択します。 • ［ロール］：カールしにくいロール紙の場合に選択します。 • ［ジドウ］：単票紙の場合は［タンピョウ］、ロール紙の場合は［ロール］の設定となります。
	タンピョウ	
	ロールシ カール ツヨイ	
	ロール	

設定項目	設定値	内容
カンソウジカン	0.0 ビョウ	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク濃度や用紙によっては、インクが乾燥しにくい場合があります。このようなときは乾燥時間を長めに設定してください。
	0.0 ～ 10.0 ビョウ	
キュウチャクリョク	ヒョウジュン	用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を選択します。ここで選択した吸着力の設定は、ユーザー用紙の設定すべてに適用されます。 通常は［ヒョウジュン］のまま使用してください。 薄い用紙で、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないときのみ［-4］～［-1］にします。［-1］、［-2］、［-3］、［-4］の順に吸着力が弱くなります。
	-4 ～ -1	
M/W インジチョウセイ	ヒョウジュン	マイクロウィーブモードを調整します。［ヒョウジュン］が最も低い設定値で、［1］、［2］の順に高くなります。 印字速度を優先する→設定値を下げる。 印刷品質を優先する→設定値を上げる。
	1 ～ 2	

ユーザー用紙設定に関する詳細な説明は以下をご覧ください。

☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「プリンタでのユーザー用紙設定」

 インクの乾燥中に【用紙選択】ボタン（⊙）を 3 秒以上押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。

［メンテナンス］メニュー

ロール紙カッターの交換、パワークリーニングなどのメンテナンスを行います。　　　は初期値です。

設定項目	設定値	内容
カッターコウカン	ジッコウ	カッターを交換します。実行したら、表示されるメッセージに従ってください。手順の詳細は、以下をご覧ください。 ☞ 本書 78 ページ「カッターの交換」
Bk インクシュルイヘンコウ	ジッコウ	ブラックインク種類を変更します（PX-6550 のみ）。手順の詳細は、以下をご覧ください。 ☞ 本書 70 ページ「ブラックインク種類変更（PX-6550 のみ）」
パワークリーニング	N　ジッコウシマスカ？　Y	通常のクリーニングよりも強力なクリーニングを行います。 手順の詳細は、以下をご覧ください。 ☞ 本書 85 ページ「パワークリーニング」
ニチジセッテイ	YY/MM/DD HH:MM （設定時の日時を表示）	内蔵時計の年月日と時分を設定します。

[ギャップチョウセイ]メニュー

プリントヘッドのギャップ調整を行います。　　　　　は初期値です。

設定項目	設定値	詳細設定値	内容
ヨウシアツ	ヒョウジュン	−	ギャップ調整で使用する用紙の厚さを選択します。 • エプソン製の専用紙を使用する場合は、[ヒョウジュン]を選択します。用紙厚センサーが用紙厚を検出して、自動的に値を設定します。 薄紙：0.2mm 厚紙：1.2mm • エプソン製以外の用紙を使用する場合は、用紙厚を0.1mm 単位で設定してください。
	X.Xmm （X.X は設定値）	0.1 ～ 1.5mm	
チョウセイ	ジドウ	UNI-D	ブラックを基準に、すべてのインクを使って単方向印刷で自動ギャップ調整をします。
		＃３	BI-D ＃１～＃３のそれぞれについて、すべてのインクを使い、双方向印刷で自動ギャップ調整を手動で行います。
		＃２	
		＃１	
		BI-D ゼンショク	すべてのインクを使い、双方向印刷で BI-D ＃１～＃３のすべての自動ギャップ調整をします。
		BI-D ２ショク	ライトシアン（PX-6250S はシアン）とビビッドライトマゼンタ（PX-6250S はマゼンタ）を使い、双方向印刷で自動ギャップ調整をします。
	シュドウ *	UNI-D	ブラックを基準に、すべてのインクを使って単方向印刷でギャップ調整を手動で行います。
		BI-D ゼンショク	すべてのインクを使い、双方向印刷でギャップ調整を手動で行います。
		BI-D 2 ショク	ライトシアン（PX-6250S はシアン）とビビッドライトマゼンタ（PX-6250S はマゼンタ）を使い、双方向印刷でギャップ調整を手動で行います。
		UNI-D #1 C ～ #3 LK １～５～９	[UNI-D] を選択したときに、#1 から #3 までブラックを基準に全色のギャップ調整を行います。調整パターンの中から最もズレの少ないパターン番号を設定します。
		BI-D ゼンショク #1 MK ～ #3 LK １～５～９	[BI-D ゼンショク] を選択したときに、#1 から #3 まで全色のギャップ調整を行います。調整パターンの中から最もズレの少ないパターン番号を設定します。
		BI-D 2 ショク #1 LC ～ #3 VLM （PX-6550） #1 C ～ #3 M （PX-6250S） １～５～９	[BI-D 2 ショク] を選択したときに、#1 から #3 までのライトシアン（PX-6250S はシアン）とビビッドライトマゼンタ（PX-6250S はマゼンタ）のギャップ調整を行います。調整パターンの中から最もズレの少ないパターン番号を設定します。

*　[チョウセイ] メニューの [シュドウ] はギャップ調整パターン印刷後、パターンを確認してパネル上で設定してギャップ調整を行います。

ギャップ調整に関する詳細な説明は以下をご覧ください。

本書 86 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

[カッターコウカン] メニュー

［メンテナンス］メニューの「カッターコウカン」と同様に、カッター交換をします。

設定項目	設定値	内容
カッターコウカン	ジッコウ	カッターの交換作業を行います。実行したら、表示されるメッセージに従ってください。手順の詳細は、以下のページを参照してください。 ☞ 本書 78 ページ「カッターの交換」

[ネットワークセッテイ] メニュー

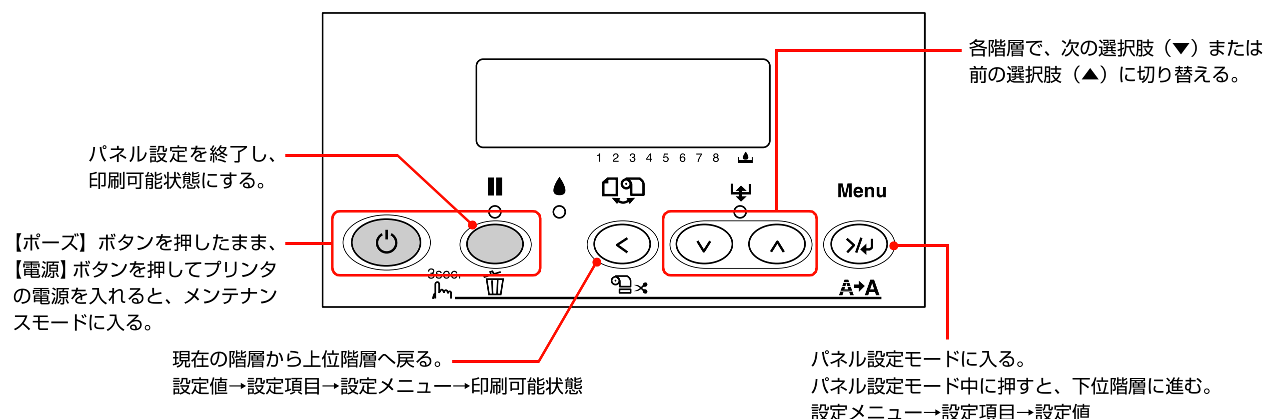
ネットワークに接続する場合に設定します。　　　　は初期値です。

設定項目	設定値	内容
ネットワークセッテイ	シナイ	パネルからネットワーク設定を行います。［スル］にすると、以下の設定項目が表示されます。各項目を設定した後、［ネットワークセッテイ］メニューで【用紙選択】ボタン（ ）を押して上の階層に戻ると、ネットワークが再起動され、約 15 秒後にネットワーク設定が有効になります。再起動中は設定メニューの［ネットワーク］は表示されません。
	スル	
IPアドレスセッテイ	ジドウ	IP アドレスの設定方法を選択します。［パネル］を選択すると、［IP,SM,GW］それぞれの項目を表示して設定することができます。
	パネル	
IP	システム管理者に確認してください。	
SM		
GW		
BONJOUR	ON	Bonjour の ON/OFF を設定します。
	OFF	
ネットワーク ショキカ	ジッコウ	設定値を初期値に戻します。

メンテナンスモード

表示言語や単位を変えたり、用紙残量を操作パネルに表示させたり、これまでに各メニューで設定した値を購入時の状態に戻したりすることができます。

メンテナンスモードの使い方

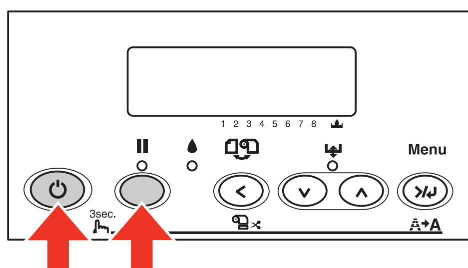


参考　各階層で【用紙選択】ボタン（<）を押すと、1 つ上の階層に戻ります。

メンテナンスモードの開始と終了

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **【ポーズ】ボタン（○/Ⅱ）を押したまま、【電源】ボタン（⏻）を押してプリンタの電源を入れます。**



ディスプレイにメンテナンスモードの初期メニューが表示されます。
メンテナンスモードの設定方法は、設定メニューと同じです。
☞ 本書 15 ページ「設定メニューの使い方」

3 **メンテナンスモードを終了するには、【電源】ボタン（⏻）を押してプリンタの電源を切ります。**

メンテナンスモードのメニュー一覧

（網掛け）は初期値です。

設定項目	設定値	説明
ヘキサダンプ	ジッコウ	受信した印刷データを 16 進数で印刷します。 [ジッコウ] にすると 16 進ダンプ印刷が始まり、操作パネルに「ヘキサダンプジッコウチュウ」と表示されます。
ゲンゴ -LANGUAGE	ニホンゴ	操作パネルに表示する言語を日本語と英語から選択します。
	ENGLISH	
ヨウシカウンタヒョウジ	OFF	用紙残量検出機能のメニューの表示 / 非表示を選択します。 [OFF]：プリンタ設定メニューに用紙残量検出機能のメニューを表示しません。 [ロールシ]：プリンタ設定メニューにロール紙の用紙残量検出機能のメニューを表示します。 [カットシ]：プリンタ設定メニューに単票紙の用紙残量検出機能のメニューを表示します。
	ロールシ	
	カットシ	
タンイ	メートル	操作パネルやパターン印刷時に使用する長さの単位をメートルとフィートから選択します。
	フィート / インチ	
カットアツ	0 ～ 99%	用紙をカットするときのカット圧を 0% ～ 150% から選択します。
	100%	
	101 ～ 150%	
SSCL	ジッコウ	プリントヘッドの超音波クリーニングを実行します。通常のヘッドクリーニングよりもインクを消耗します。
ロールシオクリセッテイ	ON	電源を入れた後のロール紙の用紙送り動作を選択します。 [ON]：カッターオフ設定の状態で電源を入れた後に用紙送りをします。 [OFF]：カッターオフ設定の状態で電源を入れた後に用紙送りをしません。
	OFF	
パネルセッテイショキカ	ジッコウ	実行すると、パネル設定モードの設定値を工場出荷時の値に戻します。
インクジョウホウメニュー	インクジョウホウ（インクの色）	各インクカートリッジについて、IC チップに記録されているインク情報を表示します。 [ロゴ xx]：製造者情報を表示します。 [インクカートリッジ xx]：インク色を表示します。 [インクシュルイ xx]：インク種類（染料 / 顔料）を表示します。 [インクヨウリョウ xx]：インク容量情報を表示します。 [インクザンリョウ xx]：インクカートリッジごとの残量を表示します。 [セイゾウビ xx]：製造年月日を YY/MM（年 / 月）形式で表示します。 [ユウコウキゲン xx]：有効期限情報を表示します。 [シヨウキゲン xx]：開封後の有効期限情報を表示します。 [ケイカジカン]：インクカートリッジごとに開封後の経過時間を表示します。
CUSTOM	0 ～ 9	カスタム設定を行います。

3 用紙のセットと排紙

ここでは、本製品で使用できる用紙や用紙のセット方法を説明します。

使用可能な用紙

プリンタの性能を十分に発揮させるために、目的に合わせてエプソン製の専用紙が用意されています。高品質な印刷結果を得るために、エプソン製の専用紙の使用をお勧めします。用紙の詳細は、別冊の『用紙ガイド』をご覧ください。

用紙のサイズと厚さ

本製品は、単票紙またはロール紙に印刷できます。ロール紙は、内蔵カッターにより自動的にカットすることができます。印刷可能な用紙のサイズと厚さは以下の通りです。

サイズ

用紙種類	PX-6250S/PX-6550
単票紙	幅　：203mm ～ 432mm（A4 ～ A2） 長さ：279mm ～ 594mm
ロール紙	幅　：203mm ～ 432mm（A4 ～ A2） 長さ：45m（2 インチ紙管用紙） 202m（3 インチ紙管用紙）

厚さ

用紙種類	長さ 254mm 以上 610mm 以下の用紙
単票紙	0.08mm ～ 1.50mm
ロール紙	0.08mm ～ 0.5mm

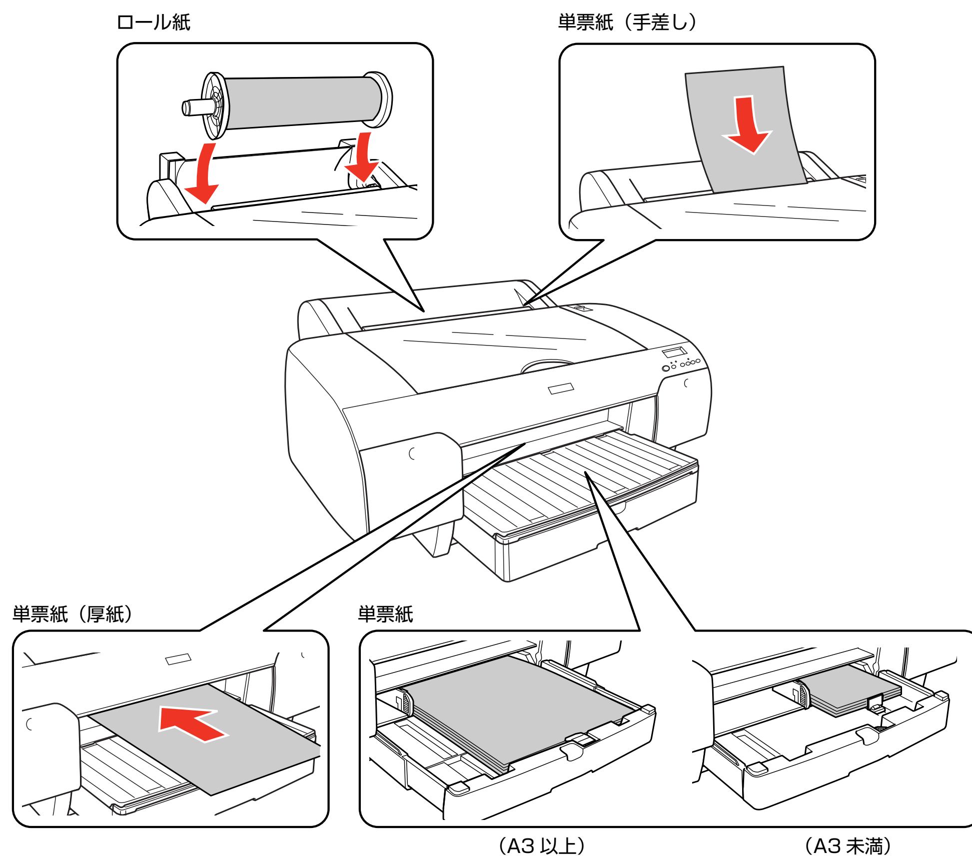
詳細な用紙仕様は以下をご覧ください。
☞ 本書 128 ページ「用紙仕様」



エプソン製以外の用紙に印刷する場合の適切な設定や印刷手順は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。

用紙を大量に購入する際は、本製品でその用紙に印刷したときの仕上がり具合をあらかじめ確認しておくことをお勧めします。
☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「エプソン製以外の用紙への印刷」

!重要
- しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。
- 用紙は印刷直前にセットしてください。また、印刷作業が終了したら本体から取り外し、用紙の取扱説明書に従って保管してください。



単票紙のセット

単票紙のセット方法は、用紙トレイへのセットと手差しでのセットの 2 種類があります。また、用紙トレイへのセットは、長さが A3（420mm）以上の用紙と A3 より短い用紙ではセット方法が異なります。

また、手差しのセットでは、厚紙とそれ以外の用紙でセット方法が異なります。

用紙厚さ	用紙長さ	給紙方法	参照ページ
0.79mm 以下	A3 より短い用紙	用紙トレイ	☞ 本書 32 ページ
		給紙スロットからの手差し	☞ 本書 35 ページ
	A3 ～ A2 の用紙	用紙トレイ	☞ 本書 34 ページ
	A3 ～ 24 インチの用紙	給紙スロットからの手差し	☞ 本書 35 ページ
0.80mm 以上 1.5mm まで （厚紙）	すべて	厚紙用給紙スロットからの手差し	☞ 本書 37 ページ

参考

- 用紙セット時は、ディスプレイに「ポーズスイッチヲオシテクダサイ」と表示され【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を押す、またはそのまましばらく（約 5 秒）放置すると、自動的に印刷開始位置まで用紙を移動させて待機します（ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されます）。
- 単票紙は温度や湿度の環境の変化により、波打ったり、たわんだりしてしまうことがあります。このような用紙を使用すると、プリンタが用紙サイズを正しく認識できなくなったり正常に印刷できなくなってしまいます。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。開封後の単票紙は個装袋に戻して水平な状態で保管し、印刷の直前に袋から取り出してお使いになることをお勧めします。
- ロール紙がセットされている場合は、ロール紙を巻き戻しておいてから単票紙をセットしてください。
- 写真用紙<光沢>、両面上質普通紙<再生紙>の A3、Velvet Fine Art Paper、UltraSmooth Fine Art Paper は用紙トレイからの給紙ができません。給紙スロットに手差しでセットしてください。
  ☞ 本書 35 ページ「給紙スロットからの手差しでのセット」
- 単票紙をセットする前にロール紙を使っていた場合は、用紙トレイを一旦取り外して、紙粉を取り除いてください。

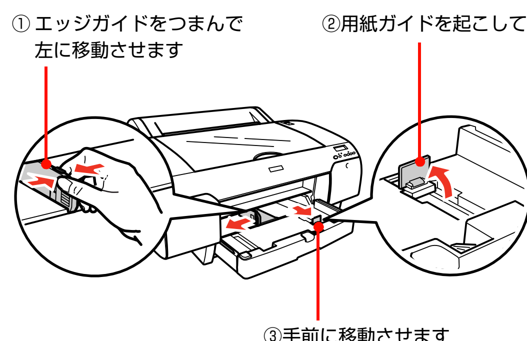
長さが A3(420mm)より短い単票紙のセット

長さが A3（420mm）より短い単票紙を用紙トレイにセットする手順は以下の通りです。ここでは、A4 サイズの単票紙をセットする方法を例にして説明します。

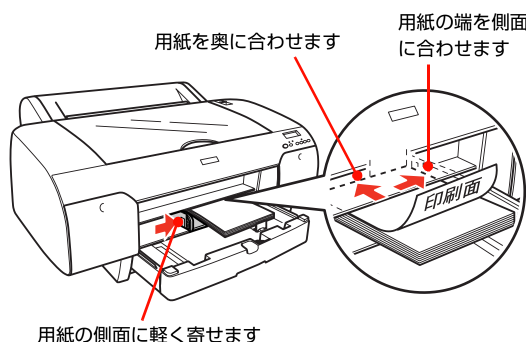
参考

- 写真用紙<光沢>は用紙トレイからの給紙ができません。手差しで 1 枚ずつ給紙してください。
  ☞ 本書35ページ「給紙スロットからの手差しでのセット」
- 厚紙（用紙厚 0.8mm ～ 1.5mm）は用紙トレイから給紙できません。
  ☞ 本書 37 ページ「厚紙のセット」

1 用紙ガイドを起こして手前に移動し、エッジガイドをつまんで左に移動させます。



2 用紙ガイドとエッジガイドをセットしたい用紙のサイズに軽く合わせ、印刷したい面を下にして用紙を右奥にしっかりセットします。



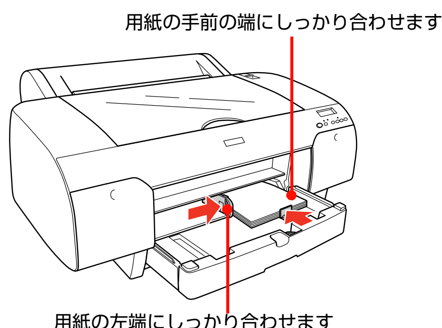
!重要

用紙は、右奥にしっかり合わせてください。右奥にしっかり合わせていないと、用紙センサーが用紙を検出できず、エラーが発生することがあります。

参考

- セットできる用紙の枚数は、トレイ内に記載されています。
- 単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により、波打ったり、たわんでしまうことがあります。その場合は、用紙を傷付けたり汚したりしないように、手で平らな状態に修正してからセットしてください。

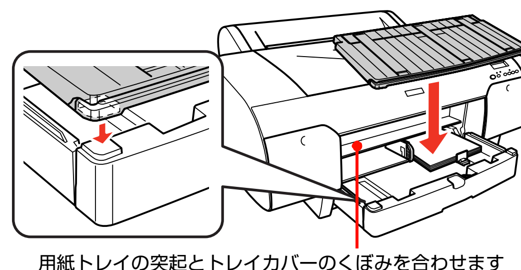
3 エッジガイドを用紙の側面に、用紙ガイドを用紙の手前の端にしっかり合わせます。

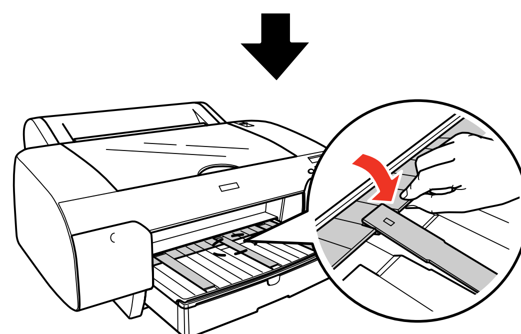


!重要

エッジガイドと用紙ガイドを、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。
用紙サイズに合っていないと、用紙関連のエラーの原因となります。

4 トレイカバーを取り付けます。





5 プリンタの電源を入れます。

6 【用紙選択】ボタン（）を押して、□（単票紙）を選択します。

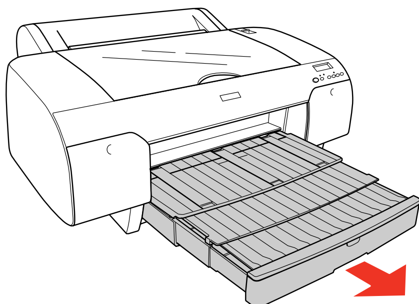
ディスプレイ表示

インサツカノウ
□ ← 表示させます

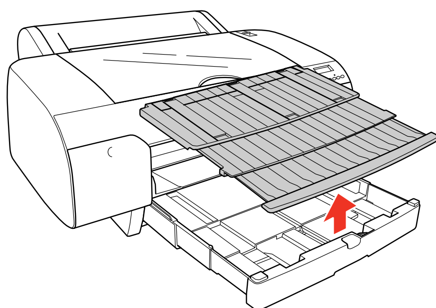
長さが A3(420mm) 以上の単票紙のセット

長さが A3（420mm）以上の単票紙を用紙トレイにセットする手順は以下の通りです。

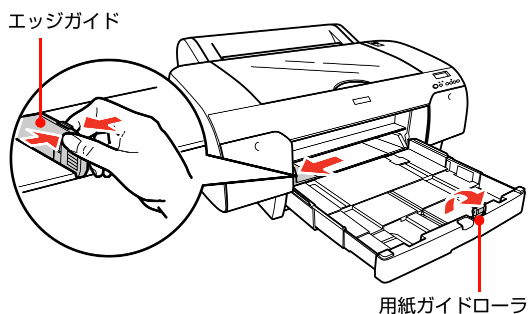
1 **用紙トレイを止まるまで引き伸ばします。**



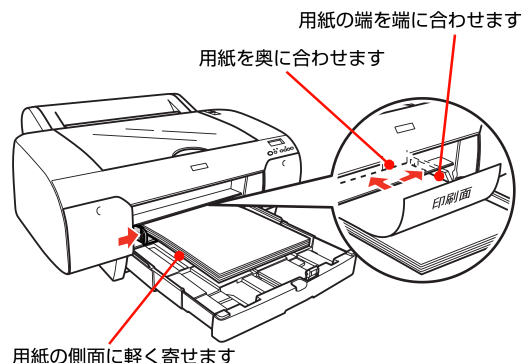
2 **トレイカバーを取り外します。**



3 **用紙ガイドローラを上げて、エッジガイドをつまんで左に移動させます。**



4 **用紙ガイドとエッジガイドをセットしたい用紙のサイズに軽く合わせ、印刷したい面を下にして用紙を右奥にしっかりセットします。**



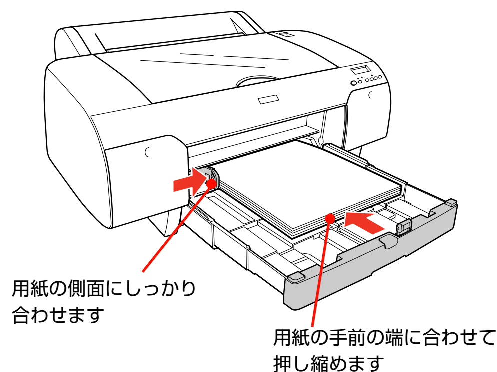
! 重要

- 用紙はゆっくり、ていねいにセットしてください。
- 用紙をそろえず勢いよくトレイにセットしますと、紙を傷付けてしまうことがあります。
- 用紙は、右奥にしっかり合わせてください。右奥にしっかり合わせていないと、用紙センサーが用紙を検出できず、エラーが発生することがあります。

参考

- セットできる用紙の枚数は、トレイ内に記載されています。
- 本体に向かって、用紙の右側面と奥側面を用紙トレイに合わせて、部分的に飛び出した用紙がない状態にセットしてください。

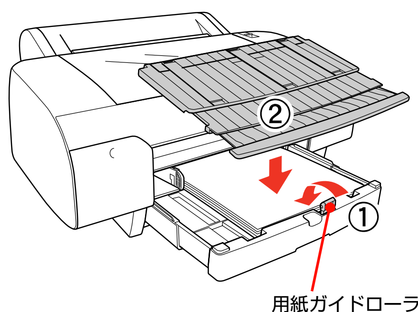
5 **エッジガイドをつまんで用紙の側面にしっかり合わせ、用紙サイズに合わせてトレイを押し縮めます。**



! 重要

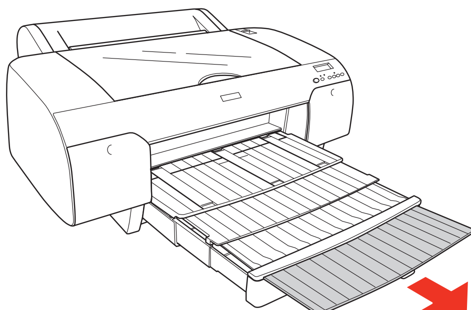
必ず用紙サイズに合わせてエッジガイドをセットし、トレイを縮めてください。
用紙サイズに合っていないと、用紙関連のエラーが発生する場合があります。

6 **用紙ガイドローラを倒し、トレイカバーを用紙トレイの長さに合わせて取り付けます。**

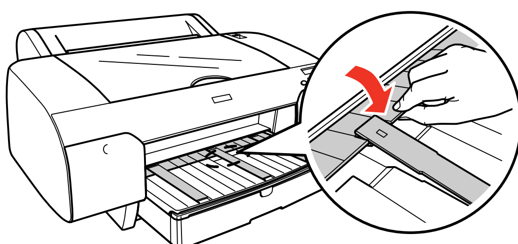


参考

- 用紙トレイが最長の位置まで引き伸ばされている場合は、印刷結果をトレイカバーで受けられるようにトレイカバーを引き伸ばしてください。



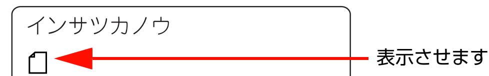
- ロール紙サポートが立っている場合は引き下げてください。



7 **プリンタの電源を入れます。**

8 **【用紙選択】ボタン（◁）を押して、□（単票紙）を選択します。**

ディスプレイ表示



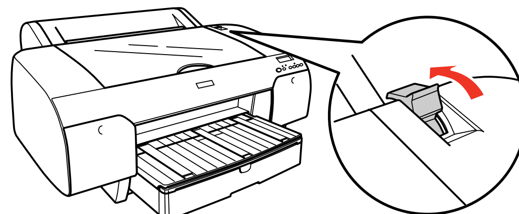
給紙スロットからの手差しでのセット

単票紙を給紙トレイにセットする場合は、以下の手順でセットします。

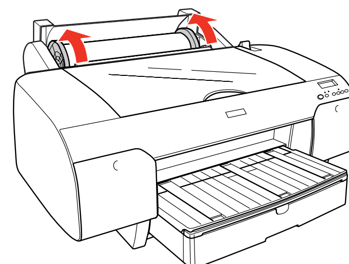
1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **ロール紙がセットされている場合は、ロール紙を巻き戻します。**

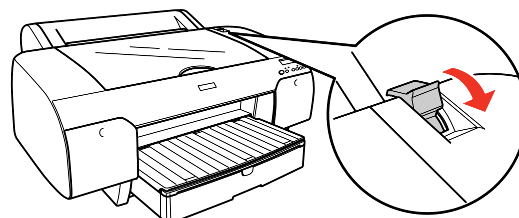
① 用紙セットレバーを確実に後方に倒します。



② ロール紙を巻き戻し、用紙カバーを閉じます。



③ 用紙セットレバーを手前に戻します。



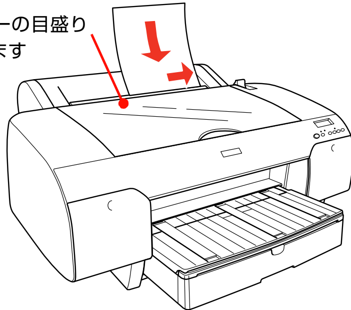
3 **操作パネルのディスプレイに □（単票紙）が表示されていることを確認します。**

表示されていない場合は、【用紙選択】ボタン（◁）を押して□（単票紙）を選択します。

4 **用紙を次のようにして差し込むと、自動的に給紙が始まります。**

- 印刷する面を上にする
- 用紙の右端を給紙スロットの右端に合わせる
- 給紙スロットの奥に突き当たるまで差し込む

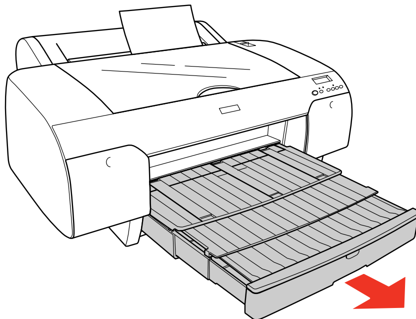
給紙が完了したら、パネルに「インサツカノウ」と表示されます。



!重要

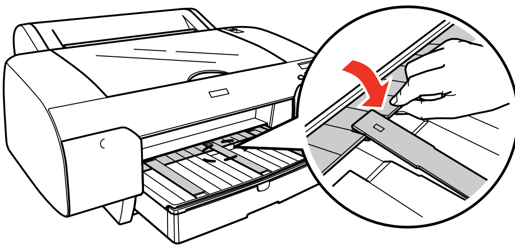
- 給紙スロットに対して、用紙を垂直にセットし、奥に突き当たるまで差し込んでください。
- 紙端が折れないよう、用紙のたわみを取るようにして挿入してください。

5 **用紙サイズに合わせて、用紙トレイを引き伸ばします。**



参考

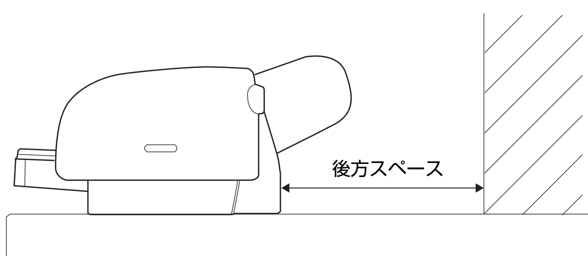
ロール紙サポートが立っている場合は、引き下げてください。



厚紙のセット

厚紙(0.8mm ～ 1.5mm)のセット

- セット可能な厚紙の長さは610mmまでですが印刷可能な最大のサイズは A2 サイズのため、実際に印刷できる大きさは 594mm までとなります。
- 「用紙検出機能」が「OFF」になっていると、フロントからの手差しはできません。
☞ 本書 17 ページ「設定メニュー一覧」
- 厚紙をセットするときは用紙がプリンタ後方にはみ出します。プリンタを壁際に設置している場合は、セットする用紙のサイズによって、プリンタの後方に以下のスペースを確保してください。



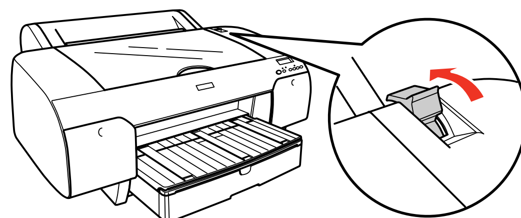
用紙	後方スペース
A2	約 380mm
A3 ノビ	約 270mm
A3	約 205mm
A4	約 81mm

- エプソン純正専用紙以外の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。
- 用紙は印刷する直前にセットすることをお勧めします。用紙をプリンタにセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

1 **プリンタの電源を入れます。**

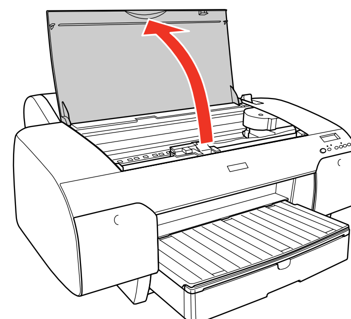
2 **【用紙選択】ボタン（◁）で ▢（単票紙）を選択します。**

3 **用紙セットレバーを確実に後方に倒します。**
ディスプレイに「ヨウシヲセットシテクダサイ」と表示されます。

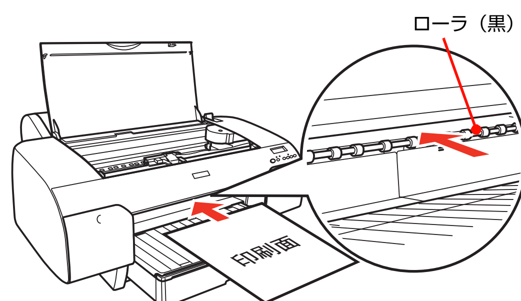


> **！重要**
> ポーズランプが点滅しているときは用紙セットレバーを操作しないでください。また、印刷中は用紙セットレバーが固定され、後方へ倒すことはできません。

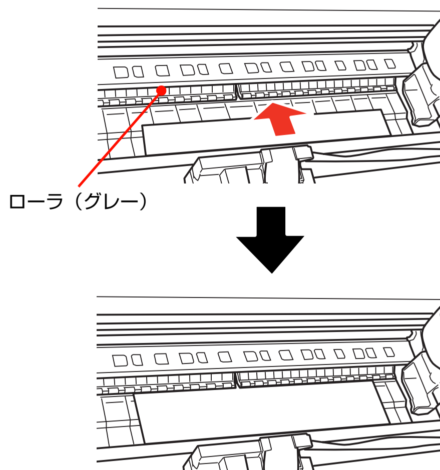
4 **トップカバーを開けます。**



5 **印刷面を上にして、用紙を前方の厚紙用給紙スロットの奥のローラ（黒）の上に通します。**



6 **プリンタ内部を触らないように用紙をトップカバー内のローラ（グレー）の下に通します。**

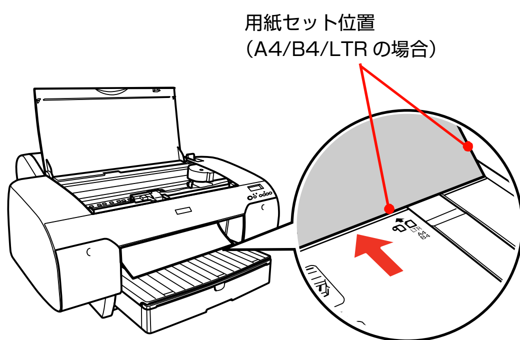


7 **用紙の先端を用紙セット位置に合わせます。**

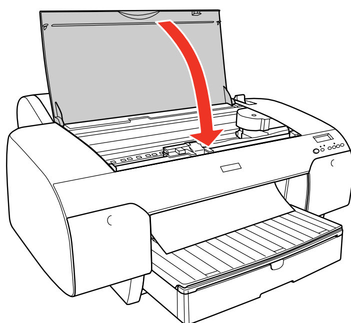
用紙サイズに合わせて、トレイカバーに表示された用紙セット位置まで用紙の先端を合わせます。

Letter、A4、B4：LTR、A4、B4

上記以外のサイズ：OTHERS

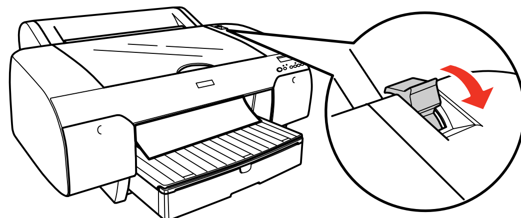


8 **トップカバーを閉じます。**



9 **用紙セットレバーを手前に戻します。**

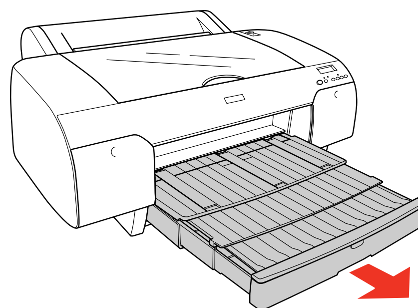
「[ポーズスイッチ] ヲオシテクダサイ」と表示されます。



【ポーズ】ボタン（○/Ⅱ）を押す、またはそのまましばらく放置すると、自動的にプリントヘッドが動いて用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を移動させて待機します。

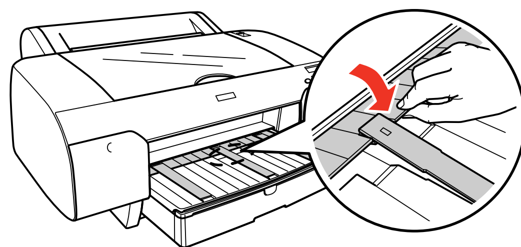
パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

10 **用紙サイズに合わせて用紙トレイを引き伸ばします。**



参考

- エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合は本書30ページ「使用可能な用紙」をご覧ください。
- エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合の印刷手順については、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。
- ロール紙サポートが立っている場合は引き下げてください。



ロール紙のセット

使用するロール紙に適応したスピンドルにロール紙をセットしてから、プリンタにセットします。

スピンドルの準備をする

本製品で使用するスピンドルは 2 インチ /3 インチ紙管兼用スピンドルです。出荷時は 3 インチ紙管用のアタッチメント（グレー）が取り付けられています。

また、本製品で使用可能なスピンドルは次の通りです。使用するロール紙によって、使用するスピンドルが異なりますのでエプソン純正専用紙については以下のページをご覧ください。

☞ 用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

型番	名称	2 インチ紙管使用時	3 インチ紙管使用時
PX60RPSD	ロール紙スピンドル（同梱品）	アタッチメントを取り外します。	アタッチメントを取り付けます。
PX60HSD	ハイテンションスピンドル（オプション）		

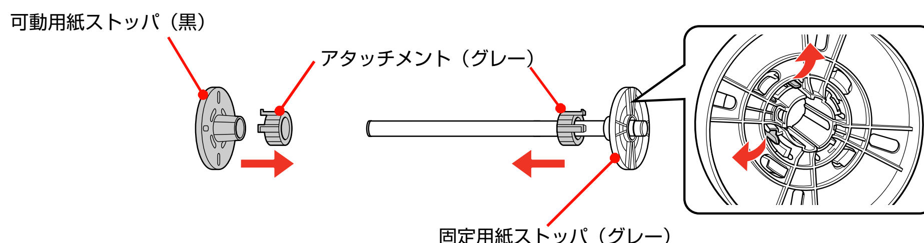
!重要
ロール紙に対応したスピンドルを使用しないと正常に印刷できません。誤った組み合わせで使用すると印刷品質に影響したり、プリンタが故障する原因になります。
☞ 用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

参考
- エプソン純正専用紙以外のロール紙で、布や 100g/ ㎡未満の薄紙を使用する場合は、ハイテンションスピンドル（オプション）にセットして使用することをお勧めします。その場合、用紙送りの量が通常より少なくなるため、[ユーザーヨウシ] メニューで [ヨウシオクリホセイ] をプラスに設定してください。
☞ 本書 22 ページ「[ユーザーヨウシ] メニュー」
なお、標準のスピンドルを使用すると、連続印刷時に用紙にしわが発生する場合があります。詳しくは、ロール紙の取扱説明書をご覧ください。
- MC マット合成紙 2 ロールはオプションのハイテンションスピンドルにセットして使用してください。

使用するロール紙の紙管サイズに合わせてアタッチメントを取り付けたり、取り外したりします。

2 インチ紙管使用時:アタッチメントの取り外し

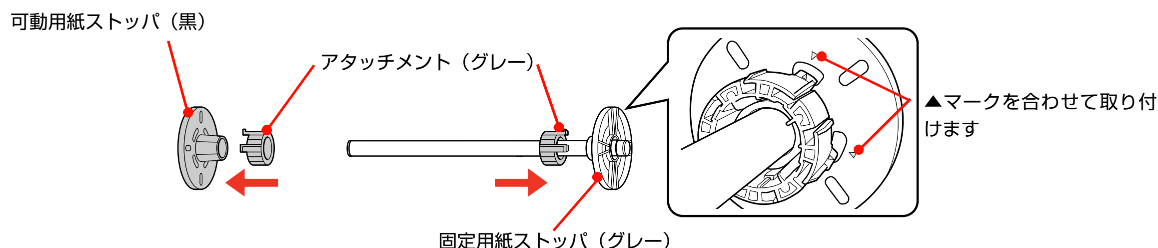
左右両方の用紙ストッパからグレーのアタッチメントを取り外します。用紙ストッパ側のフック（2 箇所）を外側に開いて、アタッチメントを用紙ストッパから引き抜きます。



参考　取り外したアタッチメントは 3 インチ紙管使用時に必要ですので、なくさないように保管してください。

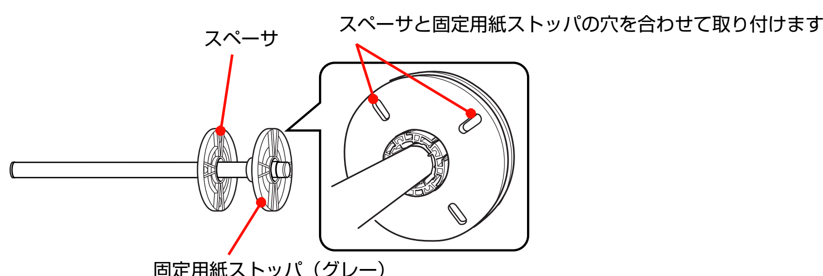
3 インチ紙管使用時:アタッチメントの取り付け

グレーのアタッチメントを左右の用紙ストッパに取り付けます。グレーのアタッチメントのフック（2箇所）を用紙ストッパの取り付け穴に差し込んで取り付けます。



幅が 420mm(A2)のロール紙にフチなし印刷する場合

A2 フチなし印刷用スペーサをスピンドルの固定用ストッパ（グレー）に取り付けます。



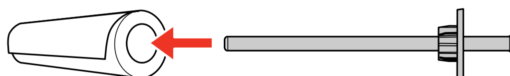
参考
- スペーサは 2 インチ紙管のロール紙に使用できます。3 インチ紙管のロール紙には使用できません。
- アタッチメントが固定用紙ストッパに取り付けてあるとスペーサは取り付けられません。アタッチメントを取り外してからスペーサを取り付けてください。

スピンドルにロール紙を取り付ける

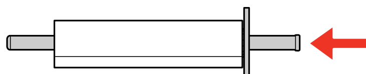
以下の手順で、スピンドルにロール紙を取り付けます。

1 **ロール紙を机の上など平らな場所に置き、固定用紙ストッパ（グレー）方向から見て左巻きになるようにロール紙をセットします。**

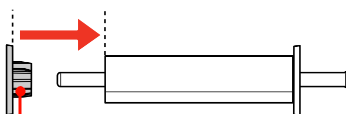
固定用紙ストッパ（グレー）



2 **固定用紙ストッパ（グレー）の右端にロール紙の芯が突き当たるまで押し込みます。**



3 **可動用紙ストッパ（黒）を取り付けます。**



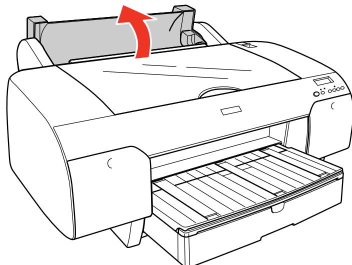
可動用紙ストッパ（黒）
ロール紙の芯がしっかり固定されるまで
押し込みます

プリンタにロール紙をセットする

以下の手順で、プリンタにロール紙を取り付けます。

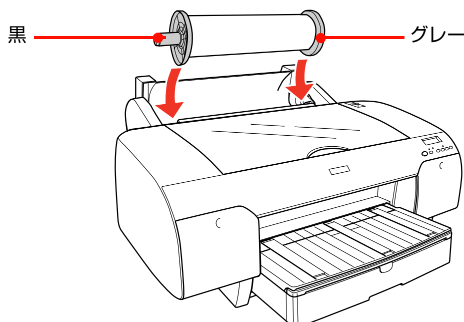
> **!重要**
>
> ロール紙は印刷する直前にセットすることをお勧めします。用紙をプリンタにセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。ロール紙を使用しないときは、ロール紙を巻き戻して取り外してください。

1 **用紙カバーを開けます。**



2 **固定用紙ストッパ（グレー）側を右側にして持ち、スピンドルの両端をプリンタのスピンドル受けにセットします。**

左右のスピンドル受けの色とスピンドル端部の色を合わせてセットします。

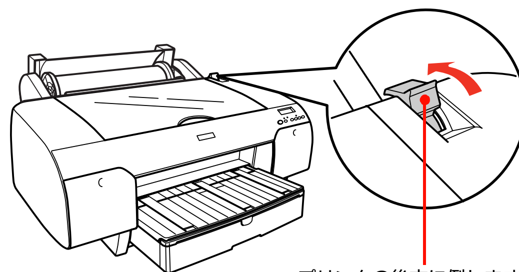


> **!重要**
>
> スピンドルのセット方向を間違えると正常な給紙ができません。

3 **プリンタの電源を入れます。**

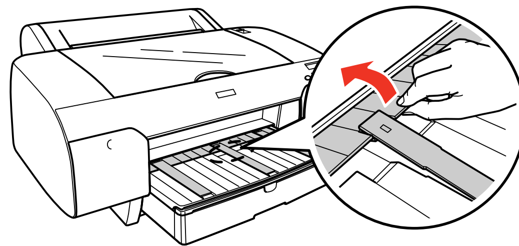
4 **用紙セットレバーを後方に倒します。**

用紙セットレバーは確実に倒してください。ディスプレイに「ヨウシヲセットシテクダサイ」と表示されます。



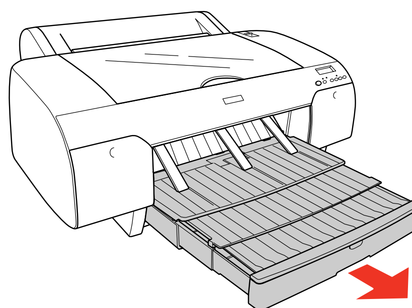
> **!重要**
>
> ポーズランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

5 **ロール紙サポートを押し上げて立てます。**



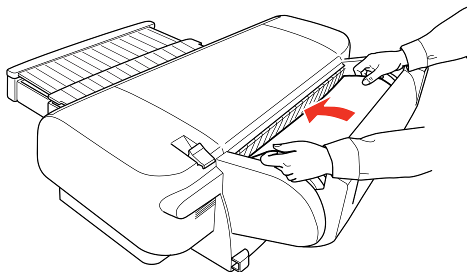
> **!重要**
>
> トレイカバーの上に物を載せないでください。物を載せた状態でロール紙サポートを立てると、ロール紙サポートが壊れるおそれがあります。

6 **用紙トレイを印刷の長さに合わせて引き伸ばします。**

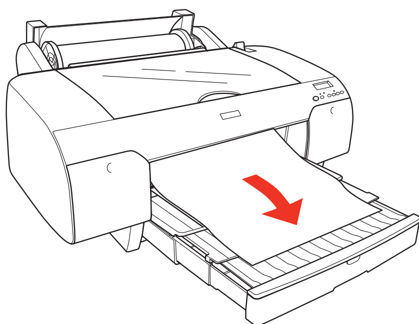


7 ロール紙を背面の給紙スロットに挿入します。

- ロール紙の側面がそろって巻かれていない場合は、端をそろえてからセットしてください。
- 紙端が折れないよう、用紙のたわみを取るようにして挿入してください。

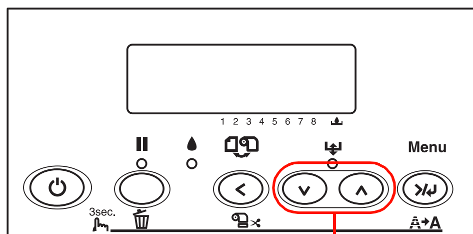


8 ロール紙を前面から引き出します。



ロール紙の先端が出てこない場合は、操作パネルの【用紙送り】ボタン（⊙/⊙）を押して吸着力を調整します。

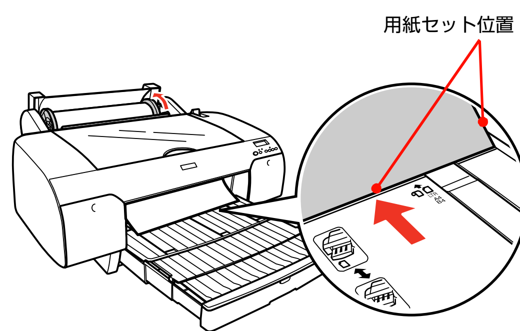
- 厚紙、腰の強い用紙、カールした用紙をセットする場合：[⊙] を押して吸着力を強めます。
- 薄い用紙、腰の弱い用紙をセットする場合：[⊙] を押して吸着力を弱めます。



9 ロール紙の先端を用紙セット位置に合わせます。

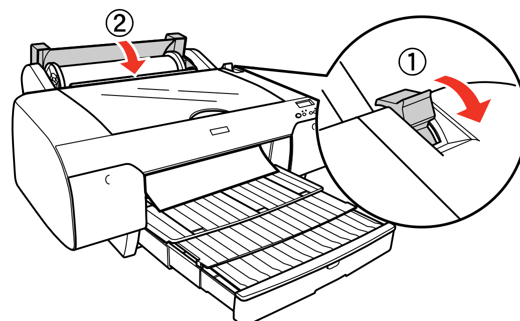
用紙先端の中央を持った状態で、スピンドルを持ってロール紙を少し巻き戻します。用紙のたわみが生じないように、また左右に最も安定する状態で用紙セット位置にセットします。

> **! 重要**
> - 用紙が斜めにセットされると、正しく印刷されません。必ず用紙セット位置に合わせてまっすぐセットしてください。用紙の先端が斜めにカットされているときは、まっすぐにカットし直してください。
>   ☞ 本書 44 ページ「ロール紙のカット」
> - ロール紙の先端が用紙セット位置より長すぎたり短すぎると、用紙を巻き上げきれずにエラーとなります。ロール紙先端のセット位置から 2cm 以内の引き出し量で用紙をセットしてください。



10 ロール紙のセットを完了させます。

① 用紙セットレバーを手前に戻します。
② 用紙カバーを閉じます。
「ポーズスイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。



【ポーズ】ボタン（○/II）を押す、またはそのまましばらくすると、ディスプレイに表示されるアイコンによって次の動作を行います。

	自動的にプリントヘッドが動いて用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を巻き上げて待機します。ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されます。
	自動的に「ロール紙自動カット」（ ）に切り替わります。
	用紙幅のチェックを行い待機します。ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されます。

ロール紙の先端に汚れや折れなどがある場合は、【用紙選択】ボタン（ ）で「ロール紙自動カット」（ ）を選択し【用紙選択】ボタン（ ）を約 3 秒押して先端部を切り揃えてください。

ロール紙のカット

ロール紙をセットした場合は、印刷前にロール紙のカット方法を選択します。

アイコン	用紙種類	処理
	ロール紙自動カット	1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	ロール紙カッターオフ	ロール紙をカットせずに印刷します。プリンタを手動で操作してカットするか、市販のカッターなどを使って切り離してください。

！重要

ロール紙の種類によっては、内蔵カッターではカットできないものがあります。このような用紙は、市販のカッターを使って切り離してください。

用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

参考

- カットする条件によっては印刷後カットする前に待ち時間が発生する場合があります。操作パネルのディスプレイに待ち時間の目安が表示されます。
- Windows/Mac OS X のプリンタドライバから印刷するときは、パネル設定で「ロール紙カッターオフ」に設定していても、プリンタドライバの「オートカット」の設定が優先されます。

自動でカットする

印刷後に自動的にカットしたいときは、以下の設定をします。

- **操作パネルから印刷する（ステータスシート、ノズルチェックやギャップ調整のパターンなど）**
  操作パネルの【用紙選択】ボタン（ ）を押して、「ロール紙自動カット」（ ）を選択します。
- **プリンタドライバから印刷する**
  プリンタドライバの［用紙設定］画面で、［オートカット］を［カットあり］に設定してください。

手動でカットする

以下の方法で、任意の場所でカットできます。

① 印刷後、【用紙送り】ボタン（ ）を押して、カットしたい位置まで用紙を送ります。
押さない場合は、最終ページの用紙終端位置でカットされます。

② 【用紙選択】ボタン（ ）で「ロール紙自動カット」に設定します。

③ 【用紙選択】ボタン（ ）を 3 秒以上押します。
ロール紙がカットされます。

参考

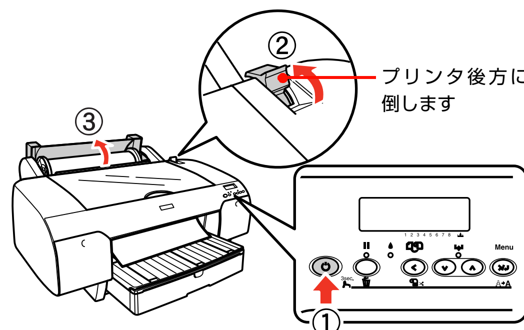
- ［プリンタセッテイ］メニューで［キリトリセン］を ON に設定しておくと、切り取り線を印刷できます。
- 「ロール紙カッターオフ」で【用紙選択】ボタン（ ）を 3 秒以上押すと、用紙を手で切れる位置まで用紙を排出します。市販のカッターでカットしてください。カット後、【ポーズ】ボタン（ ）を押し、操作パネルの表示を印刷可能状態に戻してください。

ロール紙の取り外し

ここではロール紙の取り外しの手順を説明します。

1 プリンタの電源を入れてから、用紙セットレバーを後方に倒し、用紙カバーを開けます。

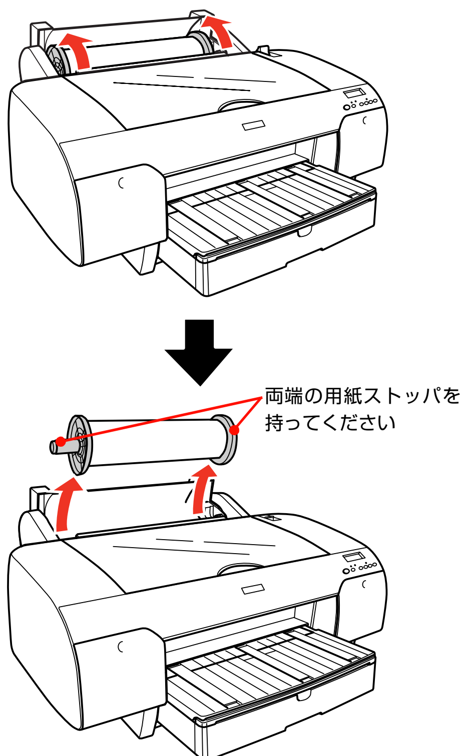
用紙セットレバーは確実に倒してください。ディスプレイに「ヨウシヲセットシテクダサイ」と表示されます。



!重要

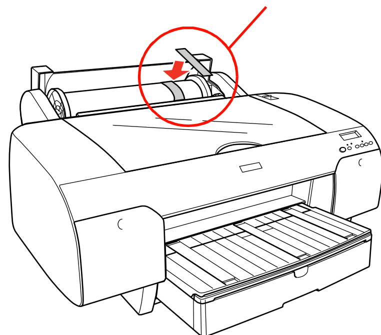
ポーズランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

2 ロール紙を巻き戻してから、スピンドルをプリンタから外し、水平な場所に置きます。



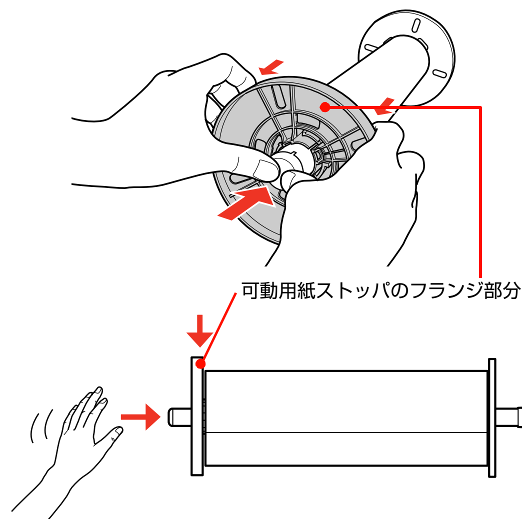
参考

ロール紙固定ベルトは、プリンタにセットされた未使用のロール紙の巻ほぐれを防止するためのベルトです。ロール紙を使用しないときに固定ベルトをしておくと、巻ほぐれによる事故を防止できます。固定ベルトはオプションのロール紙スピンドルに同梱されています。また、単体のオプションとしても販売しています。ご購入の上、必要に応じてお使いください。



3 可動用紙ストッパを図のように押さえ、スピンドルから可動用紙ストッパを外します。

スピンドルを押すとロール紙が動いて可動用紙ストッパがスピンドルから外れます。
ロール紙の種類によっては、スピンドルを軽くたたいて可動用紙ストッパを外します。



ロール紙の芯だけが残ったような状態で外す場合は、芯を押さえてスピンドルを押します。

!重要

ロール紙を取り外す際に、スピンドルの左端（可動用紙ストッパ側）を床に強く突き当てないでください。スピンドル左端部が衝撃で破壊するおそれがあります。

4 スピンドルからロール紙を外します。

取り外したロール紙はきちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包み、個装箱に入れ保管してください。

別のロール紙をセットしないときは、スピンドルに可動用紙ストッパを取り付けてプリンタにセットし、ロール紙カバーを閉じてください。

排紙方法

ここでは、印刷が終了した用紙の排紙方法を説明します。

単票紙の場合

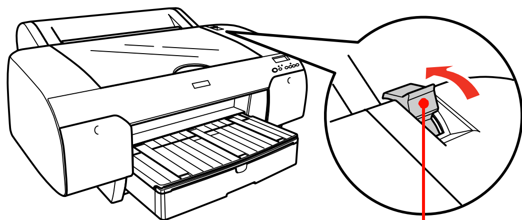
印刷が終了した単票紙または厚紙は、ローラで保持されています。以下の手順で排紙してください。

1 **操作パネルのディスプレイに「ヨウシヲセットシテクダサイ」と表示されていることを確認します。**

「インサツカノウ」と表示されている場合は、【用紙送り】ボタン（⊙）を３秒以上押し続けると排紙します。

> **！重要**
> 電源ランプまたはポーズランプが点滅しているときは、スイッチを操作しないでください。

2 **用紙セットレバーを後ろに倒し、用紙を抜き取ります。**



これで単票紙が排紙されます。

ロール紙の場合

印刷が終了したロール紙は、用紙カットの設定に従ってカットします。詳しくは、以下をご覧ください。

☞ 本書 44 ページ「ロール紙のカット」

4 基本的な印刷方法

ここでは、本製品の基本的な使い方を説明します。

※ ここでは Windows または Mac OS X 環境にプリンタドライバがインストールされていることを前提として説明しています。プリンタドライバのインストール方法は『セットアップガイド』をご覧ください。

印刷の開始

印刷は、接続したコンピュータから用紙サイズや給紙方法などを設定して実行します。

印刷の手順（Windows）

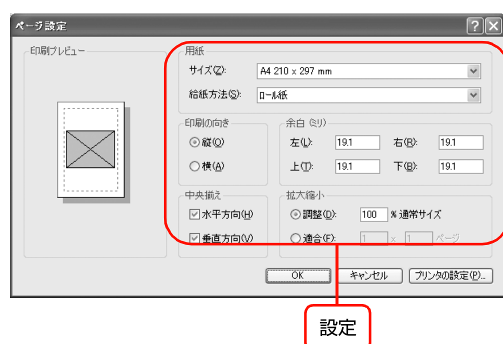
用紙設定

1 **アプリケーションソフトを起動します。**

2 **［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリンタ設定］などの用紙設定関連コマンド）を選択します。**

3 **各項目を設定します。**

［ページ設定］画面で用紙サイズなど必要な項目を設定します。
<例>「ペイント」の場合



> **参考**
>
> アプリケーションソフトによっては、独自の［ページ設定］画面が表示されることがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

4 **［OK］をクリックして、［設定］画面を閉じます。**

この後に印刷データファイルを作成します。

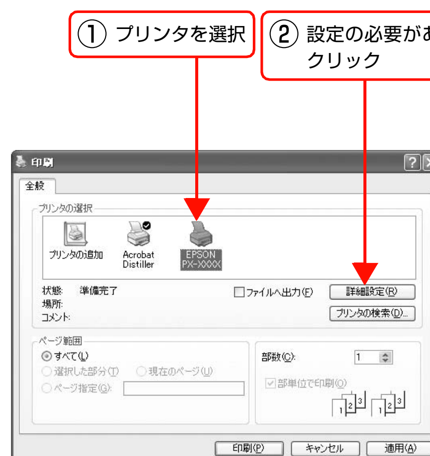
印刷設定と印刷の開始

1 **プリンタを印刷可能な状態にします。**

① 電源を入れます。
② 印刷する用紙をセットします。
☞ 本書 32 ページ「単票紙のセット」
☞ 本書 39 ページ「ロール紙のセット」

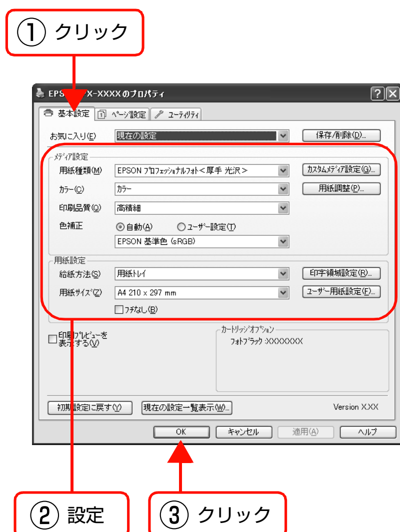
2 **印刷データを作成したら［ファイル］メニューから［印刷］（または［プリント］）を選択します。**

3 **プリンタが選択されていることを確認し、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックして設定画面を表示させます。**



4 セットした用紙に合わせて、[メディア設定] と [用紙設定] の各項目を設定します。

[ページ（用紙）サイズ] はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。



5 設定が完了したら、[印刷] をクリックして印刷を実行します。



画面上にプログレスメータが表示され、印刷が始まります。

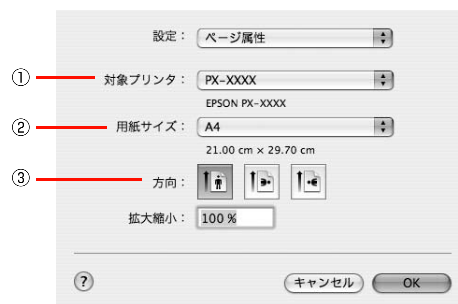
印刷の手順（Mac OS X）

用紙設定

1 アプリケーションソフトを起動します。

2 [ファイル] メニューから [ページ設定]（または [プリンタ設定] などの用紙設定関連コマンド）を選択します。

3 次の項目を設定します。



① 対象プリンタ：対象プリンタを選択します。
② 用紙サイズ：プリンタで使用できる用紙のリストが表示されます。お使いの用紙サイズと目的に合わせて選択してください。
③ 方向：用紙方向を選択します。

用紙サイズ選択

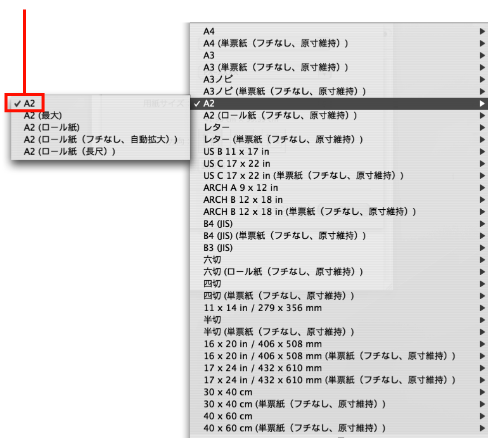
Mac OS X のドライバでは、[用紙サイズ] の選択肢が複雑になっています。

例えば A2 サイズでは、次のように 5 種類の中から選択します。また、（フチなし、原寸維持）は別の項目からの選択となります。さらに使用環境 * によって選択肢の表示順序が変わります。

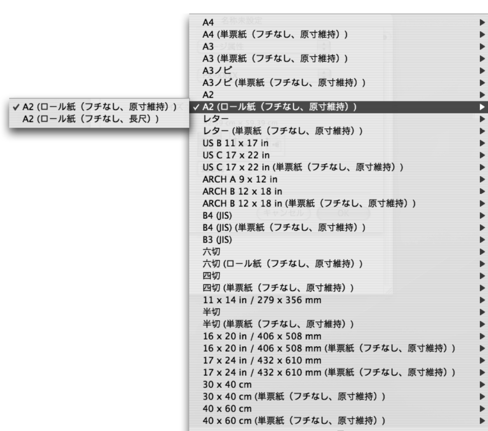
* 直前の印刷時に選択された [用紙サイズ] が表示されています。

- ［フチなし、自動拡大］または［フチあり］で印刷する場合

用紙サイズだけが記載された項目は、ロール紙に印刷する際に選択します。



- ［フチなし、原寸維持］で印刷する場合



フチなし印刷の詳細な設定は、以下をご覧ください。

☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「フチなし印刷」

自動拡大と原寸維持の設定は、次項をご覧ください。

4 **［OK］をクリックして、設定画面を閉じます。**

この後に印刷データファイルを作成します。

Mac OS X の[用紙サイズ]の選択肢

単票紙

- XXXX（最大）

  普通紙、普通紙（線画）、トレーシングペーパー（線画）、PX マット紙<薄手>（線画）の単票紙で、上下左右の余白を 3mm ずつにする場合に選択します。

- XXXX（単票紙（フチなし、自動拡大））

  単票紙に左右フチなし印刷するときに選択します。自動拡大でのフチなし印刷は、プリンタドライバが印刷データを用紙サイズより左右に 3mm ずつ拡大し、はみ出させて印刷します。はみ出し量は［はみ出し量設定］の画面で変更できます。上下方向にも左右と同じ比率で拡大します。印刷データを自動的に拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、左右にはみ出した部分は印刷されず、また上 3mm、下 14mm の余白ができます。

- XXXX（単票紙（フチなし、自動拡大（最大）））

  単票紙に左右フチなし印刷するときに選択します。XXXX（単票紙（フチなし、自動拡大））に比べて、上下の余白がそれぞれ 3mm になります。

- XXXX（単票紙（フチなし、原寸維持））

  単票紙に原寸維持で左右フチなし印刷するときに選択します。原寸維持は、印刷データの大きさを維持したまま印刷することでフチなし印刷します。あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙サイズより左右方向が 6mm 大きくなるように印刷データを作成して印刷します。

  プリンタドライバも印刷領域を左右 3mm ずつ広げて印刷し、フチなし印刷を実現します。上下方向は作成された印刷データのまま印刷しますが、それぞれ上 3mm、下 14mm の余白ができます。

- XXXX（単票紙（フチなし、原寸維持（最大）））

  単票紙に左右フチなし印刷するときに選択します。XXXX（単票紙（フチなし、原寸維持））に比べて、上下の余白がそれぞれ 3mm になります。

ロール紙

- XXXX（ロール紙（長尺））

  長尺印刷アプリケーションを使用するときに選択します。上下には余白ができません。左右に 3mm の余白ができます。

- XXXX（ロール紙（フチなし、自動拡大））

  ロール紙に印刷するときに選択します。自動拡大でのフチなし印刷は、プリンタドライバが印刷データを用紙サイズより左右に 3mm ずつ拡大し、はみ出させて印刷します。はみ出し量は［はみ出し量設定］の画面で変更できます。上下方向にも左右と同じ比率で拡大します。印刷データを自動的に拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、左右にはみ出した部分は印刷されません。

- XXXX（ロール紙（フチなし、原寸維持））

  ロール紙にフチなし印刷するときに選択します。プリンタドライバは、印刷データの大きさを上下左右とも維持したまま印刷します。あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙サイズより左右方向が 6mm 大きくなるように印刷データを作成します。プリンタドライバは用紙サイズに対して左右に 3mm ずつ広げて印刷することで、フチなし印刷を実現します。

- XXXX（ロール紙（フチなし、長尺））

  長尺印刷アプリケーションを使用してフチなし印刷するときに選択します。プリンタドライバは、印刷領域

を用紙幅に対して左右を3mmずつ広げて印刷します。印刷データの大きさを拡大しないため、上下方向は作成した大きさのまま印刷します。ただし、あらかじめ用紙サイズより左右に 3mm ずつはみ出した原稿を作成する必要があります。上下にも余白はできません。

※ XXXX は表示される項目中の用紙サイズを表します。

印刷設定と印刷の開始

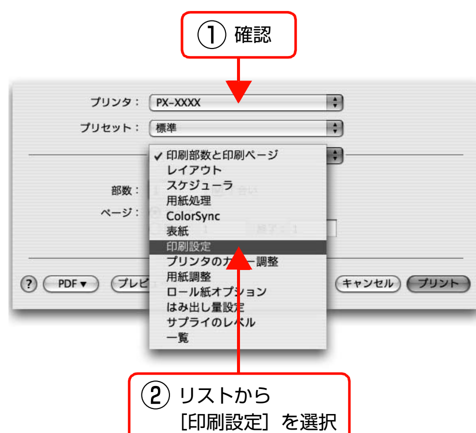
1 **プリンタを印刷可能な状態にします。**

① 電源を入れます。
② 印刷する用紙をセットします。
本書 32 ページ「単票紙のセット」
本書 39 ページ「ロール紙のセット」

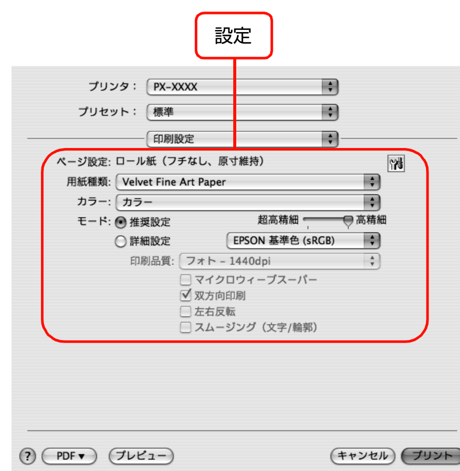
2 **印刷データファイルを作成したら［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**

プリンタ名が表示されないときは、「プリンタの追加」を行ってください。
セットアップガイド「4. プリンタソフトウェアをインストールします」

3 **プリンタ名が表示されていることを確認し、リストから［印刷設定］を選択します。**



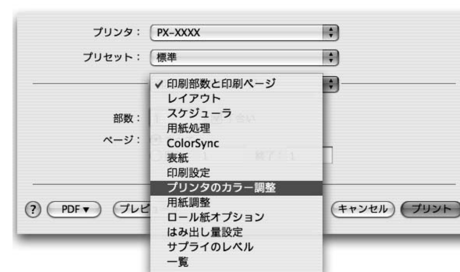
4 **各項目を設定します。**



セットした用紙に合わせて［用紙種類］を選択します。通常は［印刷設定］の各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

5 **必要に応じて、リストからほかの項目を選択します。**

本製品独自の設定画面には以下の項目があります。



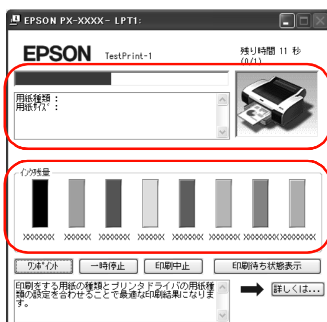
6 **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

印刷が始まります。



印刷状態の確認（Windows）

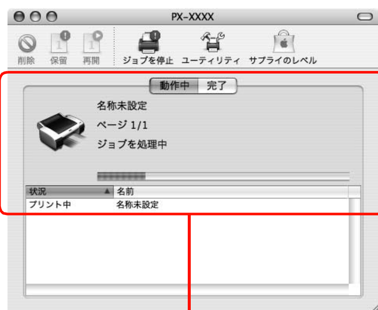
EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストールされていれば、印刷を実行したときに進行状況（コンピュータの処理状況）を表示するプログレスメータがコンピュータのモニタに表示されます。



> **参考**
>
> 操作パネルの［プリンタステータス］メニューで印刷可能枚数やインク残量などの情報を確かめることもできます。
> ☞ 本書 20 ページ「［プリンタステータス］メニュー」

印刷状態の確認 (Mac OS X)

印刷を実行すると、［Dock］内に［プリンタ］アイコンが表示されます。［プリンタ］アイコンをクリックすると詳細な進行状況が表示されます。



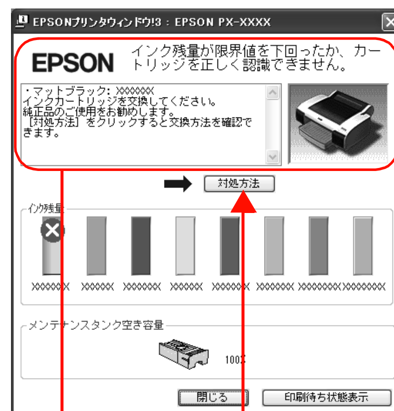
> **参考**
>
> ［プリンタ設定ユーティリティ］は、以下の手順で起動します。Mac OS X v10.2.x 以前では［プリントセンター］という名称です。
> ① ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。
> ②［アプリケーション］をクリックして［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。
> ③［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

印刷中に問題が起こったときは

問題が発生したり、インクカートリッジ交換が必要になると EPSON プリンタウィンドウのメッセージウィンドウにエラーメッセージが表示されます。

［対処方法］をクリックし、メッセージに従って対処してください。

< Windows の場合 >



< Mac OS X の場合 >

印刷中にエラーが発生した場合はエラーメッセージが表示されます。詳細なエラー対処方法がわからない場合は印刷を中止して、EPSON プリンタウィンドウを起動して確認してください。



印刷の中止

ここでは、印刷の中止方法を説明します。

印刷の中止方法

印刷を中止するには状況に応じて以下の方法があります。

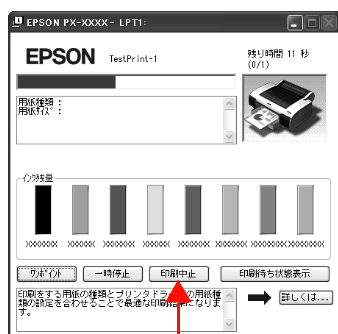
印刷状況	コンピュータ側での中止	プリンタ側での中止	操作
データ転送中	○	–	コンピュータから中止したいデータを選んで中止します。
データ転送中 / 印刷中	○	○	• コンピュータから中止の操作をしても、プリンタ側でも中止の操作を行わないと、プリンタに蓄積されているデータが印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止の操作をしても、コンピュータ側から中止の操作を行わないと、プリンタをリセット後にコンピュータに蓄積されているデータが再送信され、印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止した場合、ほかの印刷データもすべて削除されます。
印刷中	–	○	ほかの印刷データもすべて削除されます。

コンピュータ側で中止する（Windows）

印刷の進行状況を示すプログレスメータが表示されているとき

［印刷中止］をクリックします。

<例>



プログレスメータが表示されていないとき

1 **タスクバーにあるプリンタのアイコンをクリックします。**

2 **中止したい印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。**

すべての印刷データを削除するときは、［プリンタ］メニュー内の［すべてのドキュメントの取り消し］または［印刷ドキュメントの削除］をクリックします。



プリンタへのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。このようなときは、プリンタのリセットで印刷中止します。

コンピュータ側で中止する（Mac OS X）

1 プリンタの電源を入れてハードディスクのアイコンをダブルクリックします。



ダブルクリック

［Macintosh HD］というアイコンはお使いの環境によって異なります

2 ［アプリケーション］をクリックして［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。

① クリック

② ダブルクリック



［ユーティリティ］フォルダが表示されないときは、ウィンドウ右のスライドバーを使って画面をスクロールします

3 ［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

［プリンタ設定ユーティリティ］は Mac OS X v10.2.x 以前では［プリントセンター］という名称です。

ダブルクリック



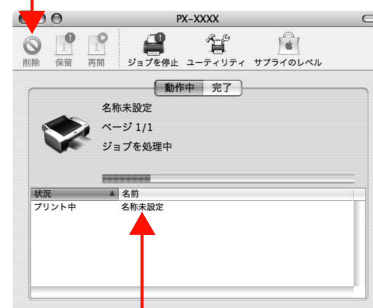
4 ［プリント中］と表示されているプリンタをダブルクリックします。



ダブルクリック

5 中止したい印刷データをクリックし、［削除］をクリックします。

② クリック



① クリック

画面に印刷キャンセルに関する画面が表示されたときは、画面の指示に従ってください。これで印刷が中止されます。

プリンタ本体で中止する

【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を 3 秒以上押します。

プリンタがリセットされ、印刷が中止されます。

印刷中の用紙の処理は、ディスプレイに表示されているアイコンによって以下のように異なります。リセット後、印刷可能状態になるまで時間がかかることがあります。

アイコン	用紙種類	説明
	ロール紙自動カット	用紙サイズ分紙送りをしてから、自動的に用紙をカットします。
	ロール紙カッターオフ	パネル設定モードで［キリトリセン］を［ON］に設定していると切り取り線を印刷します。【用紙送り】ボタン（⌄/⌃）を押して、カットしたい位置まで紙送りし、市販のカッターを使ってロール紙から用紙を切り離してください。
	単票紙	排紙されます。

参考

上記の操作では、コンピュータの印刷待ちデータを削除することはできません。印刷待ちデータを削除するときは前項の「コンピュータ側で中止する」をご覧ください。

5 オプションと消耗品

ここでは、オプションと消耗品を紹介します。

オプションと消耗品の紹介

本製品をより幅広くお使いいただくために、以下のオプション（別売品）と消耗品を用意しています（2007 年 11 月現在）。

エプソン製の専用紙

エプソン製の専用紙に関する情報は、別冊の『用紙ガイド』をご覧ください。

また、用紙に関する最新の情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

http://www.epson.jp/

インクカートリッジ

本製品に添付のプリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、印刷がかすれたり、インクエンドが正常にできなくなるおそれがあります。

インクカートリッジの種類については、以下を参照してください。

☞ 本書 66 ページ「インクカートリッジの種類」

交換方法については、以下を参照してください。

☞ 本書 68 ページ「インクカートリッジの交換手順」

ブラックインクコンバージョンキット

100 回使用すると寿命となります。寿命が近い場合や寿命になったコンバージョンキットをセットするとディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージの指示に従ってください。

☞ 本書 70 ページ「ブラックインク種類変更（PX-6550 のみ）」
☞ 本書 98 ページ「ディスプレイにメッセージが表示される」

名称	型番
ブラックインクコンバージョンキット	ICCVK36A

メンテナンスタンク

交換方法は、以下をご覧ください。

☞ 本書 76 ページ「メンテナンスタンクの交換」

名称	機種	型番
メンテナンスタンク	PX-6550	PXMT2
	PX-6250S	PXMT3

カッター替え刃

交換方法は、以下をご覧ください。

☞ 本書 78 ページ「カッターの交換」

名称	型番
ペーパーカッター替え刃	PXSPB1

スピンドル

取り付け方やカッターの交換方法は、以下をご覧ください。

☞ 本書 39 ページ「スピンドルの準備をする」

名称	型番
ロール紙スピンドル、2 インチ /3 インチ紙管兼用（本製品に 1 本同梱されています）	PX60RPSD
ハイテンションスピンドル、2 インチ /3 インチ紙管兼用	PX60HSD

！重要

ロール紙の種類によってはハイテンションスピンドル（オプション）を使用しないと正常に印刷できないものがあります。ハイテンションスピンドルを使用する必要があるかについてはロール紙の取扱説明書をご覧ください。また、指定のロール紙以外で使用すると印刷品質に影響したり、プリンタが故障する原因となります。

☞ 用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

インターフェイスケーブル

USB ケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータとプリンタを接続する場合は、オプションの USB ケーブルを使用してください。

名称	型番
EPSON USB ケーブル	USBCB2

☞ セットアップガイド「3. コンピュータと接続します」

参考

USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用する際は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがあります。このようなときはコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

ネットワークケーブル

本製品を Ethernet でネットワーク環境に接続するときは、市販の LAN ケーブルを使用してください。

- シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）
- 10Base-T または 100Base-TX

☞ セットアップガイド「3. コンピュータと接続します」

6 メンテナンス

ここでは、本製品を最適な状態でご使用いただくためのメンテナンス方法などについて説明します。

日常の管理

設置に適した環境

本製品は以下の条件を満たす場所に設置してください。

- プリンタの質量約40㎏に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- プリンタの操作やメンテナンスに支障のないよう、周囲に十分なスペースを確保できる場所
  本書 127 ページ「設置スペース」
- 温度 10 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80%の場所

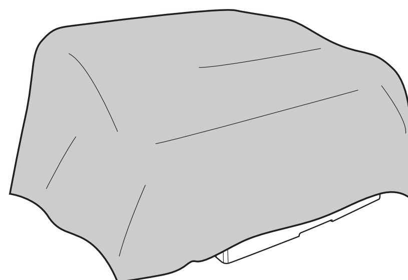
ただし、上記の条件を満たしていても、使用する用紙の条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ず用紙の条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、用紙の取扱説明書をご覧ください。

冬に乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直射日光があたる場所で使用するときは、乾燥しないように注意し、条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

印刷時以外のご注意

プリンタのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりしてしまいます。使用時以外は、トップカバーなどの開口部を閉じてください。

また、長期間使用しないときなどは、ホコリが入らないよう、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。



参考

常に最高品位の印刷をするためには、長期間使用しないときだけでなく、印刷前にはノズルチェックなどのプリントヘッドの調整をすることをお勧めします。約 1ヵ月間使用しなかったプリンタの電源を入れると、プリンタの操作パネルにノズルチェックを実行するかどうか確認するメッセージが表示されます。必要に応じてクリーニングしてください。

本書 80 ページ「プリントヘッドの調整」

用紙の取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

用紙を取り扱う際は次の点に注意して、各用紙の取扱説明書の指示に従ってください。

- エプソン製の専用紙は一般室温環境下(温度 15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%)でお使いください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手に付いた水分や油が印刷品質に影響します。
- ロール紙は、用紙の端を持って取り扱ってください。または綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により、波打ったり、たわんでしまうことがあります。用紙を傷付けたり汚したりしないように、手で平らな状態に修正してからセットしてください。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、なくさないでください。

印刷後のご注意

印刷後は、以下の点にご注意ください。

- 印刷物の表面には触らないでください。インクが剥がれることがあります。
- 印刷物を擦ったり引っかいたりしないように注意してください。擦ったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあります。
- 印刷後の用紙は、重なったり折れ曲がったりしないように注意して、乾燥させてください。重なった部分の色が変わる(重なった部分に跡が残る)ことがあります。この跡は乾燥させればなくなりますが、重なっている状態で放置すると、乾燥させても跡が消えなくなります。
- 乾燥していない状態でアルバムなどに保存すると、にじみが発生することがあります。印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。
- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐために用紙の取扱説明書を参考にして展示 / 保存してください。適切な展示 / 保存をすることによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

参考

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色(変色)していきます。エプソン製の専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。

- 各エプソン製の専用紙の詳しい印刷後の取り扱い方法は、専用紙の取扱説明書をご覧ください。
- 写真やポスターなどの印刷物は照明(光源 *)の違いなどによって、色の見え方が異なります。本製品の印刷物も光源の種類によって色が異なって見える場合があります。
  * 光源には太陽光、蛍光灯、白熱灯などの種類があります。

保管時のご注意

用紙を保管する際は以下の点に注意して、各用紙の取扱説明書の指示に従ってください。

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後の単票紙は、個装袋に戻して個装箱に入れて水平な状態で保管してください。
- 使用しないロール紙はスピンドルから取り外し、きちんと巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間プリンタにセットしたまま放置すると、用紙品質が低下するおそれがあります。
- 用紙を濡らさないでください。
- 印刷した用紙を保存する場合は、色合いを保つために、高温、多湿、直射日光を避けて、暗所に保存することをお勧めします。

インクカートリッジの交換

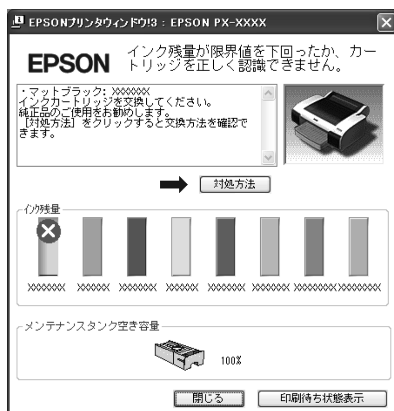
ここでは、インクカートリッジの交換方法について説明します。

> **！重要**
> - PX-6550 でマットブラックとフォトブラックの切り替えをする場合は、通常のインクカートリッジの交換とは手順が異なります。切り替えを行うときは必ず「ブラックインクコンバージョンキット」を使用して、本書 70 ページ「ブラックインク種類変更（PX-6550 のみ）」の手順に従って交換してください。
> - 電源が切れている状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われず、インクチェックランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印刷ができなくなります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。

インクが残り少なくなったときは

インクチェックランプの点滅は、インクが残り少ないことを示しています。また、EPSON プリンタウィンドウがインストールされていると、インクが残り少なくなったときには、コンピュータの画面にメッセージが表示されます。インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジを交換することをお勧めします。セットしてあるすべてのインクカートリッジのうち、ひとつでもインクが使用できない状態にあると印刷ができなくなります。印刷の途中でインクが使用できなくなったときは、そのインクカートリッジを交換すると印刷は続行されます。

< Windows >



< Mac OS X >



※ 画面上の［対処方法］をクリックすると交換手順が表示されますので、その表示に従うと簡単に交換できます。

インク残量を確認したいときは

プリンタの操作パネルで確認する

ディスプレイには常時インク残量の目安が表示されています。

☞ 本書 14 ページ「④ 各色インク残量の目安」

正確なインク残量はパネル設定において［プリンタステータス］メニューから確認することができます。大量に印刷を行う前には各色のインク残量を確認し、残量が少ないインクがあれば、新しいカートリッジを準備してください。

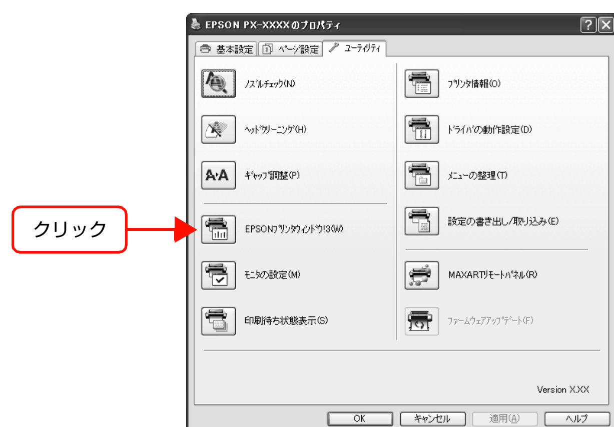
☞ 本書 16 ページ「C. プリンタの各種情報を表示する場合」

プリンタドライバで確認する（Windows）

EPSON プリンタウィンドウ !3（Windows）を使用して、インク残量などを画面上に表示させることができます。以下の 2 通りの方法でインク残量を確認できます。

・方法 1

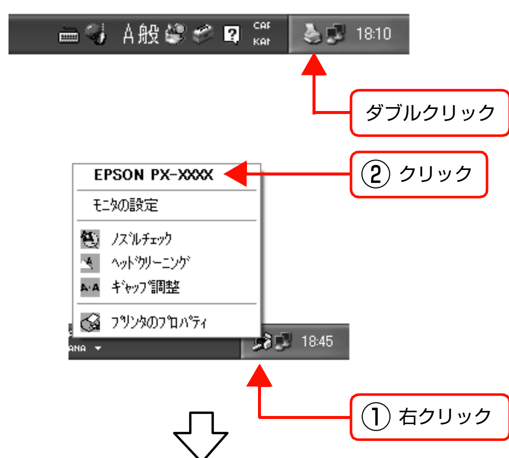
プリンタドライバのプロパティ画面を開き、[ユーティリティ]の[EPSON プリンタウィンドウ !3]をクリックします。



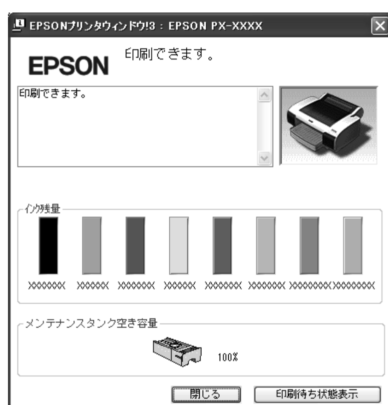
・方法 2

[モニタの設定]画面で[呼び出しアイコン]を設定しておくと、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューからプリンタ名をクリックします。

☞ ユーザーズガイド(電子マニュアル)「[モニタの設定]画面」



または

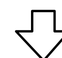


プリンタドライバで確認する(Mac OS X)

EPSON プリンタウィンドウ(Mac OS X)を使用して、インク残量などを画面上に表示させることができます。以下の方法で[インク残量]モニタを開きます。

[アプリケーション]フォルダー[EPSON Printer Utility2]アイコンの順にダブルクリックして[EPSON Printer Utility2]画面を開き、[EPSON プリンタウィンドウ]をクリックします。







インクカートリッジの種類

本製品では、以下のインクカートリッジを使用します。

インクの色	型番	
	PX-6250S	PX-6550
フォトブラック	-	ICBK36A
マットブラック	ICMB24A	ICMB24A *
シアン	ICC24A	ICC36A
マゼンタ	ICM24A	-
ビビッドマゼンタ	-	ICVM36A
イエロー	ICY24A	ICY36A
グレー	-	ICGY36A
ライトシアン	-	ICLC36A
ライトマゼンタ	-	-
ビビッドライトマゼンタ	-	ICVLM36A
ライトグレー	-	ICLGY36A

* マットブラックを使用するときは、マットブラックインクを別途購入してください。ブラックインクの種類を変更するには、オプション（別売）の「ブラックインクコンバージョンキット」が必要です。

!重要

- 本製品のプリンタドライバは、本製品に対応した純正インクカートリッジを前提に色調整されていますので、本製品に対応した純正品以外を使うと印刷品質が低下したり、プリントヘッドの目詰まりやインク漏れなどの故障の原因となる可能性があります。また、インク残量を検出できないこともあります。
- 機種によって、使用可能なインクが異なります。ご注意ください。

取り扱い上のご注意

- 良好な品質の印刷結果を得るために、インクカートリッジは、開封後 6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている有効期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものを使用すると印刷品質に影響を与えることがあります。
- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温に放置してから使用してください。
- インクカートリッジのインク供給孔には触らないでください。インク供給部からインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、途中で抜いても再使用可能です。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶しています。このため、インクを補充しても IC チップ内の残量値が書き換わることはなく、使用できるインク量は変わりません。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクは印刷時だけでなくプリントヘッドのクリーニング操作時などでも消費されます。

交換時のご注意

- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、セット前に水平方向に（5 秒ほど）よく振ってください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全スロットにセットしてください。全スロットにセットしていないと印刷できません。
- インクカートリッジの交換は、プリンタの電源が入っている状態で行ってください。電源が切れている状態で交換すると、インク残量が正しく検出されないため正常に印刷できなくなります。
- インクカートリッジ交換中にプリンタの電源を切らないでください。インクの充てんが不十分になったり、プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなったりするおそれがあります。
- インクが残った状態で取り外したカートリッジに交換するときは、新品のインクカートリッジも用意してください。プリンタにインクを充てんする（インクが消費されます）際に、充てんに必要な容量のインクが残っていないと、新品のインクカートリッジに交換する必要があります。
- 短期間に、インクカートトッリッジの交換やクリーニングを繰り返すと、メンテナンスタンク内のインク蒸発が少ないためメンテナンスタンクのインクがすぐにいっぱいになる可能性があります。メンテナンスタンクの空き容量が少ない場合は、メンテナンスタンクの予備を用意しておいてください。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。

保管時のご注意

- インクエンド検出前に取り外したインクカートリッジは、インクカートリッジの個装箱に印刷されている有効期限内であれば、再び交換して使用できます。
- インクカートリッジは、インクの供給孔部にホコリが付かないように注意して、プリンタと同じ環境下で保管してください。袋などに入れる必要はありません。また、供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないように注意してください。

インクカートリッジは純正品をお勧めします

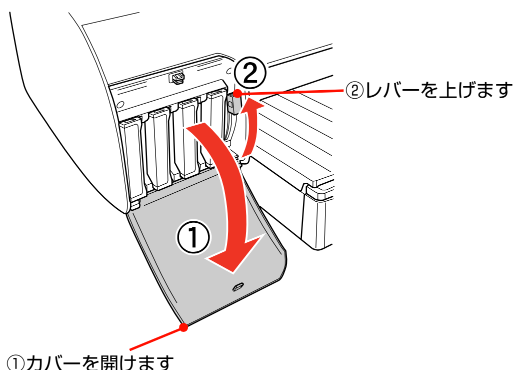
プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体や印刷品質に悪影響がでるなど、プリンタ本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

インクカートリッジの交換手順

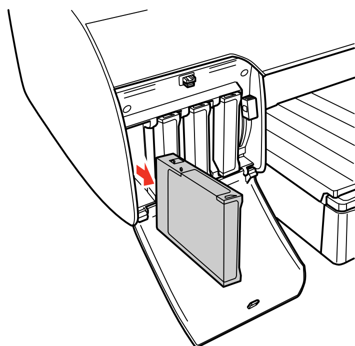
!重要

PX-6550 でマットブラックとフォトブラックの切り替えをする場合は、通常のインクカートリッジの交換とは手順が異なります。切り替えを行うときは必ず「ブラックインクコンバージョンキット」を使用して、本書 70 ページ「ブラックインク種類変更（PX-6550 のみ）」の手順に従って交換してください。

1 インクカートリッジ収納ボックスのカバーを押してカバーを開け、インクレバーを上げます。



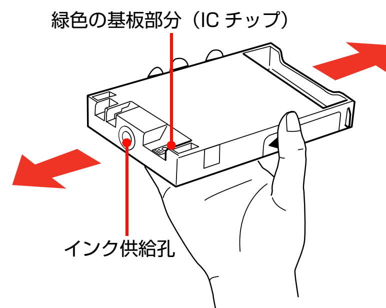
2 カートリッジスロットから交換するインクカートリッジを外します。



!重要

インク供給部からインクが漏れることがあります。手や服を汚さないように注意してください。

3 インクカートリッジを袋から取り出し、図のように持って振ります。水平方向に（5 秒ほど）よく振ってください。

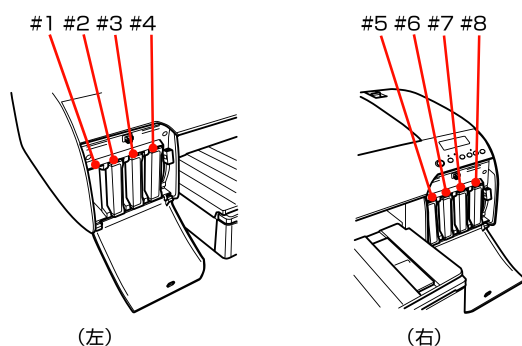


!重要

- インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジのインク供給孔には触らないでください。インク供給部からインクが漏れることがあります。

4 カートリッジスロットにインクカートリッジを取り付けます。

色によって装着するスロットが決まっています。図と表に従って装着してください。



	PX-6250S	PX-6550
#1	マットブラック	フォトブラック / マットブラック *
#2	シアン	シアン
#3	マゼンタ	ビビッドマゼンタ
#4	イエロー	イエロー
#5	-	グレー
#6	-	ライトシアン
#7	-	ビビッドライトマゼンタ
#8	-	ライトグレー

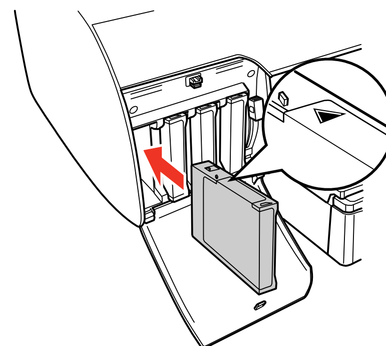
* フォトブラック、マットブラックの交換ができます。ブラックインクの種類を切り替えるときは、ブラックインクコンバージョンキット（別売）が必要です。
☞ 本書　70　ページ「ブラックインク種類変更（PX-6550 のみ）」

! 重要

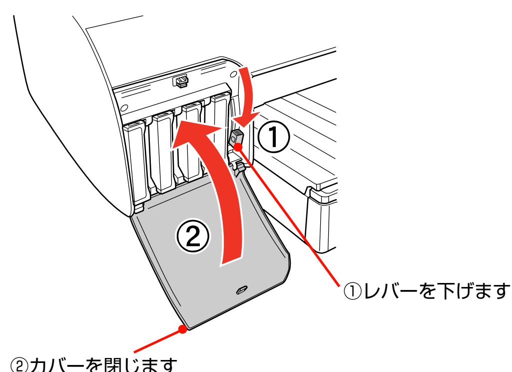
機種によって、使用可能なインクが異なります。ご注意ください。
☞ 本書 66 ページ「インクカートリッジの種類」

5 インクカートリッジの▲マークを上にして、プリンタ側に向けて挿入します。

インクカートリッジはスロットの奥までしっかり挿入してください。インクカートリッジが挿入されると、操作パネルのインクチェックランプが消灯しますので、インクチェックランプを確認してください。



6 インクレバーを下げ、インクカートリッジ収納ボックスのカバーを閉じます。



レバーを押し下げ、カバーが固定されるまで閉じてください。

印刷の途中でインクカートリッジを交換した場合は、印刷を再開してください。

ブラックインク種類変更（PX-6550 のみ）

PX-6550 では、フォトブラックとマットブラックの使い分け（ブラックインクの種類変更）ができます。通常のインク交換手順と異なりますので、必ず次の手順に従って交換してください。
ブラックインク以外の同じ種類のインクを交換する場合は、本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」をご覧ください。

！重要

- ブラックインク種類変更の操作（インク交換からインク充てん終了まで）には約 10 ～ 12 分かかります。
- ブラックインク種類変更を行うと各色約 15 ～ 20ml のインクが消費されます。必要なとき以外は種類変更を行わないでください。
- 印刷途中でインクがなくなった場合は、ブラックインク種類変更を行わないでください。印刷途中で異なる黒色のインクカートリッジに交換すると、エラー状態になり印刷が中断されます。

交換に必要なもの

新しく装着するインクカートリッジ

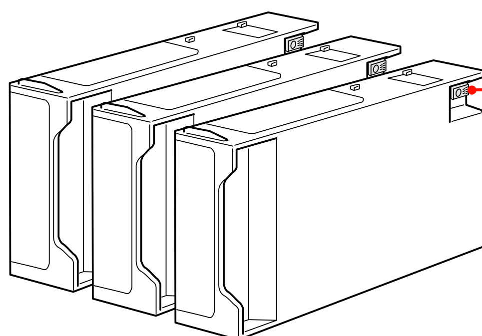
場合によっては、交換対象でないインクカートリッジや、新品のメンテナンスタンクが必要になることがあります。以下の項目を参照してください。
☞ 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
☞ 本書 76 ページ「メンテナンスタンクの交換」

！重要

インクカートリッジを正しく使うために、以下を参照して注意事項を確認してください。
☞ 本書 10 ページ「消耗品に関するご注意」

ブラックインクコンバージョンキット（別売：型番 ICCVK36A）

ブラックインクコンバージョンキットは、コンバージョンカートリッジ 3 本のセットです。



緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作できなくなるおそれがあります。

ブラックインクコンバージョンカートリッジは、100 回の使用で寿命となります。

交換作業の流れ

まず、交換作業の大まかな流れを説明します。流れを把握してから作業を始めることをお勧めします。

① 操作パネルで、すべてのインク残量および、メンテナンスタンクの空き容量を確認します。

② 操作パネルで、メンテナンスメニューの「Bk インククシュルイコウカン」を選択します。

③ 左側のすべてのインクカートリッジを引き抜きます。

④ プリンタ内部のインク流路に残っているインクをメンテナンスタンクに排出します。インクの排出には「ブラックインクコンバージョンキット」が必要です。

⑤ インクカートリッジをセットし、インクを充てんします。

⑥ プリンタドライバのインク情報を更新します。

参考
- ブラックインク種類変更の操作が終了するまで、プリンタから離れないでください。作業の途中で放置した場合、インク充てんのやり直しなどでインクを余分に消費してしまうことがあります。
- インク交換には時間がかかり、その間は印刷できません。プリンタをネットワーク共有している場合は接続ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

インク残量とメンテナンスタンクの空き容量の確認

ブラックインクの種類変更には、十分なインク残量とメンテナンスタンクの空き容量が必要です。操作パネルのディスプレイ表示を目安にして確認します。

インクカートリッジ		メンテナンスタンク	
	ブラックインクを交換するために十分なインクがあります。		ブラックインクを交換するために十分な空きがあります。
	新品と交換してから、ブラックインクの種類を変更してください。		新品と交換してから、ブラックインクの種類を変更してください。

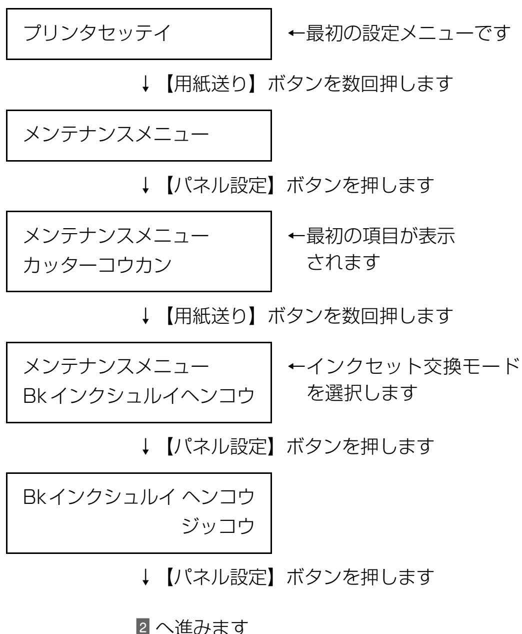
インク残量とメンテナンスタンクの空き容量は、プリンタドライバの EPSON プリンタウィンドウでも確認できます。

Windows☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「EPSON プリンタウィンドウ !3」

Mac OS X☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「EPSON プリンタウィンドウ」

ブラックインクの交換

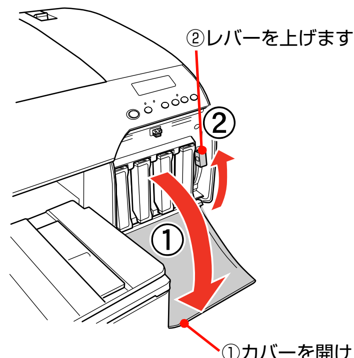
1 **【パネル設定】ボタンを押し、プリンタをインクセット交換モードにします。**



> **参考**
>
> 5 までの間は作業を中止することができます。中止する場合は【ポーズ】ボタンを押してください。

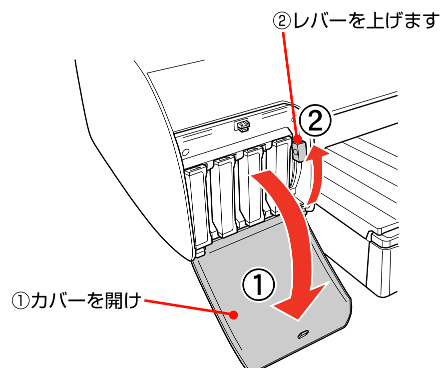
2 **次のメッセージが表示されたら、インクカートリッジ収納ボックス（右）のカバーを開けて、インクレバーを上げます。**

ミギノインクレバーヲ アゲテクダサイ



3 **次のメッセージが表示されたら、インクカートリッジ収納ボックス（左）のカバーを開けて、インクレバーを上げます。**

ヒダリノインクレバーヲ アゲテクダサイ

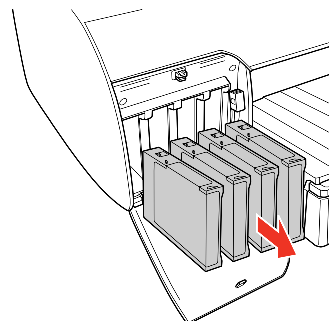


ディスプレイに「インクガタリマセン」と「インクレバーヲカイジョシテクダサイ」が交互に表示された場合、または、ディスプレイに「メンテナンスタンクノアキヨウリョウガタリマセン」と「アタラシイメンテナンスタンクニコウカンシテクダサイ」が交互に表示された場合は、下記をご覧ください。

☞ 本書 98 ページ「ディスプレイにメッセージが表示される」

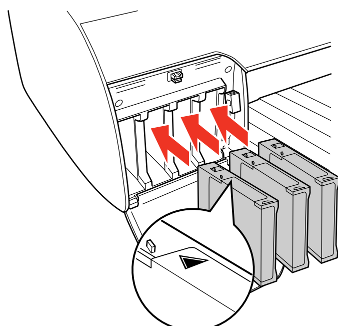
4 **次のメッセージが表示されたら、カートリッジスロットのインクカートリッジを取り外します。**

インクカートリッジヲ ヌイテクダサイ



5 次のメッセージが表示されたら、コンバージョンカートリッジを #2 ～ #4 のカートリッジスロットにセットします。

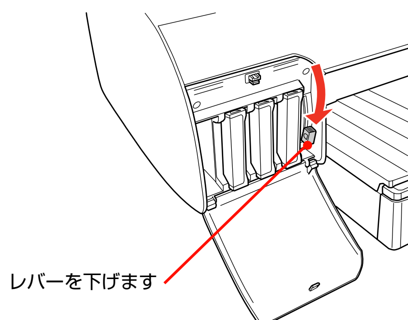
コンバージョンカートリッジ イレル



カートリッジは▲マークを上にして、プリンタ側に向けて奥までしっかり挿入してください。

6 次のメッセージが表示されたら、インクレバーを下げます。

ヒダリノインクレバーヲ サゲテクダサイ



インクレバーを下げると、以下のメッセージが表示され、インクの排出が始まります。

ハイシュツチュウ ○○○%

←「0～100%」と表示されます

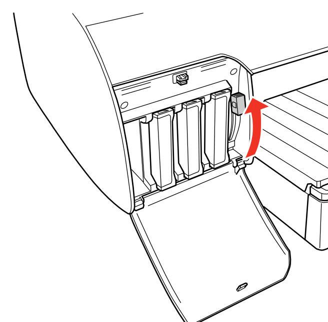
！重要

インクはメンテナンスタンクに排出されます。排出が完了するまでメンテナンスタンクを絶対に引き抜かないでください。引き抜くとインクがこぼれます。



7 次のメッセージが表示されたら、左側のインクレバーを上げます。

ヒダリノインクレバーヲ アゲテクダサイ



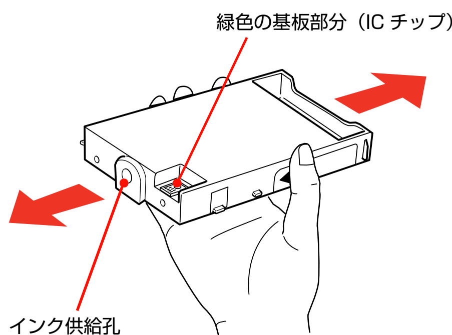
参考

次のメッセージが表示されたら、以下の操作をしてください。

コンバージョンカートリッジ ヌク

① 【ポーズ】ボタンを押します。
② インクレバーを上げた状態でコンバージョンカートリッジを抜きます。
③ 新しいインクカートリッジをセットし、インクレバーを下げます。
④ 【用紙送り】ボタンを数回押して「メンテナンスメニュー インクセットコウカン」が表示されたら、【パネル設定】ボタンを押します。
⑤ 手順 2 に戻って交換作業を続けてください。

8 新たにセットするインクカートリッジを用意し図のように持って振ります。水平方向に（約5秒ほど）よく振ってください。

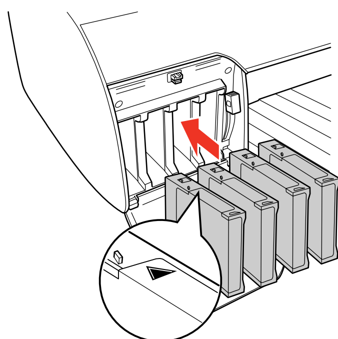


！重要

- インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジのインク供給孔には触らないでください。インク供給部からインクが漏れることがあります。

9 次のメッセージが表示されたら、新たにセットするブラックインクカートリッジと、一旦抜いたインクカートリッジ（#2 ～ #4）を左側のインクカートリッジ収納ボックスのスロットにセットし、インクレバーを下げます。

インクカートリッジヲ イレテ　クダサイ



カートリッジは▲マークを上にして、プリンタ側に向けて奥までしっかり挿入してください。

10 次のメッセージが表示されたら、左右のインクレバーを下げます。

サユウノインクレバーヲ サゲテクダサイ

11 次のメッセージが表示されたら左右のインクレバーを上げます。

サユウノインクレバーヲ アゲテクダサイ

インクの充てんが始まります。充てんには約 10 ～ 11 分かかります。インクの充てん中は次のメッセージが表示されます。

インクジュウテンチュウ 〇〇〇%

←「0～100%」と表示されます

12 ディスプレイに表示されるメッセージに従って、インクレバーを数回上げたり下げたりします。

必ずディスプレイに表示されるメッセージに従ってください。メッセージに従わずにインクレバーを上げたり下げたりした場合、インク充てんが正常に行われない可能性があります。必ず守ってください。
ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されたら充てんは終了です。

インク情報の更新

ブラックインクを交換した場合は、必ずプリンタドライバのインク情報を更新してください。更新しないと正常な印刷結果が得られません。

Windows の場合

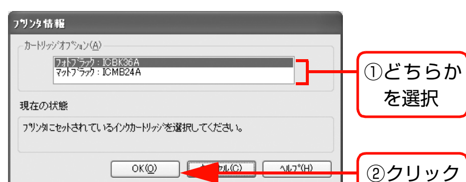
1 **プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。**

2 **［プリンタ情報］をクリックします。**



3 **装着しているブラックインクカートリッジの組み合わせを［カートリッジオプション］で選択して、［OK］をクリックします。**

- フォトブラックの場合は、［フォトブラック：ICBK36A］を選択します。
- マットブラックの場合は、［マットブラック：ICMB24A］を選択します。



EPSON プリンタウインドウ !3 をセットアップしておくと、［プリンタ情報］画面を開く際に新しいインク情報が取得されて、「カートリッジオプション」に自動的に反映されます。

Mac OS X の場合

プリンタ設定ユーティリティを開き、表示されているプリンタ名を削除し、追加し直してください。追加し直すことで、プリンタドライバがプリンタのインク情報を取得します。



メンテナンスタンクの交換

メンテナンスタンクは、ヘッドクリーニング時やブラックインク交換時に、用紙に印刷される以外で消費されるインクを吸収するためにあります。操作パネルのディスプレイに「メンテナンスタンクノコリワズカ」と表示された時点で新しいメンテナンスタンクを準備してください。「メンテナンスタンクコウカン」が交互に表示されたらメンテナンスタンクを交換します。

メンテナンスタンクの空き容量を確認したいときは

プリンタの操作パネルで確認する

ディスプレイには常時メンテナンスタンクの空き容量の目安が表示されています。

☞ 本書 14 ページ「⑤ メンテナンスタンクの空き容量の目安」

正確な空き容量はパネル設定において［プリンタステータス］メニューから確認することができます。大量に印刷を行う前には空き容量を確認し、空き容量が少ない場合は新しいメンテナンスタンクを準備してください。

☞ 本書 15 ページ「設定メニューの使い方」および 20 ページ「［プリンタステータス］メニュー」

プリンタドライバで確認する

EPSON プリンタウィンドウ !3（Windows）またはEPSON プリンタウィンドウ（Mac OS X）を使用して、メンテナンスタンクの空き容量を画面上に表示させることができます。手順は「インク残量の確認」と同じです。以下を参照してください。

＜ Windows の場合＞

☞ 本書 64 ページ「プリンタドライバで確認する（Windows）」

＜ Mac OS X の場合＞

☞ 本書 65 ページ「プリンタドライバで確認する（Mac OS X）」

メンテナンスタンクの交換手順

本製品で使用できるメンテナンスタンクの当社純正品は、以下の通りです。

名称	機種	型番
メンテナンスタンク	PX-6550	PXMT2
	PX-6250S	PXMT3

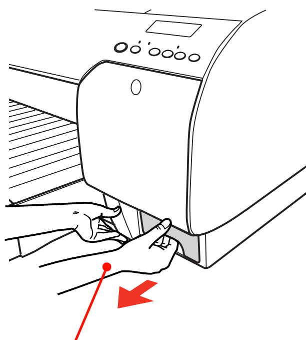
！重要

印刷中にメンテナンスタンクの交換はしないでください。

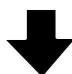
1 **プリンタの電源を切ります。**

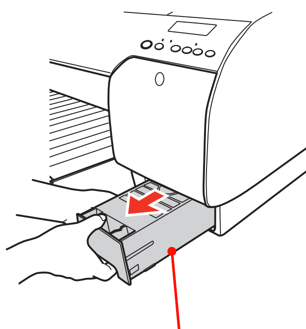
2 **新しいメンテナンスタンクを袋から取り出して準備します。**

3 メンテナンスタンクを取り出します。



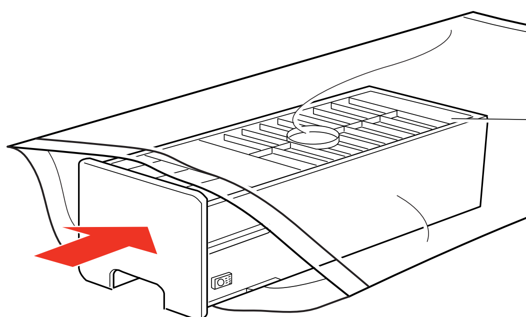
プリンタを押さえて、メンテナンスタンクを図のように引き出します。





メンテナンスタンクが傾かないように、メンテナンスタンクの下に手を添えて取り出します。

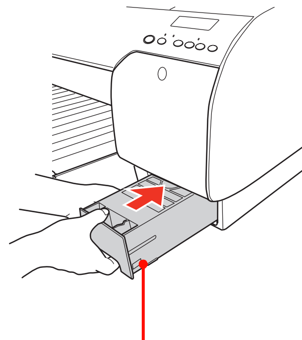
4 使用済みメンテナンスタンクを、新しいメンテナンスタンクに添付されている透明袋に入れ密封します。



!重要

使用済みメンテナンスタンクは傾けないでください。インクが漏れるおそれがあります。

5 新しいメンテナンスタンクをセットします。



新しいメンテナンスタンクをセットする際、緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作しなくなるおそれがあります。

カッターの交換

用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したら、カッターを交換します。本製品で使用できるカッターの当社純正品は、以下の通りです。

名称	型番
ペーパーカッター替え刃	PXSPB1

！重要
- カッター交換作業は短時間で行ってください。プリントヘッドをカッター交換位置のまま放置すると、ヘッドが目詰まりする原因となります。
- カッター刃を傷付けないように取り扱ってください。落下したり硬い物に当たると刃が欠けることがあります。

1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **【パネル設定】ボタンを押してパネル設定モードに入り、プリンタをカッター交換モードにします。**

プリンタセッテイ	最初の設定メニューです

↓【用紙送り】ボタンを数回押します

メンテナンスメニュー

↓【パネル設定】ボタンを押します

メンテナンスメニュー カッターコウカン	←最初の設定項目が表示されます

↓【パネル設定】ボタンを押します

カッターコウカン ジッコウ

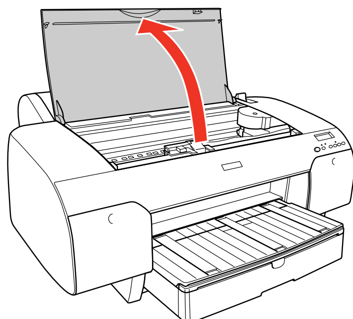
↓【パネル設定】ボタンを押します

トップカバーヲアケテ コウカンラベルヲミテクダサイ

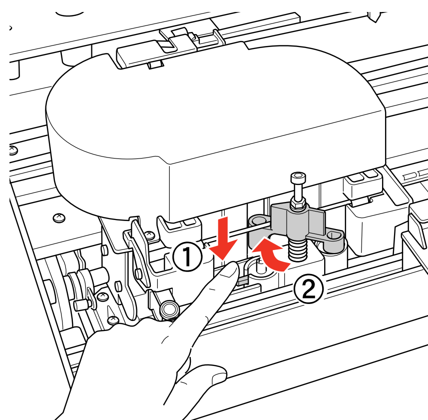
3 **トップカバーを開けます。**

カッター交換位置までプリントヘッドが移動し、交換位置で停止しています。

操作パネルに「ラベルヲミナガラカッターコウカンシテクダサイ」と表示されます。



4 **①カッター押さえのツマミを軽く押しながら、②カッター押さえのレバーを図の方向に回転させます。**



！重要

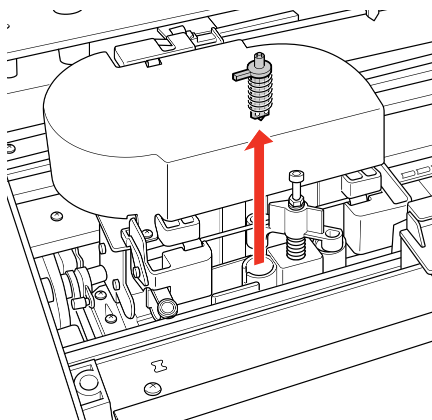
カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがあります。また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。

5 **カッターを取り出します。**

取り出したカッターを、プリンタ内部に落とさないように注意してください。

⚠注意

カッター取り扱い時には、カッターの刃でけがをしないように十分に注意してください。なお、子供の手に触れないようにご注意ください。



参考

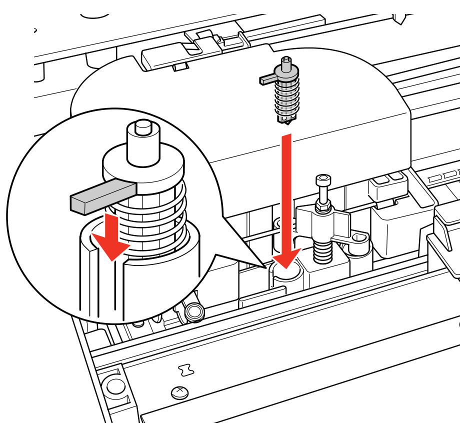
使用済みカッターの処分

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

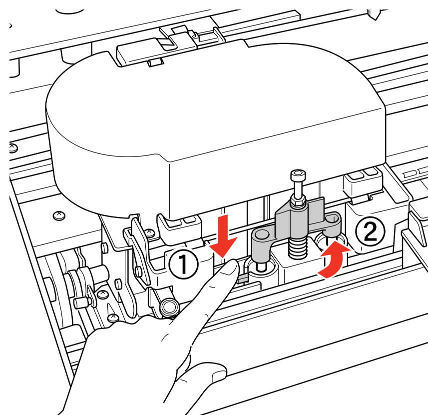
6 **新しいカッターを差し込みます。**

ガイドに沿って奥まで差し込みます。

カッターホルダに組み込まれているバネを飛ばさないように取り付けてください。



7 **①カッター押さえのツマミを軽く押しながら、②カッター押さえのレバーを元の位置に戻します。**



！重要

- カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがあります。また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。
- カッター押さえのレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。レバーが戻っていないと用紙をカットできません。

8 **トップカバーを閉じます。**

プリントヘッドが右端に移動します。

参考

お使いの環境によって、カッター交換中にプリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりしてしまうことがあります。より良い印刷品質を得るために、カッター交換後にノズルチェックパターン印刷をして目詰まりしていないか確認することをお勧めします。

本書 82 ページ「ノズルチェック」

以上でカッター交換作業は終了です。

プリントヘッドの調整

印刷物に白い線が入る、印刷が汚いなど、印刷状態がおかしいと感じたら、プリントヘッドの調整が必要です。本製品には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

手動で実行するクリーニング機能

印刷の状況に応じて、手動でクリーニングを行います。

調整項目	ドライバユーティリティから実行	MAXART リモートパネルから実行	プリンタから実行	内容
ノズルチェック	○	○	○	ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認します。
ヘッドクリーニング	○	○	○	印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。
パワークリーニング	–	○	○	プリンタの電源をオンにすると、操作パネルにノズルチェックを実行するか確認するメッセージが表示されることがあります。 このメッセージは、前回のパワークリーニングから 20 日以上経過、もしくは 30 日以上プリンタを使用しなかったときに表示されます。 このメッセージが表示されたら、A4 サイズ以上のエプソン純正専用紙をセットしてノズルチェックを行いノズルの目詰まりを確認してください。 ノズルが目詰まりしていると、さらにパワークリーニングを実行するか確認するメッセージが表示されます。この場合はパワークリーニングを実行することをお勧めします。パワークリーニングはヘッドクリーニングよりインクが多く消費されるため、インク残量が少ない場合は、新しいインクカートリッジを用意してください。
オートノズルチェック	–	–	○	印刷データを受信後、印刷開始前に毎回自動的にノズルチェックパターンを印刷するかどうかを設定します。 ［オートクリーニング］が［ON］に設定されているときにのみ有効です。
オートクリーニング	–	–	○	［ノズルチェック］または［オートノズルチェック］の結果、ノズルが目詰まりしているときは、自動的にヘッドクリーニングをします。

自動的に行われるクリーニング機能（自動メンテナンス機能）

調整項目	内容
セルフクリーニング	プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にすべてのインクを微量吐出してノズルの乾燥を防ぐ機能です。電源を入れたときや印刷を開始するときなどに行われます。
キャッピング	プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。プリントヘッドが右端に位置しているときはキャッピングされています。

プリントヘッドの位置調整機能

手動でプリントヘッドのズレを修正します。

調整項目	ドライバユーティリティから実行	MAXART リモートパネルから実行	プリンタから実行	内容
ギャップ調整	○	○	○	印刷した画像が荒れている、ぼやけた印象になるときは、ギャップ調整でプリントヘッドの位置を調整できます。



MAXART リモートパネルとは、本製品に同梱されているソフトウェアで、各種メンテナンスを行うことができるユーティリティです。☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「MAXART リモートパネル」
以下の方法で起動します。

Windows の場合

① デスクトップ上のアイコンをダブルクリックする
② [スタート] メニューから [プログラム] または [すべてのプログラム] − [MAXART リモートパネル] − [MAXART リモートパネル] を選択する
③ プリンタドライバの [ユーティリティ] 画面で「MAXART リモートパネル」をクリックする

Mac OS X の場合

① デスクトップ上のアイコンをダブルクリックする
② [アプリケーション] フォルダ内の [MAXART Remote Panel] フォルダを開き、[MAXART Remote Panel] アイコンをクリックする
③ [アプリケーション] フォルダ内の [EPSON Printer Utility2] アイコンをダブルクリックし、お使いの機種名を選択して、[MAXART リモートパネル] アイコンをクリックする

MAXART リモートパネルからの操作の詳細については、MAXART リモートパネルを起動した画面にある [ヘルプ] をクリックし、オンラインヘルプをご覧ください。

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド *1 のノズル *2 が目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が空いたりしたら、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを解消してください。

*1 プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。

*2 ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。外部からは見えない位置にある。

ノズルチェックを行うには、２つの方法があります。

- プリンタドライバから行う
- プリンタの操作パネルから行う

> **参考**
> インクチェックランプの点灯中は実行できません。

プリンタドライバから行う

ここでは Windows を例に説明します。

Mac OS X では、[EPSON Printer Utility2] を使用します。

☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「ユーティリティの使い方」

1 **A4 サイズ以上のエプソン製の専用紙をセットします。**

> **参考**
> - 両面上質普通紙＜再生紙＞のA3、写真用紙＜光沢＞、Velvet Fine Art Paper、UltraSmooth Fine Art Paper は、用紙トレイからの給紙はできません。
> - 使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

2 **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。**

3 **［ノズルチェック］をクリックします。**

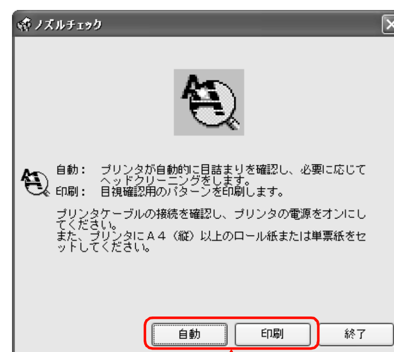


ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ(N)

クリック

4 **［自動］または［印刷］をクリックします。**

ノズルチェックパターンが印刷されます。



どちらかをクリック

［自動］をクリックした場合は、ノズルチェックパターン印刷後、ノズルが目詰まりしていると自動的にクリーニングします。以上で手順は完了です。

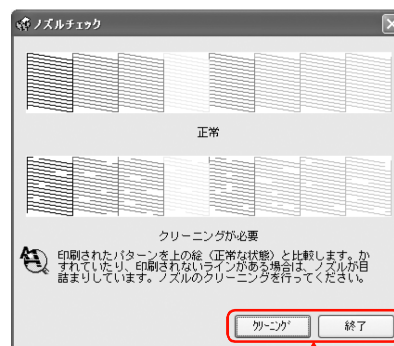
［印刷］をクリックした場合は、手順 5 へ進みます。

5 **印刷されたノズルチェックパターンの線がかすれたり消えたりしていないかを確認します。**

問題がない：［終了］をクリック

問題がある：［クリーニング］をクリック

画面は機種によって異なることがあります。



どちらかをクリック

ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングを行うときは、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

オートクリーニング、オートノズルチェックについては、以下をご覧ください。

☞ 本書 19 ページ「オートクリーニング」、本書 19 ページ「オートノズルチェック」

プリンタの操作パネルから行う

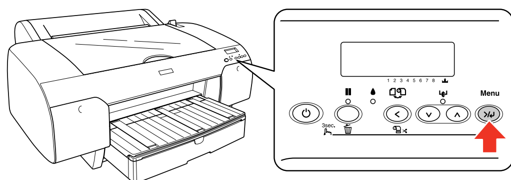
1 A4 サイズ以上のエプソン製の専用紙をセットします。

> **参考**
> - 両面上質普通紙<再生紙>のA3、写真用紙<光沢>、Velvet Fine Art Paper、UltraSmooth Fine Art Paper は、用紙トレイからの給紙はできません。
> - 使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

2 【用紙選択】ボタン（ < ）を押して、セットした用紙に合わせて用紙種類を選択します。

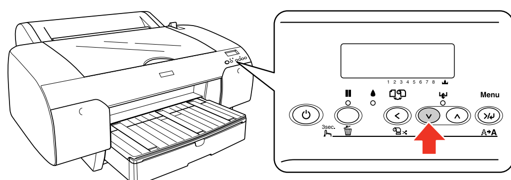
3 【パネル設定】ボタン（ ⏎ ）を押して、パネル設定モードに入ります。

プリンタセッテイ



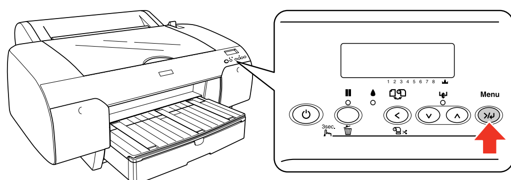
4 【用紙送り】ボタン（ ∨ ）を押して［テストインサツ］メニューを選択し、【パネル設定】ボタン（ ⏎ ）を押します。

テストインサツメニュー



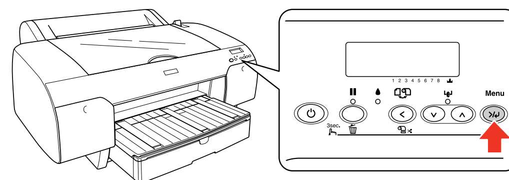
5 ディスプレイの 2 段目に［ノズルチェックパターン］が表示されたことを確認し、【パネル設定】ボタン（ ⏎ ）を押します。

テストインサツメニュー
ノズルチェックパターン



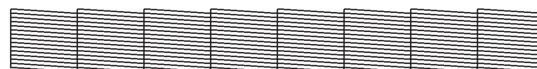
6 ［インサツ］と表示されたら、【パネル設定】ボタン（ ⏎ ）を押します。

ノズルチェックパターン
インサツ



7 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

良い例



ノズルチェックパターンが欠けていません。ノズルは目詰まりしていません。

悪い例



ノズルチェックパターンが欠けています。ノズルが目詰まりしています。「ヘッドクリーニング」を行ってください。

本書 84 ページ「ヘッドクリーニング」

> **重要**
> - 連続して 3 回クリーニングしても目詰まりが解消されず、4 回目のクリーニングを実行しようとすると、パワークリーニングまたは通常のクリーニングの選択画面が操作パネルに表示されます。
> ［パワークリーニングヲジッコウ］を選択すると、インク残量を自動的にチェックします。一定量以下の場合は、クリーニングを中止します。［パワークリーニングヲジッコウ］を選択しない場合は、通常のクリーニングが実行されます。
> - パワークリーニングは強力なクリーニングを行うため、通常のクリーニングよりインクが多く消費されます。
> - パワークリーニングを実行すると、インクレバーの操作が必要です。パネルのメッセージに従ってレバーを上げ下げしてください。
> 本書 85 ページ「パワークリーニング」
> - パワークリーニングを行っても目詰まりが解消されないときは、プリンタの電源を切って一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。
> それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口へご連絡ください。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間が空くようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

ヘッドクリーニングを行うには、２つの方法があります。

- プリンタドライバから行う
- プリンタの操作パネルから行う

！重要

- ヘッドクリーニングはすべてのインクカートリッジのインクを同時に使います。モノクロ印刷などでブラック系のインクのみを使用しているときも、ヘッドクリーニングではカラーインクも消費します。
- 文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクチェックランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。（クリーニングに必要なインクが残っていれば、本体の操作パネルからヘッドクリーニングができることもあります。）
  ☞ 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」

プリンタドライバから行う

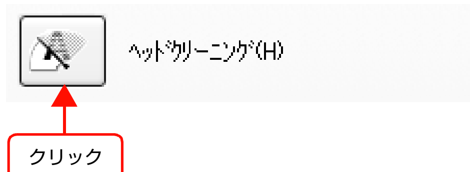
ここでは Windows を例に説明します。

Mac OS X では、［EPSON Printer Utility2］を使用します。

☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「ユーティリティの使い方」

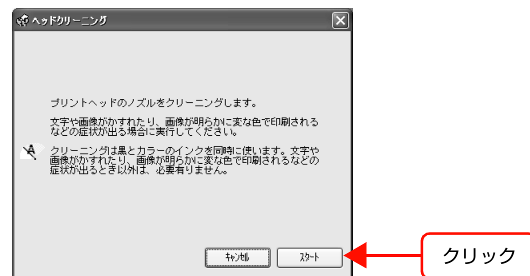
1 **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。**

2 **［ヘッドクリーニング］をクリックします。**



3 **［スタート］をクリックします。**

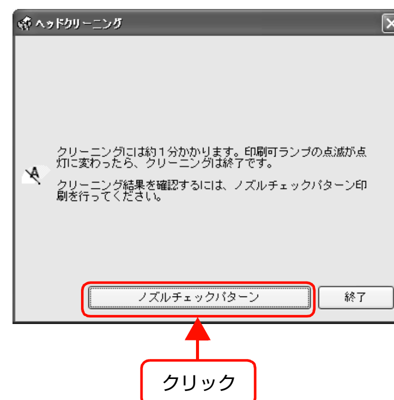
ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きます。



4 の画面が表示されたら、ヘッドクリーニングは終了です。

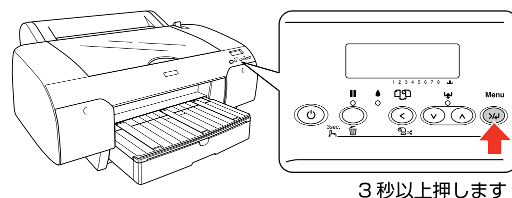
4 **［ノズルチェックパターン］をクリックし、印刷結果を確認します。終了する場合は［終了］をクリックします。**

☞ 本書 82 ページ「ノズルチェック」



プリンタの操作パネルから行う

1 **印刷可能な状態でプリンタの操作パネルの【パネル設定】ボタン（ ）を３秒以上押します。**



ポーズランプが点滅し、ヘッドクリーニング（約 1 分）が始まります。ポーズランプが消灯すれば、クリーニングは終了です。

2 **ノズルチェックパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。**

ノズルチェックパターンが欠けていないか確認します。

☞ 本書 82 ページ「ノズルチェック」

!重要

- 連続して３回クリーニングを実行しても目詰まりが改善されず、４ 回目のクリーニングを実行すると、パワークリーニングまたは通常のクリーニングの選択画面が操作パネルに表示されます。
「パワークリーニングヲジッコウ」を選択すると、インク残量を自動的にチェックします。一定量以下の場合は、クリーニングを中止します。
「パワークリーニングヲジッコウ」を選択しない場合は、通常のクリーニングが実行されます。
- パワークリーニングは強力なクリーニングを行うため、通常のクリーニングよりインクが多く消費されます。
- パワークリーニングを実行すると、インクレバーの操作が必要です。パネルのメッセージに従ってレバーを上げ下げしてください。
本書 85 ページ「パワークリーニング」
- パワークリーニングを行っても目詰まりが解消されないときは、プリンタの電源を切って一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。
それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口へご連絡ください。

パワークリーニング

ヘッドクリーニングを数回繰り返しても目詰まりが解消されないときは、次の手順でパワークリーニングを行ってください。

パワークリーニングを行うには、２つの方法があります。

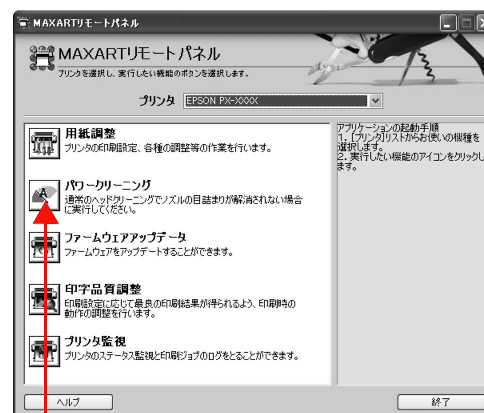
- MAXART リモートパネルから行う
ユーザーズガイド（電子マニュアル）「パワークリーニング」
- プリンタの操作パネルから行う

!重要

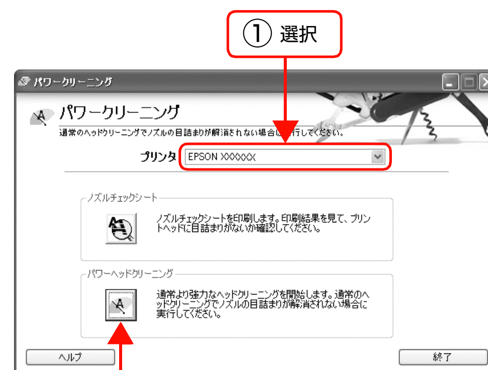
- パワークリーニングは強力なクリーニングを行うため、通常のクリーニングよりインクが多く消費されます。
- パワークリーニングにはインクレバーの操作が必要になりますので、プリンタから離れずに、操作パネルの指示に従ってレバーを上げ下げしてください。

MAXART リモートパネルから行う

1 MAXART リモートパネルの画面で、［パワークリーニング］をクリックします。



2 ［プリンタ］でプリンタ名を選択し、［パワーヘッドクリーニング］をクリックします。



以降は、プリンタのディスプレイに表示されるメッセージに従って操作します。

プリンタの操作パネルから行う

1 【パネル設定】ボタン（ ）を押して、パネル設定モードに入ります。

プリンタセッテイ

2 【用紙送り】ボタン（ / ）を数回押して「メンテナンスメニュー」が表示されたら、【パネル設定】ボタン（ ）を押します。

メンテナンスメニュー

3 【用紙送り】ボタン（ ⊙ / ⊙ ）を数回押して「パワークリーニング」が表示されたら、【パネル設定】ボタン（ ⊙ ）を押します。

メンテナンスメニュー
パワークリーニング

4 「ジッコウシマスカ？」と表示されたら、【パネル設定】ボタン（ ⊙ ）を押します。

パワークリーニング
N ジッコウシマスカ？ Y

パワークリーニングが始まります。ディスプレイに「シバラクオマチクダサイ xx%」とクリーニングの進行状況が表示されます。パワークリーニングは約 5 分かかります。

5 ディスプレイに表示されるメッセージに従って、左右のインクレバーを数回上げたり下げたりします。

ポーズランプが消灯すれば、パワークリーニングは終了です。

6 ノズルチェックパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。

ノズルチェックパターンが欠けていないか確認します。

本書 82 ページ「ノズルチェック」

自動メンテナンス機能

本製品には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニング機能

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、プリンタの電源を入れたとき（ウォーミングアップ時）などに定期的に行われます。インクカートリッジすべてのインクを微量吸引して、ノズルの乾燥を防ぎます。

- セルフクリーニング中に【電源】ボタンを押しても、クリーニングが終了するまで電源は切れません。クリーニング中はプリンタの電源プラグを抜かないでください。

キャッピング機能

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、以下のときに実行されます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

プリントヘッドが右端にあれば、キャッピングされています。

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。プリントヘッドが右端に位置していないとき（キャッピングされていない）は、一度、プリンタの電源を入れ、再度切ってください。プリンタの【電源】ボタンで電源を切ることによって、確実にキャッピングされます。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源を切ってしまったときは、再度電源を入れてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源を切ってください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落とさないでください。キャッピングされないことがあります。

プリントヘッドのギャップ調整

印刷された画像にズレなどがあるときはギャップ調整を行ってください。ギャップ調整とは、印刷時のプリントヘッドのズレを修正する作業です。

ギャップ調整を行うには、3 つの方法があります。

- プリンタドライバから行う
- MAXART リモートパネルから行う
- プリンタの操作パネルから行う

ギャップ調整は通常はプリンタドライバから行ってください。それでも印刷結果が改善されない場合には、MAXART リモートパネルから行ってください。
MAXART リモートパネルから行うと、双方向 / 単方向で調整できるため、より厳密に調整できます。コンピュータやソフトウェアが手元にない場合は、プリンタの操作パネルからギャップ調整が行えます。

参考

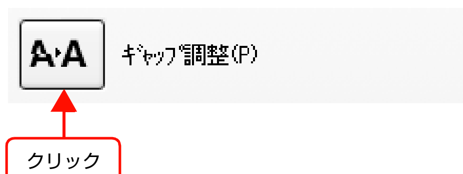
- ギャップ調整は、A2サイズの用紙で行った場合約9分かかります。
- A2 より小さいサイズの用紙でもギャップ調整できます。ただし、ギャップ調整はセットした用紙幅の分だけ行われるため、大きいサイズの用紙を使用すると本製品の印刷可能領域の全域でギャップ調整できます。そのため、A2 以上の用紙の使用をお勧めします。

プリンタドライバから行う

1 **A2 サイズの用紙をセットします。**

2 **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を表示します。**

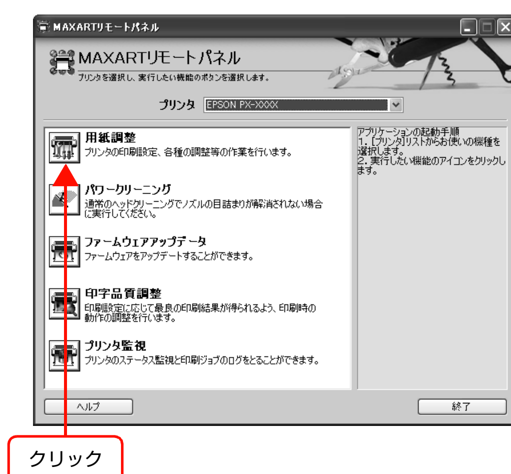
3 **［ギャップ調整］をクリックします。**
画面の表示に従ってギャップ調整を行います。



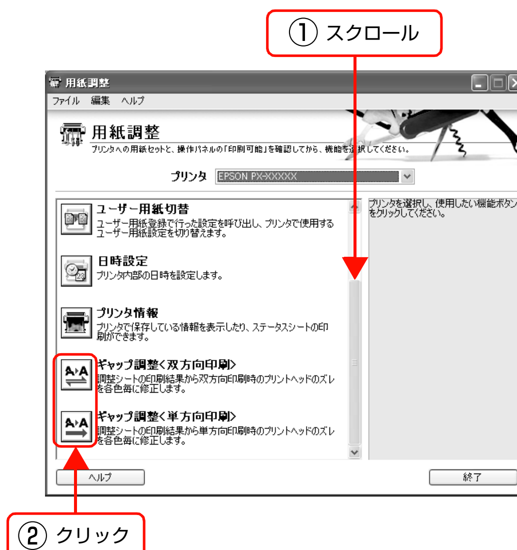
MAXART リモートパネルから行う

1 **A2 サイズの用紙をセットします。**

2 **MAXART リモートパネルの画面で、［用紙調整］をクリックします。**



3 **［ギャップ調整］をクリックします。**
目的に応じて選択し、画面の表示に従ってギャップ調整を行います。
☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「MAXART リモートパネル」



> **参考**
> 双方向印刷は印刷速度を早くしたいときに使用します。
> 印刷速度より印刷品質を重視するときは「双方向印刷」ではなく「単方向印刷」をお勧めします。
> 「双方向印刷」をする / しないの設定は、プリンタドライバの［基本設定］画面にある［印刷品質］の［詳細設定］（Windows）/［印刷設定］画面の［印刷品質］（Mac OS X）で行います。

プリンタの操作パネルから行う

用紙厚に対応した Bi-D 調整を行います。

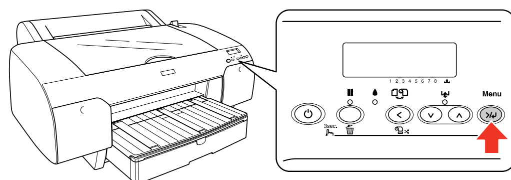
自動調整では、パターンを印刷した後、センシングを行い、調整値を自動更新します。

手動調整では、印刷された調整パターンを確認し、調整値を入力することで補正値を更新します。

1 **A2 サイズの用紙をセットします。**

2 **【用紙選択】ボタン（⊙）を押し、セットした用紙に合わせて用紙種類を選択します。**

3 【パネル設定】ボタン（ ）を押してパネル設定モードに入り、「ギャップチョウセイ」を選択します。



プリンタセッテイ

↓【用紙送り】ボタン（ / ）を数回押します

ギャップチョウセイ

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

ギャップチョウセイメニュー ヨウシアツ



4 「ヨウシアツ」が「ヒョウジュン」に設定されていることを確認します。

ギャップ調整するためには最初に用紙厚を設定する必要があります。使用する用紙の厚さが 0.2mm または 1.2mm の場合は、「ヒョウジュン」を選択します。用紙の厚さについては、以下のページをご覧ください。

☞ 用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

ギャップチョウセイメニュー ヨウシアツ

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

ヨウシアツ ＊ヒョウジュン	＊は現在の設定を示します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

参考

0.2mm または 1.2mm 以外の用紙を使う場合は、以下の手順で用紙の厚さに合わせて「ヨウシアツ」を設定します。

ギャップチョウセイメニュー ヨウシアツ

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

ヨウシアツ ＊ヒョウジュン	＊は現在の設定を示します

↓【用紙送り】ボタン（ / ）を押して用紙厚を選択します

ヨウシアツ 0.5mm	←下記「設定範囲」をご覧ください

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押し、【用紙選択】ボタン（ ）を押します

設定範囲

「ヨウシアツ」は 0.1 ～ 1.5mm の範囲で 0.1mm 単位で設定します。

☞ 用紙ガイド（別冊）「エプソン純正専用紙の特長」

5 【用紙選択】ボタン（ ）を押し、【用紙送り】ボタン（ ）を押します。

6 操作パネルのディスプレイの 2 行目に「チョウセイ」と表示されたら、【パネル設定】ボタン（ ）を押します。

7 ［シュドウ］を選択します。

チョウセイ シュドウ	←【用紙送り】ボタン（ / ）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

以降は選択するギャップ調整方法により、手順が異なります。以下を参照して目的の手順に進んでください。

- UNI-D
  ブラックを基準に、ブラック以外のすべてのインクを使ってインク色ごとの印刷位置のズレを単方向印刷で調整（列間補正）を行います。8 に進みます。
- BI-D ニショク
  PX-6250S ではシアンとマゼンタインクを使い、PX-6550 ではライトシアンとライトマゼンタインクを使って双方向印刷時のズレを調整します。9 に進みます。
- BI-D ゼンショク
  すべてのインクを使い、双方向印刷でギャップ調整を行います。10 に進みます。

8 「UNI-D」でギャップ調整を行います。

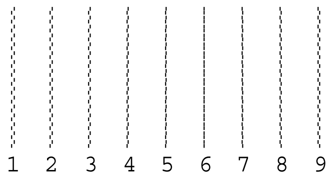
① UNI-D のギャップ調整パターンを印刷します。

チョウセイ　シュドウ UNI－D	←【用紙送り】ボタン（▽/△）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

インサツチュウ	ギャップ調整パターンの印刷中です

② ギャップ調整パターンは 3 パターン× 7 色、合計 21 パターン印刷されます。まず、印刷されたパターン #1 を見てもっとも線のズレが少ない番号を確かめ、その番号を設定します。



以下の設定例は PX-6550 の場合です。

UNI－D #1 C5	最初のパターン#1の最初のシアン色 ←【用紙送り】ボタン（▽/△）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

UNI－D #1 M5	最初のパターン#1のマゼンタ色 ←【用紙送り】ボタン（▽/△）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

同様の手順で残りすべてのパターンと色の設定を行います。メッセージのパターン番号（#1 ～ #3）と色記号（PK フォトブラック、C シアン、M マゼンタ、Y イエロー、LK グレー、LC ライトシアン、LM ライトマゼンタ、LLK ライトグレー）をディスプレイで確かめながら設定してください。

UNI－D #3 LLK 5	最後のパターン#3の最後のグレー色 ←【用紙送り】ボタン（▽/△）で選択します

最もズレの少ない番号がすでに表示されている場合は、そのまま【パネル設定】ボタン（ ）を押してください。

③ すべてのパターンと色で番号（3 パターン× 7 色、合計 21）を設定したら、【パネル設定】ボタン（ ）を押して以下の表示状態に戻ります。

チョウセイ　シュドウ UNI－D

9 「BI-D ニショク」でギャップ調整を行います。

① BI-D ニショクのギャップ調整パターンを印刷します。

チョウセイ　シュドウ BI－D ニショク	←【用紙送り】ボタン（▽/△）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

インサツチュウ	ギャップ調整パターンの印刷中です

② ギャップ調整パターンは3パターン印刷されます。印刷されたパターン（#1 ～ #3）を見てもっとも線のズレが少ない番号を確かめ、その番号を設定します。

以下の設定は PX-6550 の場合です。

BI－D ニショク #1 LC 5	パターン#1 ←【用紙送り】ボタン（▽/△）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

BI－D ニショク #2 LC 5	パターン#2 ←【用紙送り】ボタン（▽/△）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

BI－D ニショク #3 LC 5	パターン#3 ←【用紙送り】ボタン（▽/△）で選択します

最もズレの少ない番号がすでに表示されている場合は、そのまま【パネル設定】ボタンを押してください。

③ すべてのパターンで番号を設定したら、【パネル設定】ボタンを押して以下の表示状態に戻ります。

チョウセイ　シュドウ BI－D ニショク

10 「BI-D ゼンショク」でギャップ調整を行います。

① BI-D ゼンショクのギャップ調整パターンを印刷します。

チョウセイ　シュドウ ＢＩ－Ｄ ゼンショク

←【用紙送り】ボタン（∨ / ∧）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

インサツチュウ

ギャップ調整パターンの印刷中です

② ギャップ調整パターンは 3 パターン× 8 色、合計 24 パターン印刷されます。印刷されたパターン# 1 を見て下表の通り確認し、その番号を設定します。

モード	色記号	確認内容
PX-6250S	K	もっとも線のズレが少ない番号
	C、M、Y	もっとも四角と線のズレが少ない番号
PX-6550	PK/ MK、LK	もっとも線のズレが少ない番号
	C、M、Y、LC、LM、LLK	もっとも四角と線のズレが少ない番号

以下の設定例は PX-6550 の場合です。

ＢＩ－Ｄ ゼンショク ＃１ PK ５

最初のパターン#1の最初のフォトブラック色
←【用紙送り】ボタン（∨ / ∧）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

ＢＩ－Ｄ ゼンショク ＃１ Ｃ ５

最初のパターン#1のシアン色
←【用紙送り】ボタン（∨ / ∧）で選択します

↓【パネル設定】ボタン（ ）を押します

同様の手順で残りすべてのパターンと色の設定を行います。メッセージのパターン番号（＃ 1 ～＃ 3）と色記号をディスプレイで確かめながら設定してください。

ＢＩ－Ｄ ゼンショク ＃３ ＬＫ ５

最後のパターン#3の最後のグレー色
←【用紙送り】ボタン（∨ / ∧）で選択します

もっともズレの少ない番号がすでに表示されている場合は、そのまま【パネル設定】ボタンを押してください。

③ すべてのパターンと色で番号（3 パターン× 8 色、合計 24）を設定したら、【パネル設定】ボタンを押して以下の表示状態に戻ります。

チョウセイ　シュドウ ＢＩ－Ｄ　ゼンショク

11 【ポーズ】ボタンを押して、パネル設定モードを終了します。

プリンタのお手入れ

プリンタをいつでも良い状態で使用できるように、定期的（1ヵ月に 1 回程度）にプリンタのお手入れをしてください。

⚠注意　プリンタ外部のクリーニング時には、プリンタ内部に水気が入らないように、注意してふいてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。

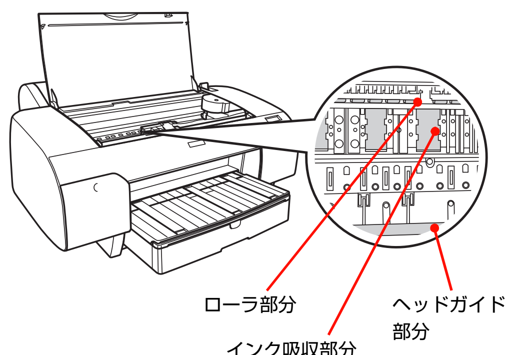
プリンタ内部のクリーニング

1 **プリンタの電源を切り、ディスプレイの表示が消えたのを確認してから、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **電源プラグを抜いたあと 1 分程放置します。**

!重要

クリーニング時、下図の 3 箇所には絶対に触れないでください。印刷物の汚れなどの原因になります。

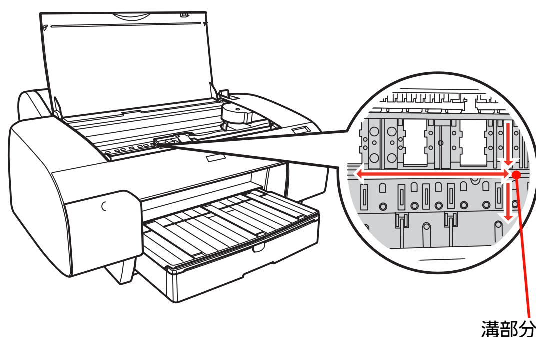


3 **トップカバーを開け、柔らかい布（ウエスなど）を使って、ホコリや汚れをふき取ります。**

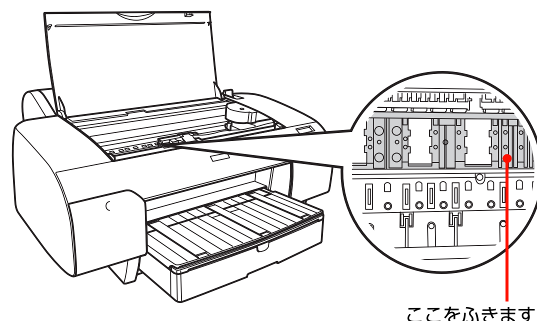
!重要

プリンタ内部に水滴や異物が入らないようにしてください。プリンタ内部が濡れたり、異物が混入したりすると印刷の品質が低下するだけでなく、電気回路がショートするおそれがあります。

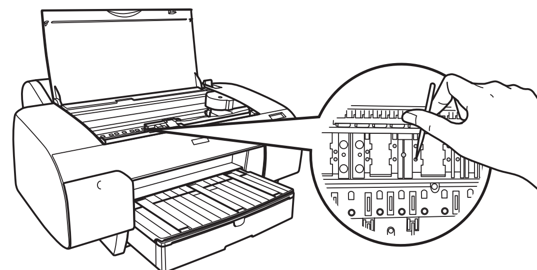
下図のグレーの部分を丁寧にふきます。汚れを拡散させないために、下図の矢印の方向にふき取ってください。



4 **印刷時に用紙の裏が汚れるときは、プラテン（図のグレー部分）を丁寧にふきます。**



5 **プラテン部に紙粉（白い粉のようなもの）が詰まっているときは、つまようじのような先の細い物で中に押し込みます。**



プリンタ外部のクリーニング

1 **プリンタから用紙を取り除きます。**

2 **プリンタの電源を切り、ディスプレイの表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。**

3 **柔らかい布を使って、ホコリや汚れを注意深く払います。**

汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

!重要

ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

給紙 / 排紙ローラのクリーニング

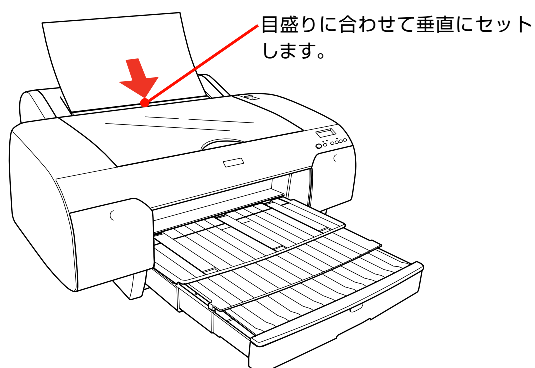
印刷後の用紙にローラの汚れが付いたときは、以下の手順に従って、普通紙を給排紙してローラの汚れをふき取ってください。

ここでは手差し給紙を例にして説明します(用紙カセットからの給紙の場合でも、同様のクリーニングが可能です)。

1 **プリンタの電源を入れます。**

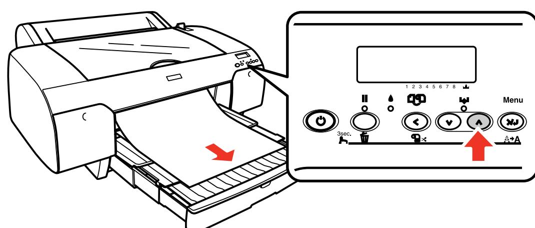
2 **A2 サイズの普通紙を 1 枚セットします。**

☞ 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」



3 **【用紙送り】ボタン(⌃)を押します。**

用紙が排紙されます。



4 **手順2 ～3 までの操作を 2、3 回繰り返します。**

以上で、ローラのクリーニングは終了です。

プリンタの保管

プリンタを保管するときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。

!重要 プリンタを傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

プリンタを長期間使用しないときは

- プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。
  ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。また、月に 1 回はプリンタの電源を入れて、数分（1 ～ 2 分）おいてください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。プリンタを使用しないときも、インクカートリッジは全色を取り付けた状態にしてください。
- プリンタを長期間使用しないときは、用紙を取り除いてください。用紙をプリンタにセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

1ヵ月以上使わなかったときは

- プリンタの電源をオンにすると、操作パネルにノズルチェックを実行するか確認するメッセージが表示されることがあります。
  このメッセージは、前回のパワークリーニングから 20 日以上経過、もしくは 30 日以上プリンタを使用しなかったときに表示されます。
  このメッセージが表示されたら、A4 サイズ以上のエプソン純正専用紙をセットしてノズルチェックを行いノズルの目詰まりを確認してください。
  ノズルが目詰まりしていると、さらにパワークリーニングを実行するか確認するメッセージが表示されます。この場合はパワークリーニングを実行することをお勧めします。パワークリーニングはヘッドクリーニングよりインクが多く消費されるため、インク残量が少ない場合は、新しいインクカートリッジを用意してください。
  ☞ 本書 82 ページ「ノズルチェック」
  ☞ 本書 84 ページ「ヘッドクリーニング」
  ☞ 本書 85 ページ「パワークリーニング」
- プリンタを長期間使用しなかった場合は、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ヘッドクリーニングを 3 回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されないときは、パワークリーニングを実行してください。
  ☞ 本書 84 ページ「ヘッドクリーニング」
  ☞ 本書 85 ページ「パワークリーニング」
- ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、販売店またはエプソンの修理窓口にお問い合わせください。

プリントヘッドの保護について

本製品には、「キャッピング機能」があります。

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。

キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。プリントヘッドが右側にあれば、キャッピングされています。

☞ 本書 86 ページ「キャッピング機能」

プリンタの移動・輸送

移動・輸送の準備

1 **プリンタの電源を入れ、用紙セットレバーを手前に戻します。**

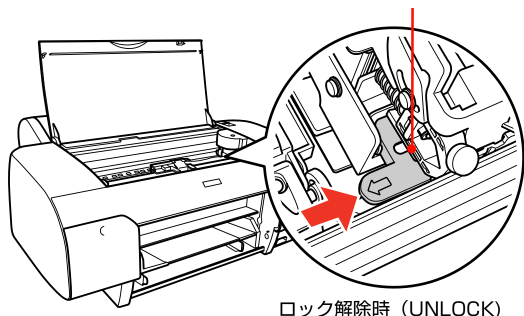
2 **左右のインクレバーを上げます。**

3 **プリンタの電源を切り、電源が切れていることを確認してから電源コードなどのケーブル類をすべて取り外します。**

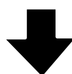
4 **スピンドルを取り外します。**

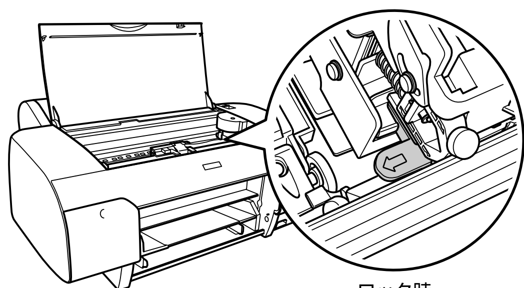
5 **トップカバーを開け、ヘッド固定用ロックを右側に押してプリントヘッドを固定します。**

プリントヘッドの左側にある固定用ロック（緑色）をつまんで、カチッと音がするところまで水平方向に押し込みます。



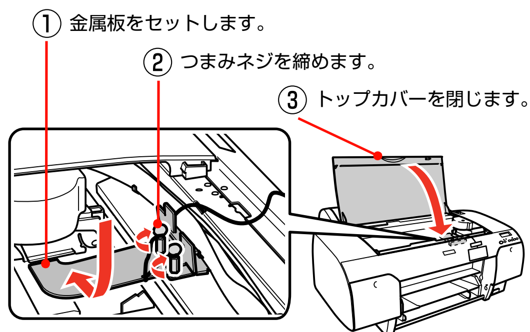
ロック解除時（UNLOCK）





ロック時

6 **金属板を取り付けてネジで固定し、トップカバーを閉じます。**



移動・輸送

プリンタを輸送する際には、購入時と同じ状態に梱包してください。

！重要

- 移動や輸送は、水平な状態で行ってください。プリンタを傾けたり立てかけたり、上下を逆にしないでください。プリンタ内部でインクが漏れるおそれがあります。また、移動、輸送後の正常な動作が保証できません。
- 輸送の際は、震動や衝撃からプリンタを守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。
- インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し印刷ができなくなるおそれがあります。

移動・輸送後の手順

移動、輸送後は以下の手順でプリンタを使用可能な状態にしてください。

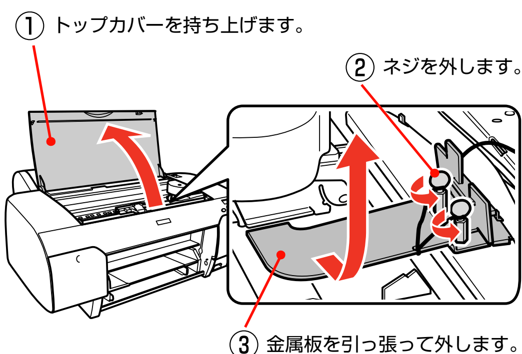
1 **設置場所に適した場所を確認します。**

☞ 本書 62 ページ「設置に適した環境」

2 **トップカバーを開け、金属板を取り外します。**

参考

取り外したネジと金属板は、輸送時にプリントヘッドを固定する「キャリッジロック」です。再輸送時のために必ず一緒に保管しておいてください。



3 **ヘッド固定用ロックを解除します。**

☞ セットアップガイド「1. 保護材を取り外して付属品を取り付けます」

4 **電源コードを取り付けます。**

☞ セットアップガイド「1. 保護材を取り外して付属品を取り付けます」

5 **左右のインクレバーを下げ、プリントヘッドの目詰まりがないかをチェックします。**

☞ セットアップガイド「2. 用紙をセットして、印刷ができるかを確認します」

6 **ギャップ調整を行います。**

☞ 本書86ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

水平な状態で移動させてください。プリンタ本体を傾けたり立てかけたり、上下を逆にしないでください。プリンタ内部でインクが漏れるおそれがあります。また、移動後の正常な動作が保証できません。

7 困ったときは

ここでは、使用する際に困ったときの対処方法について説明します。

ディスプレイにメッセージが表示される

メッセージが表示される

表示されるメッセージには、プリンタ本体の状態に関するメッセージとエラーメッセージの 2 種類があります。

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、操作パネルのランプ表示とディスプレイのメッセージでお知らせします。次のメッセージ内容を確認し、必要な処置をしてください。また、この表ではプリンタの状態を示すメッセージも記載しています。

メッセージ	処置方法
インクカートリッジカクニン	本製品で使用できる純正型番のインクカートリッジを取り付けてください。 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカートリッジコウカン	本製品で使用できるインクカートリッジを取り付けてください。 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
	インクレバーを上げてインクカートリッジをセットし直してインクレバーを下げてください。セットし直しても同じ表示になった場合は、新しいインクカートリッジに交換してください。 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカートリッジコウカン （2行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示）	新しいインクカートリッジを取り付けてください。 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカートリッジセット	インクカートリッジを交換する際に表示されるメッセージです。古いインクカートリッジを取り外して、新しいインクカートリッジを取り付けてください。 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカートリッジナシ	新しいインクカートリッジを正しく取り付けてください。エラーを起こしたインクカートリッジは取り付けないでください。 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
インクガスクナクナリマシタ （2行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示）	インクエンドランプが点灯するまで印刷することができますが、新しいインクカートリッジの用意をしてください。 本書 66 ページ「インクカートリッジの種類」
インクガタリマセン	新しいインクカートリッジを取り付けてください。 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカンソウチュウ ｎｎ ビョウ	インク乾燥中です。インク乾燥残り時間 nn 秒です。
インクジュウテンチュウ ｎｎｎ%	インクの初期充てん処理中です。処理が nnn%進んでいます。
インサツカノウ （2行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示）	印刷ができます。
インサツチュウ （2行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示）	印刷中です。
インサツデキマセン	パネル設定モードを一旦終了してください。その後表示されたエラーを解除してから、再度印刷をしてください。 本書 15 ページ「設定メニュー」
キュウシトレイニヨウシヲセットシテクダサイ	用紙トレイに単票紙をセットしてください。またプリンタドライバの設定が［用紙トレイ］に、本体のディスプレイで［用紙選択］が［単票紙］（ロ）になっていることを確認してください。

メッセージ	処置方法
コノヨウシサイズハフチナシインサツデキマセン（「ヨウシヲタダシクセットシテクダサイ」と交互に表示）	A2 サイズと幅が 203.0mm（8 インチ）の単票紙はフチなし印刷に対応していません。【ポーズ】ボタン（○/Ⅱ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットし、セットされている単票紙を排紙します。排紙後、ほかのサイズの単票紙をセットするか、ロール紙をセットしてください。 ☞ 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」
	用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。用紙が波打ったり、たわんでいると用紙サイズを正しく認識できません。 ☞ 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」
	用紙を正しくセットし直してください。 ☞ 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」
コノヨウシハキュウシトレイカラオクレマセン（「テザシインサツシテクダサイ」と交互に表示）	【ポーズ】ボタン（○/Ⅱ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットしてください。リセット後、プリンタドライバの［用紙種類］を正しく設定してください。
サービスコールエラー nnnnnnnn	プリントヘッドの左側にあるヘッド固定用ロック（緑色）を引き出して、使用可能な状態にしてください。 ☞ セットアップガイド「1. 保護材を取り外して付属品を取り付けます」 すでにヘッド固定用ロックが解除されている場合は、電源を一旦切り、電源コードをコンセントまたはプリンタ背面の電源コネクタにしっかり差し込んで、電源を数回入れ直してください。
	電源を一旦切り、電源コードをコンセントまたはプリンタ背面の電源コネクタにしっかり差し込みます。しばらくたってから電源を入れます。エラーが解除されたら、そのまま使用可能です。 再び同じエラーが発生したら、エプソン修理センターへエラーコードと共に連絡してください。 ☞ 本書 102 ページ「サービスコールが発生したら」
	電源を一旦切り、しばらくたってから入れてください。エラーが解除されたらそのまま使用可能です。再び同じ表示がされたらエプソン修理センターへエラーコードとともにご連絡ください。 ☞ 本書 102 ページ「サービスコールが発生したら」
サイキドウシテクダサイ	電源を一旦切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。
シバラクオマチクダサイ	そのまましばらくお待ちください。
タンピョウシヲイチマイテザシシテクダサイ	給紙スロットまたは前面に手差しで単票紙をセットしてください。またプリンタドライバの設定が［単票紙手差し］に、本体のディスプレイで［用紙選択］が［単票紙］（□）になっていることを確認してください。
トップカバーガアイテイマス	トップカバーを閉じてください。
ノズルヌケガナオリマセン	【ポーズ】ボタン（○/Ⅱ）を押してエラーを解除し、クリーニングをやり直してください。 ☞ 本書 82 ページ「ノズルチェック」
パワーオフチュウ	パワーオフ状態です。
パワークリーニング N ジッコウシマスカ Y （「コノソウサニハインクレバーノアゲサゲガヒツヨウデス」と交互に表示）	【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して「Y」を選択し、【パネル設定】ボタン（⏎）を押してパワークリーニングをしてください。「N」を選択すると、通常表示に戻ります。この場合はノズルチェックをし、必要に応じてヘッドクリーニングをしてください。 ☞ 本書 80 ページ「プリントヘッドの調整」
ヒダリインクレバーヲサゲル *1	左側のインクレバーを下げてください（ロックします）。 ☞ 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
プリントヘッドノ　ロックヲ　カイジョ　シテクダサイ	ヘッドの左側にあるヘッド固定用ロック（緑色）を引き出して、使用可能な状態にしてください。 ☞ セットアップガイド「1. 保護材を取り外して付属品を取り付けます」

*1　PX-6550 のみ表示されます。

メッセージ	処置方法
ポーズ （2行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示）	ポーズ中です。
［ポーズスイッチ］ヲオシテクダサイ	【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を押してください。
ミギインクレバーヲサゲル *1	右側のインクレバーを下げてください（ロックします）。 ☞ 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
ミスマッチエラー	印刷を中止して、【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットしてください。 【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を押している時間が 3 秒以下のときは、印刷が始まりますのでご注意ください。
ミスマッチエラー （「ドライバ→ユーティリティ→プリンタジョウホウヲヘンコウ」と交互に表示）	【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットしてください。リセット後、セットしたインクカートリッジの組み合わせに合わせて、プリンタドライバのカートリッジオプションを切り替えてください。 ☞ 本書 75 ページ「インク情報の更新」
メンテナンスコール ｎｎｎｎｎｎｎｎ	エプソン修理センターへ連絡してください。部品を交換しない限り解除されません。対処方法は以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 101 ページ「メンテナンスコールが発生したら」
メンテナンスタンクコウカン	新しいメンテナンスタンクと交換してください。 ☞ 本書 76 ページ「メンテナンスタンクの交換」
メンテナンスタンクナシ	メンテナンスタンクを正しく取り付けてください。 ☞ 本書 76 ページ「メンテナンスタンクの交換」
「メンテナンスタンクノアキヨウリョウガタリマセン」と「アタラシイメンテナンスタンクニコウカンシテクダサイ」が交互に表示	オプションのメンテナンスタンクをお買い求め、交換してください。 メンテナンスタンクの型番や交換方法については、以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 76 ページ「メンテナンスタンクの交換」
メンテナンスタンクノコリワズカ	【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を押して印刷を続行できますが、すみやかに新しいメン テナンスタンクと交換してください。 ☞ 本書 76 ページ「メンテナンスタンクの交換」
ヨウシガカットサレマセンデシタ	• トップカバーを開けて、カットされなかった用紙片を取り除いてください。「ヨウシヲタダシクセットシテクダサイ」と表示されたら、用紙セットレバーを解除して用紙をセットし直します。 ☞ 本書 112 ページ「給紙ミス / 排紙のトラブル」 • カッター刃が磨耗している場合は、交換してください。 ☞ 本書 78 ページ「カッターの交換」
ヨウシガシャコウシテイマス	印刷領域に正しく印刷されていない可能性があります。印刷結果を確認してください。次の印刷のために用紙を正しくセットし直してください。 ☞ 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」
ヨウシガシャコウシテイマスサイセットシテクダサイ	単票紙を正しくセットし直してください。 ☞ 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」
ヨウシガツマリマシタ	トップカバーを開けて詰まった用紙を取り除いてください。トップカバーを閉め「サイキドウシテクダサイ」と表示されたら、プリンタの電源を一旦切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。 ☞ 本書 112 ページ「給紙ミス / 排紙のトラブル」
ヨウシサイズガチガイマス	印刷データと同じサイズの用紙をセットしてください。 ☞ 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」 【ポーズ】ボタン（◯/Ⅱ）を押すと印刷を開始します。ただし、用紙からはみ出した印刷データの部分は印刷されません。

*1 PX-6550 のみ表示されます。

メッセージ	処置方法
ヨウシナシ	• 用紙を正しくセットし直してください。それでもエラーが解除されない場合は、【用紙送り】ボタン（⊙/⊙）を押してください。 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」 • 印刷の終了した用紙を取り外し、新しい用紙をセットします。残ったデータが印刷されます。
ヨウシレバーヲモドシテクダサイ	用紙セットレバーを手前に戻してください（固定状態）。
ヨウシヲセットシテクダサイ （2 行目は吸着力を表示）	用紙をセットし、用紙セットレバーを手前に戻してください（固定状態）。
ヨウシヲタダシクセットシテクダサイ	用紙を正しくセットし直してください。 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」
	用紙が波打ったり、たわんでいると用紙サイズを正しく認識できません。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。
	単票紙を取り除いてください。
	用紙セットレバーを後方に倒して解除し、もう一度手前に戻して固定し直してください。 本書 4 ページ「各部の名称と働き」
ヨウシヲトリカエテクダサイ	セットした用紙が汚れていたり、しわになっていたりすると、印字結果を正常に読み取れないことがあります。汚れやしわのない用紙をセットし直してください。また、エプソン純正専用紙 *1 の使用をお勧めします。 *1：スーパーファイン紙、両面上質普通紙を除く
ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	厚紙を取り外してから用紙セットレバーを手前に戻してください（固定状態）。
ヨウシヲトリノゾイテクダサイ （「［ポーズスイッチ］ヲオシテクダサイ」と交互に表示）	紙経路にある用紙を取り除いてください。
	単票紙を取り除いてください。
ヨウシヲヌキ　モット　オクマデ　セットシナオシテクダサイ	セットした単票紙を一旦取り出してから、単票紙をもっと奥に挿入してください。 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」
リアカバーガアイテイマス	リアカバーをセットしてください。
リセット	リセット中です。
レバーヲサゲテクダサイ	左右両方のインクレバーを下げてください（ロックします）。 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」
ロールシヲセットシテクダサイ	ロール紙を正しくセットしてください。またプリンタドライバの設定が［ロール紙］または［ロール紙長尺モード］に、本体のディスプレイで［用紙選択］が［ロール紙自動カット］または［ロール紙カッターオフ］になっていることを確認してください。

メンテナンスコールが発生したら

メンテナンスコールは、プリンタの交換部品の交換時期が近付いたことを示す警告メッセージです。「メンテナンスコール nnnn」が表示された場合は、すぐにお買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口に連絡してください。連絡の際には、「nnnn」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。エプソンの修理窓口については、巻末をご覧ください。メンテナンスコールが発生した状態で使い続けると、サービスコールが発生します。

サービスコールが発生したら

サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。

- プリントヘッド固定用ロックが解除されていない
- 電源コードがコンセントまたはプリンタ背面の電源コネクタに、正しく差し込まれていない
- エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生した

サービスコールが発生すると、「サービスコール nnnnnnnn」と表示され、プリンタは自動的に印刷を停止します。その場合は、まずヘッド固定用ロックが解除されているかどうか確認してください。ロックが解除されている場合は、電源を一旦切り、電源コードがコンセントまたはプリンタ背面の電源コネクタに、正しく差し込まれているか確認します。電源プラグをしっかり差し込んでから再度電源を入れてください。サービスコールのメッセージが表示されなくなった場合は、しばらくそのままお使いいただくことができます。再度同じサービスコールのメッセージが表示されてプリンタが使用できなくなった場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口に連絡してください。連絡の際には、必ず「nnnnnnnn」（サービスコール番号）を伝えてください。エプソンの修理窓口については、巻末をご覧ください。

原因の確認と対処方法

印刷できない（プリンタが動かない）

トラブル状態	対処方法
電源が入らない	**電源プラグがコンセントまたはプリンタから抜けていませんか？** 差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。 **電源コンセントに問題がありませんか？** ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。
プリンタドライバが正しくインストールされていない（Windows）	**プリンタドライバのアイコンはありますか？** • 本製品のアイコンがある プリンタドライバはインストールされています。次項の［印刷するポート］を確認します。 • 本製品のアイコンがない プリンタドライバが正常にインストールされていません。プリンタドライバをインストールしてください。 ☞ セットアップガイド「4. プリンタソフトウェアをインストールします」 **印刷先のポート設定が使用するプリンタの接続先と合ってますか？** プリンタの電源を入れて、印刷先のポートを確認します。 プリンタドライバの［ポート］画面を開いて、［印刷するポート］を確認します。 • USB：［USBxxx］（x はポート番号を表す数字） • ネットワーク接続：適切な IP アドレスなど 表示がない場合はプリンタドライバが正しくインストールされていません。プリンタドライバを削除して、インストールし直してください。 ☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「プリンタドライバの削除」
プリンタドライバが正しくインストールされていない（Mac OS X）	**以下の手順で［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］を起動し、プリンタドライバがインストールされているか確認します。** ①ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。 ②［アプリケーション］をクリックして［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。 ③［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。 プリンタ名が表示されないときは、以下の通りプリンタの追加をしてください。 ☞ セットアップガイド「5. Mac OS X の場合はプリンタを追加します」

トラブル状態	対処方法
プリンタとコンピュータの接続に異常がある	**ケーブルが外れていませんか？** プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。 ☞ セットアップガイド「3. コンピュータと接続します」 **コンピュータの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？** インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類や本製品の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。 ☞ 本書 124 ページ「コンピュータとの接続条件」 **プリンタ切り替え機などを使っていませんか？** プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機や延長ケーブルを使用していると、その組み合わせによっては正常に印刷できないことがあります。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。 ☞ セットアップガイド「3. コンピュータと接続します」 **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？** USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本製品はコンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、このようなときはコンピュータの USB ポートに直接接続してください。 **USB ハブが正しく認識されていますか？（Windows）** ［コントロールパネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［システム］（Windows 2000 の場合は［コントロールパネル］－［システム］）を実行して［ハードウェア］タブから［デバイスマネージャ］の［USB (Universal Serial Bus) コントローラ］の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、プリンタの USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。
ネットワーク環境下で印刷ができない	**ネットワーク上の設定は正しいですか？** ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。 **プリンタとコンピュータを一対一で接続して、印刷してみてください。** 一対一の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムの取扱説明書をご覧ください。一対一の接続で印刷ができない場合は、本書の該当項目をご覧ください。
プリンタ側でエラーが発生している	**プリンタ側でエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示とパネルメッセージで確認します。** ☞ 本書 13 ページ「ランプ」 ☞ 本書 98 ページ「ディスプレイにメッセージが表示される」

トラブル状態	対処方法
印刷が中断されている	**プリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？（Windows）** 印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷が停止すると、スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。 ①[スタート] から [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを開きます。 Windows Vista [スタートアイコン] – [コントロールパネル] – [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順にクリックします。 ②本製品のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は [プリンタ] メニューの [一時停止] をクリックして「✓」を外します。 **プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティで、状況が「停止中」になっていませんか？（Mac OS X）** プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティで [ジョブの停止] をクリックすると、停止が解除されるまで印刷は行われません。 ①Dock で [プリントセンター] または [プリンタ設定ユーティリティ] のアイコンをクリックします。 ②状況が [停止中] と表示されているプリンタがあったら、そのプリンタをダブルクリックします。 ③停止中のジョブをクリックし、[ジョブを開始] をクリックします。
あてはまるトラブル状態がない	**プリンタドライバのトラブルか、アプリケーションソフトのトラブルか判断します。** プリンタドライバからの印字テストを行うことにより、プリンタとコンピュータの接続、およびプリンタドライバの設定が正しいかどうかを確認できます。 ①プリンタが印刷可能状態であること（電源が入っていること）を確認し、プリンタに A4 サイズ以上の用紙をセットします。 ②[スタート] から [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを開きます。 Windows Vista [スタートアイコン] – [コントロールパネル] – [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順にクリックします。 ③本製品のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] を選択します。 ④プロパティ画面で [全般] タブを選択し、右下の [テストページの印刷] をクリックします。 しばらくすると、テストページの印刷が始まります。 • テストページが正しく印刷されたときは、プリンタとコンピュータの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。 • テストページが正しく印刷されないときは、本書のここまでの項目を再度確認してください。 ☞ 本書 103 ページ「印刷できない（プリンタが動かない）」 ※テストページに記載されている「ドライババージョン」とは Windows 内部のドライバのバージョンであり、お客様がインストールされた当社のプリンタドライバのバージョンとは異なります。

プリンタは動くが印刷されない

トラブル状態	対処方法
インクカートリッジに異常がある	**プリントヘッドは動くが印刷しないときは、プリンタの動作確認をしてください。** ノズルチェックパターンを印刷してください。コンピュータと接続していない状態でも、プリンタの動作や印刷状態を確認できます。 本書 82 ページ「ノズルチェック」 **オートクリーニングの設定が OFF になっているとき、ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。** 本書 84 ページ「ヘッドクリーニング」 • クリーニングが必要な場合の印刷サンプルは以下をご覧ください。 本書巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」 • プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われず、インクカートリッジの交換が必要になってもインクチェックランプが点灯しなかったり、正常な印刷ができないことがあります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」 **プリンタを長期間使用していなかったのではありませんか？** プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。プリンタを長期間使用しなかったときの処置については、以下をご覧ください。 本書 93 ページ「1ヵ月以上使わなかったときは」

印刷品質 / 印刷結果のトラブル

トラブル状態	対処方法
印刷品質が悪い / ムラがある / 薄い / 濃い	**プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？** プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。 • クリーニングが必要な場合の印刷サンプルは以下を参照してください。 ☞ 本書巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」 • プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われず、インクカートリッジの交換が必要になってもインクチェックランプが点灯しなかったり、正常な印刷ができないことがあります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。 ☞ 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」 **プリントヘッドにずれ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）** 双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷を行います。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。 ☞ 本書 86 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 **インクカートリッジは推奨品（当社純正品）を使用していますか？** 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるなどで色合いが変わることがあります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。 **古くなったインクカートリッジを使用していませんか？** 古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限内（プリンタ装着後は 6ヵ月以内）に使用することをお勧めします。 **［用紙種類］の設定は正しいですか？** プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）/［印刷設定］画面（Mac OS X）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。 **印刷品質の低いモード（［速い］など）で印刷していませんか？** プリンタドライバで［印刷品質］（Windows）/［推奨設定］（Macintosh）を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下することがあります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で［きれい］または［POP プリント］を選択してください。 **オートフォトファイン（自動画質補正）の設定で印刷していませんか？** オートフォトファイン！ EX は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン！ EX を有効にしてあると、表示画面の色合いと異なる場合があります。 ☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「オートフォトファイン！ EX による自動調整（Windows のみ）」 **カラー調整の設定をしていませんか？** 出力装置（この場合はディスプレイとプリンタ）の違いによってカラー出力の色合いが多少違うことがあります。このような場合に、ディスプレイの色をより忠実に再現するためのカラー調整の機能が用意されています。こうした機能を使ってカラー調整をしてみてください。 ☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「プリンタドライバによる色調整」

トラブル状態	対処方法
印刷品質が悪い / ムラがある / 薄い / 濃い（つづき）	**写真などを普通紙に印刷していませんか？** カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージが大きく異なります。目的に応じて用紙（専用紙と普通紙など）を使い分けることをお勧めします。 **用紙の裏面に印刷していませんか？** 専用紙には裏表があります。表面（印刷面）を手前にしてセットしてください。 用紙の正しいセット方法は以下をご覧ください。 ☞ 本書 29 ページ「用紙のセットと排紙」 **ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？** ディスプレイ表示とプリンタで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 • テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる 3 色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3 色すべてが光っている状態が白となります。 • 一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、黄（Y）・マゼンタ（M）・シアン（C）の“色の三原色”を組み合わせています。まったく色を付けないのが白で、3 色を均等に混ぜた状態が黒になります。 • スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows）や ColorSync（Mac OS X）です。 **ICM（Windows）、または ColorSync（Mac OS X）などのカラーマネージメントシステムをお使いの場合、モニタのプロファイル設定を行いましたか？** 正しくマネージメントを行うためには、入力機器・使用アプリケーションが ICM（Windows）、または ColorSync（Mac OS X）に対応している必要があります。また、お使いのモニタのプロファイルを設定する必要があります。 ☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「色合いを調整して印刷」
他機種と色味が異なる	**機器別にカラーマッチングをしていますか？** プリンタにはそれぞれのカラープロファイルを持っており、同じデータで印刷をしても色味が異なって印刷されます。この色味のズレを可能な限り近付けるのがカラーマッチングです。 本製品はプリンタドライバでカラーマッチングができます。エプソンの推奨設定でプリントする場合は機種ごとに印刷色が異なります。印刷色をできるだけ近付けたい場合はカラーマネージメントを利用して印刷してみてください。また、アプリケーションソフトから、本製品のカラープロファイル情報を取り込むこともできます。 ☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「色合いを調整して印刷」 本製品以外のカラーマッチングについては、その機器やアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

トラブル状態	対処方法
印刷位置がずれる / はみ出す	**印刷範囲を指定していますか？** アプリケーションやプリンタの設定で印刷範囲の確認をしてください。 **用紙サイズの設定は正しいですか？** セットした用紙のサイズと、[用紙設定] 画面（Windows）/ [ページ設定] 画面（Macintosh）の [用紙サイズ] が合っていないと、印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。用紙サイズの設定を確認してください。 ☞ 本書 48 ページ「印刷の手順（Windows)」 ☞ 本書 49 ページ「印刷の手順（Mac OS X)」 **ロール紙余白を 15mm または 35mm に設定していませんか？** 自動回転したり、用紙幅いっぱいの印刷（17 インチ幅のロール紙に A2 縦サイズの印刷をしたり A3 横サイズの印刷をするなど）をしたりするとき、パネル設定モードの [ロールシヨハク] を 15mm、または 25mm に設定すると、印刷領域からはみ出した用紙右端のデータが印刷されなくなります。[ロールシヨハク] を 3mm に設定して印刷してください。 ☞ 本書 18 ページ「[プリンタセッテイ] メニュー」 **用紙が斜行していませんか？** 通常は用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定の [シャコウエラーケンシュツ] が [OFF] になっていると用紙が斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。パネル設定モードの [シャコウエラーケンシュツ] を [ON] に設定してください。 ☞ 本書 18 ページ「[プリンタセッテイ] メニュー」 **印刷データは用紙幅に納まっていますか？** 印刷イメージが用紙幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、パネル設定の [ヨウシハバケンシュツ] が [OFF] になっていると用紙幅を超えても印刷してしまいます。パネル設定モードの [ヨウシハバケンシュツ] を [ON] に設定してください。 ☞ 本書 18 ページ「[プリンタセッテイ] メニュー」
罫線が左右にガタガタになる	**プリントヘッドにずれ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）** 双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷を行います。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷される場合があります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。 ☞ 本書 86 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

トラブル状態	対処方法
印刷面がこすれる / 汚れる	**用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？** 本製品で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。エプソン製以外の用紙への印刷やラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先または RIP の製造元にお問い合わせください。 **厚い用紙でプリントヘッドが印刷面をこすっていませんか？** 厚い用紙を使用するとプリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。このようなときには､パネル設定モードの［プラテンギャップ］を［ヒロメ］から［サイダイ］の間より選択して設定してください。 ☞本書 18 ページ「[プリンタセッテイ］メニュー」 **薄い用紙で用紙が送れず同じ部分に印刷していませんか？** 薄い用紙を使用すると、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないことがあります。このようなときには､パネル設定モードの［キュウチャクリョク］を [-4] ～ [-1] に設定してください。 ☞本書 22 ページ「[ユーザーヨウシ］メニュー」 **プリンタ内部が汚れていませんか？** 用紙の上端および用紙の裏面が汚れるときは、プリンタ内部の用紙の通過経路が汚れている可能性があります。プリンタの内部の汚れをきれいにしてください。 ☞本書 91 ページ「プリンタのお手入れ」 **ロール紙の余白（マージン）を 3mm に設定していますか？** 使用する用紙や環境によっては印刷が汚れるときがあります。パネル設定モードの［ロールシヨハク］の設定を［タテ 15mm］、［タテ 25mm］、［15mm］のいずれかに設定して印刷してください。 ☞本書 18 ページ「[プリンタセッテイ］メニュー」 **用紙の余白や、プラテンギャップを調整していますか？** ロール紙を使っている場合は、パネルでの用紙の余白設定を［15mm］にしてみてください。それでも改善されなければ、プリンタドライバの［用紙調整］画面を表示して（Windows の場合は［基本設定］画面の［用紙調整］をクリックして表示）、［プラテンギャップ］を [ヒロメ] に設定してください。 ☞本書 122 ページ「印刷可能領域」 画面の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプをご覧ください。 以上のチェック項目が原因だと思われる印刷サンプルは以下をご覧ください。 ☞本書巻末「トラブルチェック用サンプル」 **プロフェッショナルフォトペーパーに印刷していませんか？** 印刷後のプロフェッショナルフォトペーパーは、印刷面を擦らないでください。インクの剥がれやキズが生じることがあります。
用紙にしわが発生する	**用紙に合ったロール紙スピンドルを使用していますか？** オプションのハイテンションスピンドルを使用しないで印刷すると、用紙にしわが発生します。用紙に合ったスピンドルを使用してください。 詳細は、別冊の『用紙ガイド』か、用紙の取扱説明書をご覧ください。 **一般の室温環境下で使用していますか？** エプソン製の専用紙は一般の室温環境下（温度：15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。また、MC マット合成紙 2 ロールやエプソン製以外の薄紙など使用方法に注意が必要な用紙については、用紙の取扱説明書をご覧ください。 **エプソン純正紙以外の場合、用紙調整を行いましたか？** エプソン製以外の用紙を使うときは、用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせた設定を行ってから印刷してください。 ☞ユーザーズガイド（電子マニュアル）「エプソン製以外の用紙への印刷」

トラブル状態	対処方法
印刷した用紙の裏側が汚れる	**プリンタ内部が汚れていませんか？** プリンタ内部の汚れを取り除いてください。 ☞ 本書 91 ページ「プリンタのお手入れ」 通常は印刷イメージが用紙幅より大きかったり用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定モードの［ヨウシハバケンシュツ］や［シャコウエラーケンシュツ］が［OFF］になっているとそのまま印刷され、印刷領域からはみ出すためプリンタ内部が汚れます。プリンタ内部を汚さないためにも、パネル設定の［ヨウシハバケンシュツ］や［シャコウエラーケンシュツ］は［ON］に設定してください。 ☞ 本書 18 ページ「［プリンタセッテイ］メニュー」
インクが出すぎてしまう	**インクカートリッジをしっかり振ってからプリンタにセットしていますか？** 本製品は顔料インクを使用しているため、カートリッジのセットの前にしっかり振って中のインクをよく混ぜて使用してください。 ☞ 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換」 **［用紙種類］の設定は正しいですか？** お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。用紙ごとにインクの吐出量をコントロールしているため、例えば写真用紙の設定で普通紙に印刷すると、用紙に対してインクが過剰な状態で印刷されることがあります。 **［インク濃度］の設定は適切ですか？** プリンタドライバの［用紙調整］画面（Windows の場合は［基本設定］画面の［用紙調整］をクリックして表示）でインクの濃度を下げてください。用紙によって、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。［用紙調整］画面の詳細はプリンタドライバのオンラインヘルプをご覧ください。
フチなし印刷ができない、余白が発生する。	**アプリケーションソフト側で適切な印刷データを作成していますか？** プリンタドライバ側だけでなく、アプリケーションソフト側でも用紙設定をしてから印刷してください。 ☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「フチなし印刷」 **用紙の設定は合っていますか？** お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。 ☞ 用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」 **はみ出し量を変更していますか？** フチなし印刷のはみ出し量を調整してください。はみ出し量を「少ない」に設定していると余白が残る場合があります。 ☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）「フチなし印刷」 **用紙の保管は適切でしたか？** 用紙の保管状況によっては、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。用紙の保管については用紙の取扱説明書をご覧ください。 **フチなし印刷対応用紙を使用していますか？** フチなし印刷対応用紙以外の用紙を使用すると、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。フチなし推奨用紙を使用することをお勧めします。 ☞ 用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

給紙ミス / 排紙のトラブル

トラブル状態	対処方法
給紙・排紙がうまくできない	**操作パネルとプリンタドライバの用紙種類の設定はセットされている用紙と合っていますか?** 【用紙選択】ボタンで用紙の種類をプリンタにセットしている用紙に合わせてください。プリンタドライバの[用紙設定]画面(Windows)/[印刷設定]画面(Macintosh)の設定をプリンタにセットしている用紙に合わせてください。 **用紙のセット位置は正しいですか?** 以下をご覧のうえ正しい位置に用紙をセットしてください。 本書 32 ページ「単票紙のセット」 本書 37 ページ「厚紙のセット」 本書 39 ページ「ロール紙のセット」 用紙が正しくセットされている場合は、使用している用紙の状態を確認します。 **用紙に合ったロール紙スピンドルを使用していますか?** 用紙の種類によっては、オプションのハイテンションスピンドルを使用しないで印刷すると、用紙にしわが発生します。用紙に合ったスピンドルを使用してください。 詳細は、以下のページか、用紙の取扱説明書をご覧ください。 用紙ガイド(別冊)「用紙の仕様と設定」 **用紙を縦長にセットしていますか?** 用紙サイズが A4、Letter、8 × 10 インチの単票紙を給紙スロットから手差しする場合は、必ず縦長にセットして印刷してください。また、普通紙や再生紙の単票紙は、サイズに関係なく常に縦長にセットしてください。横長にセットすると、用紙が認識されず、エラーが発生します。 本書 128 ページ「用紙仕様」 **用紙にシワや折り目がありませんか?** 古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。 **用紙が湿気を含んでいませんか?** 湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、エプソン製の専用紙は、お使いになる分だけ袋から出してください。長期間放置しておくと、用紙が反ったり、湿気を含んで正常に給紙できない原因となります。未使用のロール紙はプリンタ本体から取り外し、膨らまないように巻き直してから梱包されていた個装袋に戻してください。 **用紙が波打ったり、たわんでいませんか?** 単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により波打ったり、たわんでしまい、プリンタ側で用紙サイズを正しく認識できなくなってしまう場合があります。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。 **用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか?** 本製品で使用できる仕様の用紙か確認してください。エプソン製以外の用紙に印刷したり、ラスターイメージプロセッサ(RIP)を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先または RIP の購入先にお問い合わせください。

トラブル状態	対処方法
給紙・排紙がうまくできない（つづき）	**一般の室温環境下で使用していますか？** エプソン製の専用紙は一般の室温環境下（温度：15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。 **プリンタに用紙が詰まっていませんか？** プリンタのトップカバーを開き、プリンタに異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。紙詰まりが発生しているときは、以下を参照しながら用紙を取り除いてください。 本書 114 ページ「ロール紙が詰まった」 本書 115 ページ「用紙トレイにセットした単票紙が詰まった」 本書 117 ページ「給紙スロットに手差しでセットした単票紙が詰まった」 本書 118 ページ「厚紙（前方からセットした単票紙）が詰まった」 **排紙した用紙がカールしていませんか？** お使いになる用紙の種類、印刷環境、印刷内容によって、用紙が反って排紙されることがあります。そのような用紙は印刷後、排紙される都度、用紙を取り除いてお使いください。 **プリンタ内部のローラは汚れていませんか？** プリンタの内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷物を汚すおそれがあります。以下をご覧になり、プリンタ内部をクリーニングしてください。 本書 91 ページ「プリンタのお手入れ」

トラブル状態	対処方法
ロール紙が詰まった	**紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに、以下の手順に従って取り除いてください。** ①用紙カバーを開き、給紙スロットにセットされている用紙を市販のカッターなどで切り取ります。 ②スピンドルをプリンタから外します。 ③用紙セットレバーを後方に倒します。 ④詰まった用紙を給紙スロットまたは前方から取り除きます。 給紙スロットから取り除く　前方から取り除く ⑤必要であれば、トップカバーを開けて詰まっている用紙を取り除きます。 用紙のセット方法については以下のページをご覧ください。 本書 39 ページ「ロール紙のセット」

トラブル状態	対処方法
用紙トレイにセットした単票紙が詰まった	**紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに、以下の手順に従って取り除いてください。** ①用紙セットレバーを後方に倒します。 ②用紙トレイをプリンタから取り外します。 ③詰まった用紙を用紙トレイ取り付け部から取り除きます。

トラブル状態	対処方法
用紙トレイにセットした単票紙が詰まった（つづき）	④リアカバーのあたりに用紙が詰まっている場合は、リアカバー両端のノブを内側に引いて取り外し、詰まった用紙を取り除きます。 内側に引いて取り外します 用紙のセット方法については以下のページをご覧ください。 本書 32 ページ「単票紙のセット」 参考 用紙がまっすぐ給紙されず斜行してしまったときは、用紙をスケール位置にしっかり合わせてセットしてください。 スケール

トラブル状態	対処方法
給紙スロットに手差しでセットした単票紙が詰まった	**紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに、以下の手順に従って取り除いてください。** ①用紙セットレバーを後方に倒します。 ②詰まった用紙を給紙スロットまたは前方から取り除きます。 給紙スロットから取り除く 前方から取り除く ③必要であれば、トップカバーを開けて詰まっている用紙を取り除きます。 用紙のセット方法については以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 32 ページ「単票紙のセット」

トラブル状態	対処方法
厚紙（前方からセットした単票紙）が詰まった	**紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに、以下の手順に従って取り除いてください。** ①用紙セットレバーを後方に倒します。 ②詰まった用紙を前方または後方から取り除きます。 前方から取り除く 後方から取り除く ③必要であれば、トップカバーを開けて詰まっている用紙を取り除きます。 用紙のセット方法については以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 37 ページ「厚紙のセット」

その他

トラブル状態	対処方法
用紙がきれいに切り取れなくなった	**カッターを交換してください。** 用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したら、カッターを交換してください。 交換方法は、以下をご覧ください。 本書 78 ページ「カッターの交換」
モノクロモードで印刷、もしくは黒データで印刷しているがカラーのインクの減りが早い	**ヘッドクリーニングにより、カラーインクが消費されています。** プリントヘッドのクリーニングをすると、すべてのノズルのクリーニングが行われ、すべての色のインクが消費されます。(モノクロモードを選択していても、クリーニング時にはすべての色のインクも消費されます。)
プリンタドライバが最新ではない	**最新のプリンタドライバを入手してください。** 通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要になることがあります。このようなときは、以下をご覧のうえ、プリンタドライバを入手してください。 本書 120 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」
Windows でプリンタドライバのコピーができてしまった	**同じプリンタドライバを何度もインストールしていませんか？** Windows において、本製品のプリンタドライバがインストールされている状態で新たに本製品のプリンタドライバをインストールすると、[プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダの中に [EPSON PX-6250S (コピー2)]、[EPSON PX-6250S (コピー 3)] というように、コピーという名称でアイコンが増えていきます。本製品のアイコンを残して、コピーのアイコンは削除しても問題はありません。プリンタフォルダ内に本製品のアイコンが 1 つでも残っていれば、ほかのアイコンを削除しても、本製品のプリンタドライバ自体が削除されることはありません。

お問い合わせいただく前に

エプソンのホームページの Q&A

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバをバージョンアップすることによって、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタドライバをお使いいただくことをお勧めします。

最新プリンタドライバの入手方法

最新のプリンタドライバは、以下の方法で入手してください。

- エプソンのホームページからダウンロードしてください。

アドレス	http://www.epson.jp

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承ります。
  ☞ 本書巻末

参考

各種ドライバの最新バージョンは、エプソンのホームページまたは FAX インフォメーションにてご確認ください。ホームページまたは FAX インフォメーションの詳細は、本書巻末にてご案内しています。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では最新のファームウェアのバージョンアップ情報をご提供しています。

また、MAXART リモートパネルを使うと、簡単にファームウェアのアップデートができます。詳細は MAXART リモートパネルのヘルプをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消されないときは、プリンタの動作を確認した上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。
☞ 本書 132 ページ「各種サービス・サポートの一覧」

プリンタの動作確認

プリンタの故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断するため、ノズルチェックパターンを印刷することによってプリンタの動作確認をします。

1. **電源を切り、プリンタケーブルを外します。**
2. **電源を入れます。**
3. **プリンタに単票紙をセットし、【用紙選択】ボタン（◁）で用紙を選択します。**
4. **【パネル設定】ボタン（◎）を押します。**
5. **【用紙送り】ボタン（▽）を押して［テストインサツ］メニューを表示させます。**
6. **【パネル設定】ボタン（◎）を押して、設定項目の階層に入ります。**
   ディスプレイの 2 段目に［ノズルチェックパターン］と表示されます。
7. **再度【パネル設定】ボタン（◎）を押して、設定値の階層に入ります。**
   ディスプレイの2段目に［インサツ］と表示されます。
8. **【パネル設定】ボタン（◎）を押します。**
   ノズルチェックパターンの印刷を開始します。

正常に印刷できないときは、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
☞ 本書 132 ページ「サービス・サポートのご案内」

8 付録

ここでは、本製品で使用できる用紙やコンピュータ、本製品のサポートなどに関する内容を説明します。

印刷可能領域

本製品で印刷できる領域は次の通りです。

ロール紙

ロール紙の余白は、パネル設定モードの「ロールシヨハク」の設定値によって異なります。

「ロールシヨハク」の設定値	設定内容
デフォルト（初期値）	a=c=15mm*1 b=d=3mm
タテ 15mm	a=c=15mm b=d=3mm
タテ 25mm	a=c=25mm b=d=3mm
15mm	a,b,c,d =15mm
3mm	a,b,c,d =3mm

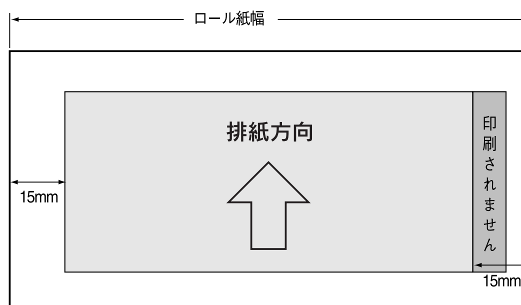
203mm～432mm
3mm～15mm
3mm～15mm
a*2
15mm
排紙方向
203mm ～ 最大 202m *3
b
d
c*2
15mm

*1 デフォルト（初期値）を選択するとプロフェッショナルフォトペーパー<厚手光沢>および<厚手半光沢>では、a=c=20mm になります。
*2 プリンタドライバの［給紙方法］で［ロール紙 長尺モード］の設定をすると、用紙上下の余白が 0mm となります。
*3 プリンタドライバで設定可能な用紙長の最大値は、以下の通りです。
15000mm（590.6inch）: Windows 2000/Windows XP
15240mm （600inch）: Mac OS X
それ以上の長さの用紙に印刷をする場合は、長尺モードに対応したアプリケーションソフトを使用し、［ロール紙 長尺モード］を選択してください。

左右フチなし印刷の左右余白は 0mm、四辺フチなし印刷では四辺の余白が 0mm になります。

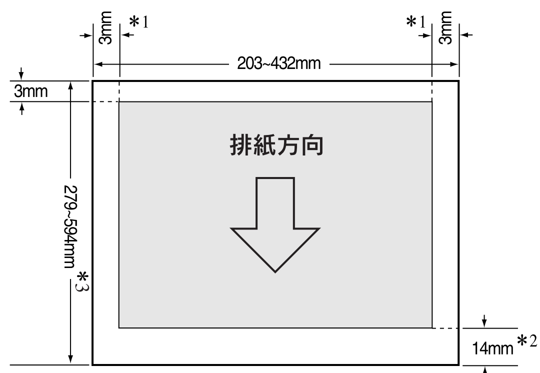
！重要

- ロール紙の最終端が芯から外れるときに印刷が乱れます。最終端には印刷領域がかからないように注意してください。
- 左右の余白が 15mm の設定で用紙幅いっぱいの印刷や自動回転をしたり、17 インチ幅のロール紙に A2 サイズの印刷をしたり、A3 横サイズの印刷をすると印刷領域からはみ出した用紙右端のデータが印刷されなくなります。



単票紙

PX-6250S/PX-6550



*1 左右フチなし印刷の左右マージンは 0mm です。

*2 普通紙、普通紙（線画）、トレーシングペーパー（線画）、PX マット紙<薄手>（線画）の単票紙の場合、プリンタドライバの「印刷可能領域」で「最大」の設定をすると、用紙下端の余白は 3mm になります。

*3 手差し給紙の場合のみ、最大 610mm の用紙長まで使用可能です。

プリンタドライバのシステム条件

付属のプリンタドライバを使用するためのハードウェアおよびシステムの推奨条件は次の通りです。

使用可能なコンピュータ

Windows

オペレーティングシステム	Windows 2000 日本語版 Windows XP 日本語版 Windows Vista 日本語版
CPU	Pentium®4 1.4GHz 以上
主記憶メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量	3GB 以上
インターフェイス	USB2.0 High Speed Ethernet 10Base-T/100Base-TX
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

* Windows Server には対応していません。

参考

- Windows 2000 でのインストールは、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。
- Windows XP でのインストールは、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Windows Vista でのインストールは、「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンする必要があります。なお、管理者のパスワードまたは確認を求められる場合があります。パスワードが求められた場合は、パスワードを入力して操作を続行してください。

Mac OS X

システムソフトウェア	Mac OS X v10.3.9 以降
CPU	PowerPC G4 867MHz以上 または Intel 社製プロセッサ
メモリ空き容量	256MB 以上
ハードディスク空き容量	3GB
ディスプレイ	XGA（1024 × 768 ドット）以上の解像度

* Mac OS X Server には対応していません。

コンピュータとの接続条件

本製品とコンピュータを接続する条件はお使いになるケーブルによって異なります。

また、最新の OS 対応状況は、エプソンのホームページを確認ください。

USB ケーブルで接続する場合

Windows

次の 2 つの条件を満たしている必要があります。

- Windows 2000/Windows XP がプレインストール（購入時すでにインストールされている状態）されているコンピュータ、または Windows 2000 がプレインストールされていて、Windows 2000/Windows XP/Windows Vista にアップグレードしたコンピュータ。
- USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ（コンピュータメーカーにお問い合わせください）。

Mac OS

アップル社によりUSBポートの動作が保証されているコンピュータと OS の組み合わせによるシステム。

USB インターフェイスで接続する場合は以下のケーブル（オプション）が必要です。

EPSON USB ケーブル （型番：USBCB2）

参考

- USB2.0 をご使用になると、高速データ転送が可能になります。
- USB2.0 としてご使用いただくためにはコンピュータが USB2.0 に対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスは USB1.1 上位互換ですのでコンピュータ側のインターフェイスが USB1.1 の場合は USB1.1 としてご使用になれます。

ネットワークケーブルで接続する場合

『取扱説明書 ネットワーク編（電子マニュアル）』を参照してください。

本製品の仕様

本製品の技術的な仕様について記載しています。

仕様一覧

基本仕様

印刷方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	PX-6250S ブラック系：180 ノズル× 2 列（合計 360 ノズル） カラー：180 ノズル× 3 色 2 列（合計 1080 ノズル）
	PX-6550 ブラック系：180 ノズル× 3 色（合計 540 ノズル） カラー：180 ノズル× 5 色（合計 900 ノズル）
印刷方向	双方向最短距離印刷
解像度（最大）	PX-6250S：1440 × 720dpi
	PX-6550：2880 × 1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター（コマンドは非公開）
紙送り方式	フリクションフィード
用紙幅（最大）	432mm（約 17 インチ）、A2 対応
内蔵メモリ	64MB（メイン用）、64MB（ネットワーク用）
インターフェイス	USB 2.0 High Speed、Ethernet 10Base-T/100Base-TX

電気関係仕様

定格電圧	AC100V ～ 240V
入力電圧範囲	AC90 ～ 264V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49 ～ 61Hz
定格電流	1.0A ～ 0.5A
消費電力	動作時：約 55W 以下 スリープモード時：5W 以下 電源ボタンオフ時：1W 以下
絶縁抵抗	10MΩ 以上（DC500V にて AC ラインとシャーシ間）
絶縁耐力	AC1.0kVrms 1 分または AC1.2kVrms 1 秒（AC ラインとシャーシ間）
漏洩電流	0.25mA 以下
適合規格、規制	高調波電流規格 JIS C61000-3-2、VCCI クラス B

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
顔料インク色	PX-6250S ブラック系：マットブラック カラー：シアン、マゼンタ、イエロー
	PX-6550 ブラック系：フォトブラック / マットブラック、グレー、ライトグレー カラー：シアン、ライトシアン、ビビッドマゼンタ、ビビッドライトマゼンタ、イエロー
有効期間	個装箱、カートリッジに記載された期限（常温）
印刷品質保証期限	6ヵ月（プリンタ取り付け後）
保存温度	梱包保存時：-20 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1ヵ月以内） 本体装着時：-20 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1ヵ月以内） 梱包輸送時：-20 ～ 60 ℃（60 ℃の場合 72 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内）
容量	標準 110ml タイプ
カートリッジ外形寸法	25.1（幅）× 165.8（奥行き）× 105.3（高さ）mm

!重要

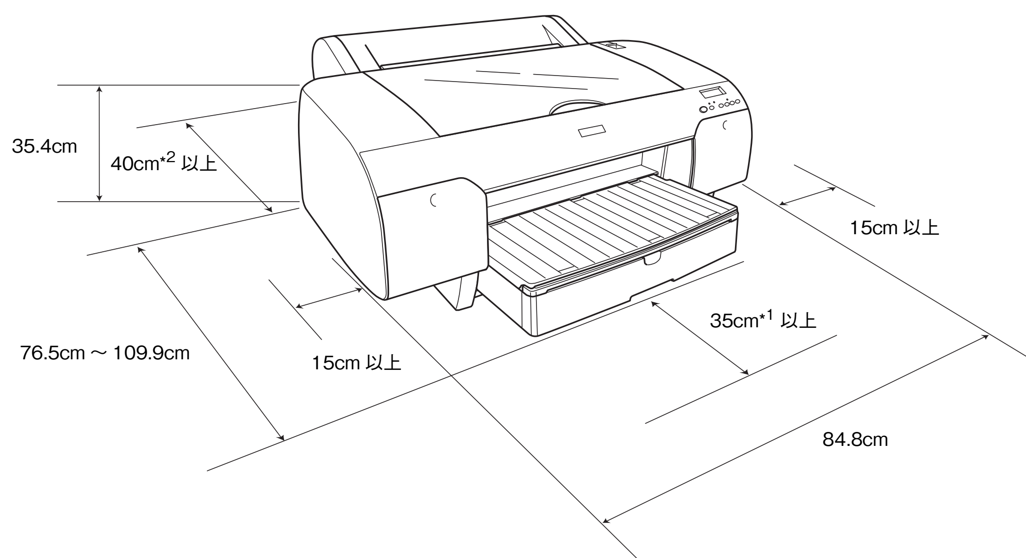
- インクは -15 ℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 ℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

総合仕様

温度	動作時：10 ～ 35 ℃ 保存時（開梱前）：-20 ～ 60 ℃（60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内） 保存時（開梱後）：-20 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1ヵ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80%（非結露） 保存時（開梱前）：5 ～ 85%（非結露） 保存時（開梱後）：20 ～ 85%（非結露）
	この範囲以内で使用してください 湿度（%） 80 55 30 20 10 15 27 35 温度（℃）
質量	PX-6250S 約 39.0kg（インクカートリッジ含まず）
	PX-6550 約 40.2kg（インクカートリッジ含まず）
外形寸法	848（幅）× 765（奥行き）× 354（高さ）mm （用紙トレイ伸長時の奥行き 1,099mm）

設置スペース

- プリンタ前面側：35cm 以上（用紙トレイを引き伸ばす場合）
- プリンタ背面側：40cm 以上（前方から単票紙を手差しでセットする場合）
- プリンタ側面側：15cm 以上



*1 用紙トレイを引き伸ばす場合に必要なスペース

*2 前方から厚紙を給紙して後方に排紙する場合に必要なスペース



プリンタの外形寸法は以下の通りです。
848（幅）× 765（奥行き）× 354（高さ）mm（用紙トレイ伸長時の奥行き 1,099mm）

用紙仕様

ロール紙	用紙種類	普通紙、再生紙、その他
	ロール紙サイズ	2 インチ芯径：外径 103mm 以内 /1 本セット可能
		3 インチ芯径：外径 150mm 以内 /1 本セット可能
	用紙サイズ 2 インチ芯径	203mm ～ 432mm（横）×～ 45m（縦）（ロール紙サイズ内のこと）
	用紙サイズ 3 インチ芯径	203mm ～ 432mm（横）×～ 202m（縦）（ロール紙サイズ内のこと）
	用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08 ～ 0.15mm（用紙質量 64 ～ 90gf/m^2）
		その他の用紙種類の場合：0.08mm ～ 0.50mm（用紙質量 64 ～ 260gf/m^2）
	フチなし印刷可能幅	203.2mm（8 インチ）、210.0mm（A4）、215.9mm（8.5 インチ）、254.0mm（10 インチ）、257.0mm（B4）、297.0mm（A3）、300.0mm、304.8mm（12 インチ）、329.0mm（A3 ノビ）、355.6mm（14 インチ）、400.0mm、406.4mm（16 インチ）、420.0mm（A2）、431.8mm（17 インチ）
単票紙	用紙種類	普通紙、再生紙、その他
	用紙サイズ	A4、A3、A3 ノビ（329 × 483mm）、A2、B4、B3、Letter（8-1/2 × 11 インチ）、8 × 10 インチ、300 × 450mm、400 × 600mm、11 × 17 インチ /279 × 432mm、17 × 24 インチ /432 × 610mm* * 用紙トレイにセットできる用紙長さは、A2（594mm）までです。それより長い用紙は、手差しでセットして印刷してください。
	用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08 ～ 0.11mm（用紙質量 64 ～ 90gf/m^2）
		その他の用紙種類の場合 • 用紙長さ 254mm 以上 610mm まで：0.08 ～ 1.50mm • 横入れの場合：0.08 ～ 1.50mm まで対応可能（ただし、用紙サイズが A4、Letter、8 × 10 インチの単票紙を給紙スロットから手差しする場合は、必ず縦長にセットして印刷してください。また、普通紙や再生紙の単票紙は、サイズに関係なく常に縦長にセットしてください。）
	フチなし印刷可能幅（左右フチなし印刷）	210.0mm（A4）、215.9mm（8.5 インチ）、254.0mm（10 インチ）、257.0mm（B4）、297.0mm（A3）、300.0mm、304.8mm（12 インチ）、329.0mm（A3 ノビ）、355.6mm（14 インチ）、400.0mm、406.4mm（16 インチ）、431.8mm（17 インチ）

エプソン製の専用紙については以下をご覧ください。

☞ 用紙ガイド（別冊）「エプソン純正専用紙の特長」

!重要

- 普通紙および再生紙については、上記仕様の用紙を本製品に装着して通紙できますが印刷品質保証するものではありません。
- そのほかの用紙種類については、上記仕様の用紙が本製品に装着できますが通紙保証および印刷品質保証するものではありません。
- ロール紙、単票紙とも、しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。

環境基本仕様

消費電力	動作時：約 55W 以下、スリープモード時：5W 以下、電源オフ時：1W 以下 ※ 消費電力を 0W にするためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
省資源機能	割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	インクカートリッジのリサイクルとメンテナンスタンクのリサイクル 弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取り扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジと使用済みメンテナンスタンクの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジと使用済みメンテナンスタンクは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。 最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスを用意しています。詳細につきましては以下をご覧ください。 ☞ 本書 132 ページ「保守サービスのご案内」
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年

本製品の廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

Mac OS X をお使いの方へ

Mac OS X で印刷する場合、使用できない機能があります。

プリンタドライバの主な機能	Mac OS X v10.2.8 以降
プリンタ共有	○
カスタム用紙サイズ	○
ロール紙印刷	○
フチなし印刷	○
拡大・縮小（任意倍率）	○
印刷可能領域「センタリング」	×
180 度回転印刷	×
オートフォトファイン	×
マイクロウィーブ	○
双方向印刷	○
左右反転印刷	○
Web スムージング	×
スムージング（文字 / 輪郭）	○
ガンマ値変更	○
「色補正なし」	○
フィットページ（Mac OS X では［用紙サイズに合わせる］）	○ *1
ロール紙の幅に合わせて印刷	×
割付印刷	○
ポスター印刷	×
背景色の追加	×
設定値の印刷（Mac OS X では［一覧］）	○
スプールファイル保存先指定	×
コピー印刷ファイル保存	×
印刷時刻指定機能	○ *2
印刷データをハードディスクに保存後、プリンタへ送信	×
ファイル保存	×
プログレスメータ・インク残量表示機能	×
自動回転	×
自動カッター	○
プレビュー	○
切り取り線印刷機能	○

プリンタドライバの主な機能	Mac OS X v10.2.8 以降
ロール紙節約	○

*1 Mac OS X v10.4.0 以降

*2 Mac OS X v10.3.0 以降

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートの一覧

弊社が行っている各種サービス・サポートは以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	本書巻末の一覧表をご覧ください。
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON*	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます（東京・大阪）。	
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書の PDF データをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。	エプソンのホームページ
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご連絡ください（2007 年 11 月現在）。	本書巻末の一覧表をご覧ください。
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	詳細は次項を参照してください。

* 「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

☞ 本書 97 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※ 改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書巻末の一覧表をご覧ください）

  受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）

  9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、以下の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代 * は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料 ＋ 技術料＋部品代 修理完了後そのつどお支払いください。

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。

  年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。
- 本製品は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

  エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

C

■ColorSync（カラーシンク）
Mac OS 用のカラーマネジメントシステム。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSync の機能を活用するためには、使用する機器とソフトウェアのすべてが、ColorSync に対応している必要がある。

D

■dpi
解像度の単位で、25.4mm（1 インチ）幅に印刷できるドット数を示す。

I

■ICC プロファイル
カラーマネジメントを行うために、色情報を定義したファイル。

■ICM
Windows 用のカラーマネジメントシステム。

イ

■印刷領域
印刷内容が欠落することなく用紙に印刷されることを保証する領域。この領域を超えて作成されたデータは、印刷されないか、2 ページにまたがって印刷される。

■インチ
長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

カ

■解像度
画質の細かさを表す指標で、一般に dpi（dot per inch; 1 インチあたりのドット数）の単位で表わす。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、データの容量も多くなり印刷に時間がかかる。

■カラーマッチング
原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

■カラーマネジメントシステム（CMS）
入力装置や出力装置の特性の違いによる印刷結果の色のズレを補正する方法。

■ガンマ
画像の中間調部分の階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位。

ガンマ値を変更することで、画像の暗い部分や明るい部分に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさだけを調整できる。

キ

■キャッピング
プリントヘッドの乾燥を防ぐためにプリンタが自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

■ギャップ調整
印刷時のギャップ（ずれ）を調整する機能。双方向印刷で、プリントヘッドが右から左へ移動するときの印刷位置と、左から右へ移動するときの印刷位置がずれ、縦罫線がずれて印刷される場合などに、この機能を実行することにより補正する。

■キャリッジ
プリントヘッドやインクカートリッジを左右に移動させる部分。

■給紙
セットされている用紙をページ先頭位置まで紙送りすること。

ク

■クリーニング（ヘッドクリーニング）
プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの詰まりを解消する機能。

サ

■サービスコール
エラーが発生したことを示すメッセージ。

ディスプレイに「サービスコール nnnnnnnn」と表示され、プリンタは自動的に印刷を停止する。

シ

■充てん
プリントヘッドノズル（インク吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

ス

■スピンドル
ロール紙をセットする棒。

セ

■セルフクリーニング
プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

ノ

■ノズル
インクの吐出孔。インクが乾燥したりしてこの孔が詰まると、印刷品質が悪くなる。

■ノズルチェックパターン
プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。格子状のパターンの中に印刷されない箇所（線が途切れている箇所）がある場合は、ノズルが詰まっているので、プリントヘッドのクリーニングを行う必要がある。

ハ

■排紙
用紙をプリンタから排出すること。

■バナー
長尺の用紙。（垂れ幕など）

フ

■プラテンギャップ
プリントヘッドと用紙の間隔。

■プリンタドライバ
アプリケーションソフトの命令をプリンタのコマンドに変換する、システムの一部に組み込むもの（またはソフトウェアの一部）。

■プリントヘッド
用紙にインクを吹きつけて印刷する部分（ノズル先端部分）。外部からは見えない位置にある。

マ

■マージン
余白のことで、物理的に印刷不可能な用紙上の領域をいう。

■マイクロウィーブ機能
行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する、エプソン独自の機能。

メ

■メンテナンスコール
交換部品の交換時期が近付いたことを示す警告のメッセージ。

■メンテナンスタンク
廃インクを溜めるタンク。

索引

す

せ

そ

た

ち

て

と

に

ね

の

は

ふ

へ

ほ

ま

め

ゆ

よ

ら

り

ろ

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性·安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

印刷サンプル

トラブルチェック用サンプル

印刷結果がおかしい場合、以下の印刷サンプルを参照して現在の状態にあてはまるものがあれば、参照先の説明をご覧ください。



正常な印刷結果



プリントヘッドのクリーニングが必要と思われます。

☞ 本書 84 ページ「ヘッドクリーニング」



プリントヘッドのギャップ調整が必要と思われます。

☞ 本書 86 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

モノクロ写真印刷サンプル（PX-6550 のみ）

PX-6550 は、黒、グレー、ライトグレーの 3 種類のインクを搭載し、多彩なモノクロ印刷を可能にしています。さらに、8 色すべてを使い高次元な表現を行う「モノクロ写真印刷」機能がプリンタドライバに搭載されています。

プリンタドライバによるモノクロ写真印刷の例



色調整：純黒調（ニュートラル）



色調整：
純黒調＋「白地にかぶり効果を与える」を有効



色調整：温黒調（ウォーム）



色調整：冷黒調（クール）



色調整：セピア

EPSON

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600【受付時間】9:00～17:30　月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034　札幌市中央区北4条東1-2-3　札幌フコク生命ビル10F　エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243　松本市神林1563エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012　東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041　福岡市博多区吉塚8-5-75　初光流通センタービル3F　エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21　沖縄通関社ビル2F　エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　**050ー3155ー7150**【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100【受付時間】月～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌（011）221ー7911　東京（042）585ー8500　名古屋（052）202ー9532　大阪（06）6397ー4359　福岡（092）452ー3305

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】　月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047　大阪市中央区淡路町3-6-3　NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】　月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120ー545ー101）でお買い求め下さい。（2007年9月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

2007. 9


411210700

© セイコーエプソン株式会社　2007
Printed in XXXXXX XX.XX-XX XXX